Samsung GALAXY S5 SCL23

取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、GALAXY S5(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に『設定ガイド』『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『設定ガイド』『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書 詳細版』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークを省略している場合があります。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

アプリ一覧画面で[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)

- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、「auのネットワークサービス·海外利用」（▶P.225）をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』または『取扱説明書 詳細版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車·原動機付自転車·自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車·原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

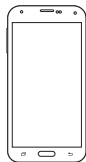
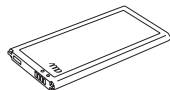
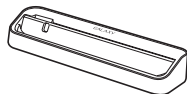
■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体
※背面カバー含む

電池パック（SCL23UAA）

卓上ホルダ（SCL23PUA）
（S View カバー調整アタッチメント付き）

サムスンワンセグアンテナ01
（01SCHSA）

- マイク付きステレオヘッドセット（試供品）
- microUSB接続ケーブル（試供品）
- 保証書（本体、卓上ホルダ）
- 取扱説明書
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

目次

データ通信 193

機能設定 203

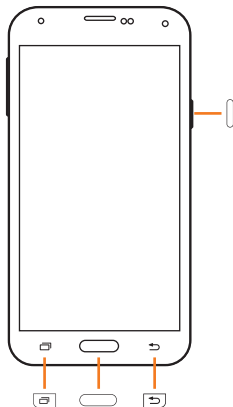
auのネットワークサービス・海外利用 225

付録 247

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です（▶P.46）。

表記例	意味
ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[日付と時刻]	ホーム画面で[アプリ]をタップし、表示されるアプリ一覧画面で「設定」をタップし、「日付と時刻」をタップします。

■掲載されているイラスト･画面表示について

本書に記載されているイラスト･画面は、実際の製品･画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

memo

◎本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。

免責事項について

- 地震･雷･風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失･誤用･その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化･消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

- 『取扱説明書 詳細版』(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障･修理･その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害･逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化･消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)･沖縄セルラー電話(株)
輸入元:SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.
製造元:Samsung Electronics Co., Ltd.

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が軽傷(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明･けが･やけど(高温･低温)･感電･骨折･中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど(高温･低温)･感電などを指します。
※3 物的損害:家屋･家財および家畜･ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直接日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体がmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子、スピーカーなどから本製品に入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

背面カバーを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。

■本体について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどするときや、テレビ（ワンセグ）視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全をご確認ください。転倒・交通事故の原因となります。

ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース	PC	非導電蒸着
外装ケース（側面枠）	PC	非導電蒸着
スピーカー	SUS	研磨／つや有仕上げ
カメラレンズ、ライト／センサーパネル周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
カメラレンズ、ライト／センサーパネル透明カバー部	ガラス	AFコーティング
microSDメモリカード／au Micro IC Card (LTE)スロット	SUS304	指紋／スクラッチ防止圧延処理
microUSB接続端子カバー	PC	非導電蒸着
サイドキー（電源／画面ロックキー、音量キー）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（周囲部分）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（中央部分）	エポキシモールド化合物	UV塗装
充電端子（卓上ホルダ用）	亜鉛ダイキャスト	金メッキ
リモコン発光部	PC	－
ディスプレイ（タッチパネル）	強化ガラス	AFコーティング
ヘッドホン接続端子（周囲部分）	SUS	電着塗装
背面カバー	ガラス繊維強化PC（10%）	SFコーティング
背面カバー防水用パッキン部分	シリコン	－
背面カバー保護シール部分	銅、グラファイト	PET

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

au Micro IC Card (LTE)スロットやmicroSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

サムスンワンセグアンテナ01、マイク付きステレオヘッドセット(試供品)などを持って本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口／マイク(上下２箇所)、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス(＋)マイナス(－)をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピンなど)などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂・傷害の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。

- 卓上ホルダ(SCL23PUA):DC5.0V
- ACアダプタ(別売):AC100～240V
- DCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

※ 指定の充電用機器(別売)をご使用ください。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)は防水性能を有していません。水やペットの尿など液体が直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。発熱・火災・感電・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに電源プラグを抜いてください。

注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

卓上ホルダ(SCL23PUA)を床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

卓上ホルダ(SCL23PUA)を自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダ(SCL23PUA)は室内の安定した場所での使用を前提とします。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
卓上ホルダ(SCL23PUA)で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース	PC	－
接触端子	銅	ニッケルおよび金メッキ
ラベル	PET／ポリエステルフィルム	－
底面ゴム	ウレタンゴム	－
アタッチメント(本体)	PC	UV塗装
アタッチメント(マグネット)	ネオジウム N35H	－

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電・傷害の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card (LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

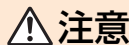
au Micro IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ サムスンワンセグアンテナ01について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

サムスンワンセグアンテナ01は防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
サムスンワンセグアンテナ01で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
接続プラグ（先端部）	C3604BD、C2680	金フラッシュメッキ
接続プラグ（外装）	オレフィン系エラストマー樹脂	シボ加工
ケーブル	スチレン系エラストマー樹脂	−

■マイク付きステレオヘッドセット（試供品）について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

ケーブルを本体に巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。ケーブルを引っ張って抜かないようにしてください。また、ケーブルを持って本体を吊り上げないでください。ケーブルや接続プラグ、本体のヘッドセット接続端子が破損するおそれがあります。

接続プラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続プラグは本体のヘッドセット接続端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
マイク付きステレオヘッドセット（試供品）で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン外装部	PC	UVコーティング
ケーブル	NON PVC	−
スイッチ／マイク外装部	PC	UVコーティング
スイッチ	PC	Corrosion処理
イヤピース	シリコン	−
プラグ（金属部）	真鍮	ニッケルおよび金メッキ
プラグ（樹脂部）	POM	−
プラグ外装部、ケーブル分岐部	NON PVC	−

■microUSB接続ケーブル（試供品）について

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
microUSB接続ケーブル（試供品）で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
USBコネクタ部	SPCC	−
microUSBコネクタ部	HTN、STS304	ニッケルメッキ
コネクタケース	PC	UV塗装処理
ケーブル	TPE（Non pvc）	−

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5相当、IPX7相当)を発揮するために、背面カバーやmicroUSB接続端子カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの背面カバーの取り付け／取り外し、microUSB接続端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。また、保管する場合は、周囲温度0℃～45℃の範囲内で保管してください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』または『取扱説明書詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がau電話本体内で確認できるようになっております。
確認方法:ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［端末情報］→［認証情報］に表示されております。
本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。

- 本製品に登録された連絡先･メール･ブックマークなどの内容は、事故や故障･修理、その他取り扱いによって変化･消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料･無料は問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している有機ELディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。また、見る角度によっては色調が変化したり、明るさのむらが見える場合があります。これらは有機ELディスプレイの特性によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示し続けたり、「ディスプレイ」の「明るさ」の設定を常に明るい設定にして極度の連続使用を行うと、部分的にディスプレイの照度が落ちますが、これらは有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたまま放置すると、故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 本製品の温度上昇や電池残量の低下などにより、ディスプレイの輝度が落ちる場合があります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったau電話の回収にご協力ください。auショップなどでau電話の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け･取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失･故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口／マイク（上下２箇所）をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 送話口／マイク（上下2箇所）を指などでふさがないようご注意ください。自分の声が相手に伝わらない場合や、音声が録音できない場合、音声が認識されない場合があります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 電池パックにはFeliCaアンテナ、NFCアンテナが内蔵されています。お取り扱いには十分ご注意ください。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを充電用機器本体や卓上ホルダ（SCL23PUA）に巻きつけないでください。感電、発熱、火災・故障・傷害の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災・故障・傷害の原因となります。
- 卓上ホルダ（SCL23PUA）のアタッチメントは磁石を使用しています。砂鉄や金属製の異物（クリップなど）が付着していないことをお確かめの上、本製品を取り付けてください。異物がある場合、柔らかい布などで取り除いてからご使用ください。
- 卓上ホルダ（SCL23PUA）のアタッチメントにキャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類を近づけないでください。アタッチメントの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- 液晶画面保護フィルムを使用する際は、厚さ約0.3mm以下のものをご使用ください。フィルムが干渉して卓上ホルダ（SCL23PUA）に正しく装着できない場合があります。
- アタッチメントの取り付け、取り外し時に無理な力が加わらないようにしてください。無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- アタッチメントを無理に取り外そうとすると、指や爪などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ほかのICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因になります。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、マイク付きステレオヘッドセット(試供品)などからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※1をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※1 控え作成の手段：
連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロック解除用パターン／PIN／パスワード

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	スワイプ

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.(NFC／おサイフケータイ ロック)

使用例	「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

防水／防塵性能に関するご注意

本製品はmicroUSB接続端子カバー、背面カバーが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP6X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、キッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

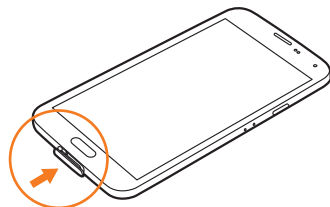
※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置内に本製品を入れて8時間塵埃をかくはんさせた後、本製品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

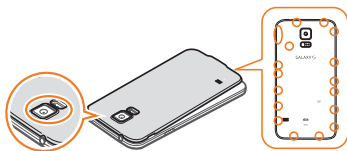
利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

- microUSB接続端子カバーをしっかり閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。
  - 完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。
  - 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - 手や本製品が濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、背面カバーの開閉は絶対にしないでください。また、ヘッドセット接続端子に水が入った状態で、サムスンワンセグアンテナ01やマイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを差し込まないでください。

microUSB接続端子カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してからカバー全体を指の腹で押し込んでください。
カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

背面カバーの取り付けかた

背面カバーの向きを確認して、外側カメラの位置と合わせてから装着します。

◯部分をしっかりと押し、
本体と背面カバーの間にすき間がないことを確認してください。

- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- 水以外の液体(アルコールなど)に浸けないでください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

〈例〉

石けん･洗剤･入浴剤

海水

風呂場･温泉

砂･泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本製品のすき間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に背面カバー、キー部、充電端子部、ヘッドセット接続端子部、スピーカー部の水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口(マイク)に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

＜雨の中＞

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合(1時間の雨量が20mm未満まで)を指します。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態でのmicroUSB接続端子カバー、背面カバーの開閉は絶対にしないでください。

＜シャワー＞

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

＜洗う＞

やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは背面カバーをしっかり閉じた状態で、microUSB接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

<プールサイド>

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※1で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
  ※1 やや弱めの流水(6リットル／分以下)

<キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ(ワンセグ)を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■ 共通注意事項

microUSB接続端子カバー、背面カバーについて

microUSB接続端子カバーはしっかりと閉じ、背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

microUSB接続端子カバーを開閉したり、背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

microUSB接続端子カバー、背面カバーに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水以外が付着した場合

万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。

汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバー、microUSB接続端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)

ゴムパッキンについて

microUSB接続端子カバー周囲のゴムパッキン、背面カバーを開けたときのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

microUSB接続端子カバー、背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

microUSB接続端子カバー、背面カバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電について

本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル／分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

本製品は水に浮きません。

耐熱性について

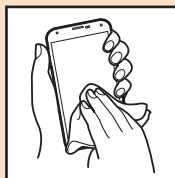
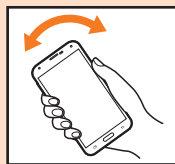
熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

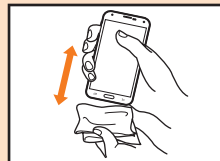
衝撃について

本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、送話口（マイク）、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本製品が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

2 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を振ります。

※振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。
※送話口（マイク）、スピーカー、microUSB接続端子部、ヘッドセット接続端子部は特に水が抜けにくいため、各部分を下側にしてよく振ってください。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口（マイク）・スピーカー・microUSB接続端子部・ヘッドセット接続端子部などの各部分を下にして出てきた水分を拭き取ってください。

4 水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ（SCL23PUA）に差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。microUSB接続端子カバーからの浸水を防ぐため、卓上ホルダ（SCL23PUA）を使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダ（SCL23PUA）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 本製品の5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内でご使用ください。本製品の5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN(Wi-Fi®)対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。

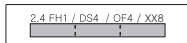
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

• Bluetooth®機能：2.4FH1/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。

• 無線LAN(Wi-Fi®)機能：2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52(5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)
W53(5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)
W56(5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

※無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

① **リモコン発光部**
「Smart Remote」などのアプリケーションでリモコン機能使用時に、操作する機器のリモコン受光部に向けます。

② **通知LED**
ディスプレイの表示が消えているとき（バックライト消灯時）のみ、不在着信などの通知や充電の状態などを示します。

③ **受話口**
通話中の相手の声などが聞こえます。

④ **ディスプレイ（タッチパネル）**

⑤ **ホームキー／指紋センサー**
ホーム画面に戻ります。1秒以上押すと、「Google」アプリケーションを起動します。また、指紋認証に使用します。

⑥ **履歴キー**
最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。ロングタッチするとメニューを表示します。

⑦ **送話口／マイク（下部）**※1
下部の送話口／マイクは、通話時や録音時、Sボイスなどの音声認識時に動作します。

⑧ **近接・照度・ジェスチャーセンサー**※2
顔などの接近や周囲の明るさを検知して、ディスプレイの表示を消したり、明るさを自動調整します。また、手の動き（ジェスチャー）を検知して本製品を操作したりします。

⑨ **内側カメラ**
自分を撮影するときなどに使用します。

⑩ **電源／画面ロックキー**
1秒以上押して電源を入れます。
電源が入っているときに押すと画面ロックを設定できます。1秒以上押すと電源OFFや機内モードのオン／オフ、再起動、緊急時長持ちモードのオン／オフ、マナーモードの設定ができます。

⑪ **充電端子（卓上ホルダ用）**

⑫ **バックキー**
アプリケーションを終了したり、1つ前の画面に戻したりします。

⑬ **microUSB接続端子**

⑭ **microUSB接続端子カバー**

⑮ **ヘッドセット接続端子**
マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⑯ **GPS／内蔵アンテナ部分**※3

⑰ **外側カメラ**
静止画や動画を撮影します。

⑱ **背面カバー**

⑲ **スピーカー**
着信音や、ハンズフリー通話中に相手の声などが聞こえます。

⑳ **送話口／マイク（上部）**※1
上部の送話口／マイクは、通話時やハンズフリー通話時、ボイスレコーダー録音時などに動作します。

㉑ **Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部分**※3

㉒ **Wi-Fi®セカンドアンテナ部分**※3

㉓ **音量／シャッターキー**
着信音量やメディア再生音量などを調節します。
静止画や動画を撮影中は、シャッターとして機能します。

㉔ **心拍数センサー**
「S Health」アプリケーションを起動し、指をかざすことで心拍数を測定できます。

㉕ **ライト**
静止画や動画の撮影時に点灯します。

㉖ **NFC／FeliCaアンテナ（電池パックに内蔵）**

㉗ **マーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。

㉘ **内蔵アンテナ部分**※3

㉙ **microSDメモリカードスロット**

㉚ **au Micro IC Card (LTE)スロット**

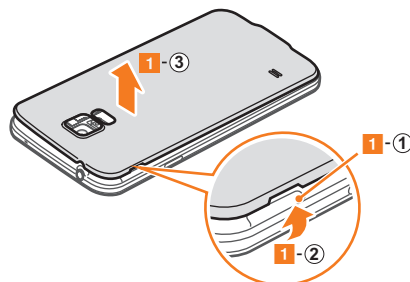
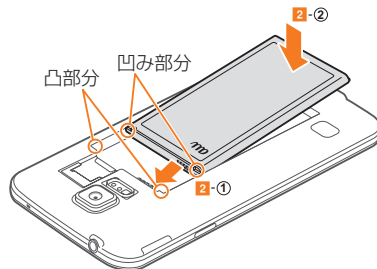
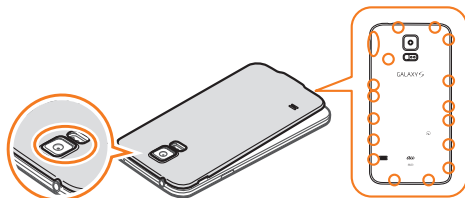
※1 該当の機能利用中に、送話口／マイク(上下2箇所)を指などでふさがないようご注意ください。
※2 近接･照度･ジェスチャーセンサーは、保護シートなどでふさがないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。
※3 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと、通話／通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックは、本製品専用のものを使用して正しく取り付けてください。

◎ 電池パックの注意事項については、「電池パックについて」(▶P.15)をご参照ください。
◎ 電池パックと背面カバーの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
◎ 電池パックにはFeliCaアンテナ、NFCアンテナが内蔵されています。お取り扱いには十分ご注意ください。

電池パックを取り付ける

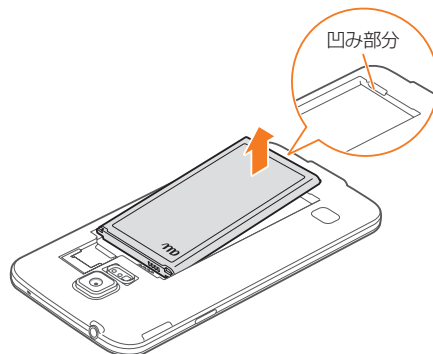
1 背面カバーの1-①の部分に指(爪)を入れて、1-②の方向に少し持ち上げ、1-③の方向に向けて取り外す

2 本体の凸部分と電池パックの凹み部分を合わせ(2-①)、電池パックを2-②の方向へ押し込む

3 **背面カバーの向きを確認し、外側カメラの位置と合わせてから装着し、しっかりと押しながらすき間がないように取り付ける**

◯部分をしっかりと押し、本体と背面カバーの間にすき間がないことを確認してください。

memo

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバーの破損の原因となります。
◎背面カバーの取り付け時には、背面カバーが浮き出たままにならないよう、位置を合わせ、周囲をしっかり押し込んでください。

電池パックを取り外す

1 **背面カバーを取り外す（▶P.34）**

2 **本体の凹み部分を利用して電池パックに指（爪）をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す**

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。

- 本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card (LTE)

（表面）

（裏面）

memo

◎au Micro IC Card (LTE)の取り付け/取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。
◎au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
◎変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card (LTE)を挿入しないでください。故障の原因となります。

■au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card (LTE)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、🚫が表示されます。

- 電話をかける※1/受ける
- Eメール(@ezweb.ne.jp)/SMSの送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号の確認

※1 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報や157(お客さまセンター)への発信もできません。

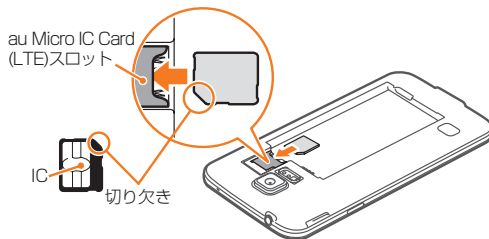
上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■PINコードによる制限設定

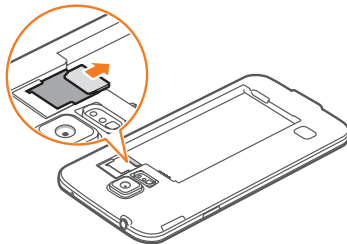
au Micro IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードロック設定により他人の使用を制限できます(▶P.222「SIMカードロックを設定する」)。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

1 背面カバー・電池パックを取り外す(▶P.34)

2 au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)面を下にし、切り欠きを図の向きにしてau Micro IC Card (LTE)スロットの奥までまっすぐ差し込む

au Micro IC Card (LTE)を取り外す

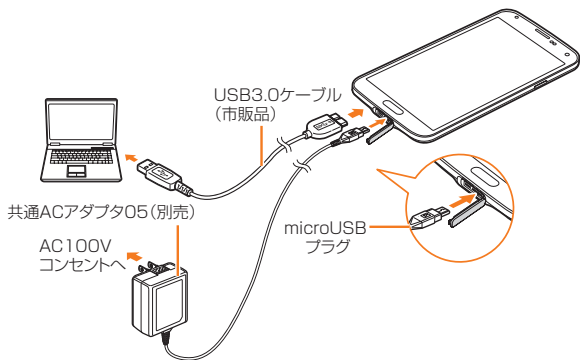
1 背面カバー・電池パックを取り外す(▶P.34)

2 au Micro IC Card (LTE)をまっすぐ引き抜く

充電する

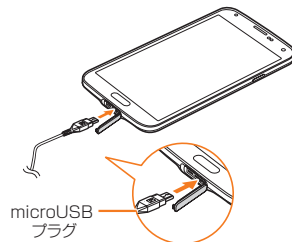
お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約480時間(3G使用時)
	約450時間(4G(LTE)使用時)
連続通話時間	約1170分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.254)をご参照ください。

※指定のACアダプタ(別売)とパソコンを同時に使って充電することはできません。

■ microUSB接続ケーブル(試供品)を使って充電する場合

下図のように本製品のmicroUSB接続端子(右側の幅が広い方の端子)にまっすぐに差し込んでください。

誤った接続を行うと、本製品への重大な損傷を招くおそれがあります。誤った接続による損傷は、補償の対象外となりますのでご注意ください。

memo

◎ 共通ACアダプタ03/05(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。海外で充電する場合は、必ず共通ACアダプタ03/05(別売)をご使用ください。
◎ 充電の状態やバッテリー残量は、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[端末情報]→[ステータス]と操作して、「バッテリーステータス」欄、「バッテリー残量」欄で確認できます。
◎ 充電中、本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 電池パックは、「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.11)をよくお読みになってお取り扱いください。
◎ パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなることがあります。
◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、電池パックの使用時間が短くなることがあります。
◎ 本製品は急速充電に対応しています。急速充電は電源オフの状態か、画面のバックライトが消灯している状態で行うことができます。ただし、通話中は画面が消灯していても急速充電はされません。
◎ 電池残量が50%以上の場合、急速充電による充電速度が遅くなることがあります。

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

充電には指定のACアダプタ（別売）が必要です。ここでは、共通ACアダプタ05（別売）を使って充電する方法を説明します。

- 指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.248）をご参照ください。

充電時間は共通ACアダプタ05（別売）使用時、約100分です

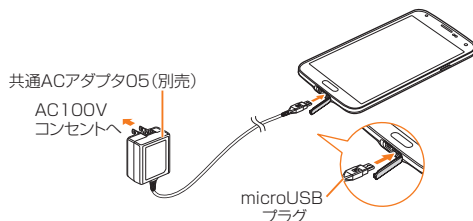
1 共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子（右側の幅が広い方の端子）にまっすぐに差し込む

2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

ステータスバーにが表示されます。

充電が完了すると、ステータスバーに100%が表示されます。

- 電源オフの状態で充電を開始すると、充電の状態を表すアニメーションが一定時間表示されます。画面が消えた後も、／を押すことで再度表示されます。

3 充電が終わったら、共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

microUSB接続ケーブル（試供品）とパソコンを使って充電することができます。接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

1 microUSB接続ケーブル（試供品）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む

2 microUSB接続ケーブル（試供品）のUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

ステータスバーにが表示されます。

充電が完了すると、ステータスバーに100%が表示されます。

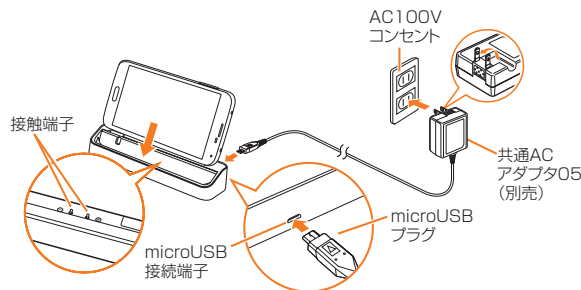
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSB接続ケーブル（試供品）を本製品とパソコンから取り外す

memo

◎充電中に画面のバックライトが消灯した場合は、／を押すとロック画面が表示され、日時の下に表示される「充電しています：XX%」で充電状態を確認できます。また、バックライト消灯中に充電が完了すると、ロック画面が表示されて日時の下に「充電完了」、ステータスバーに100%が表示されます。

卓上ホルダ(SCL23PUA)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

充電には卓上ホルダ(SCL23PUA)と指定のACアダプタ(別売)が必要です。ここでは、共通ACアダプタ05(別売)を使って充電する方法を説明します。

1 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを卓上ホルダ(SCL23PUA)のmicroUSB接続端子に接続する

共通ACアダプタ05(別売)のコネクタの形状をご確認のうえ、刻印表示を上にして、まっすぐに差し込みます。

2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

3 電池パックを取り付けた本製品の充電端子を卓上ホルダ(SCL23PUA)の接触端子に合わせて取り付ける

充電開始音が鳴り、ステータスバーに[充電中アイコン]が表示されます。
充電が完了すると、ステータスバーに100%が表示されます。
充電が終わったら、本製品を卓上ホルダ(SCL23PUA)からまっすぐ上に引き抜いて取り外してください。本製品を前方に倒しながら取り外すと、破損の原因となります。

memo

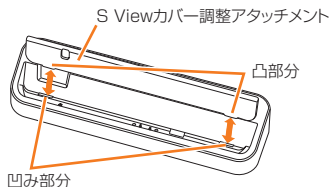
◎ 卓上ホルダ(SCL23PUA)は急速充電に対応しておりません。
◎ 卓上ホルダ(SCL23PUA)に取り付けた状態で、本製品の外部接続端子からUSB接続ケーブルを接続して充電した場合は、本製品の外部接続端子での充電が優先されます。
◎ 本製品の電源が入った状態で卓上ホルダに取り付けると、カレンダーや時計などを表示するデスクホーム画面が表示されます。
◎ microUSBケーブル01(別売)で卓上ホルダ(SCL23PUA)をパソコンに接続する場合、卓上ホルダ(SCL23PUA)に取り付けた本製品とパソコンの間でデータのやりとりをすることはできません。

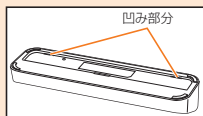
■アタッチメントについて

お買い上げ時はアタッチメント(Samsung製S Viewカバー調整アタッチメント)が卓上ホルダ(SCL23PUA)に取り付けられています。通常はアタッチメントを卓上ホルダ(SCL23PUA)に取り付けた状態で充電してください。

アタッチメントを取り外すと、本製品にSamsung製S Viewのカバーを取り付けた状態で充電できます。取り外す場合は、アタッチメントを上方向にスライドさせて取り外してください。

アタッチメントを取り付ける場合は、アタッチメントの凸部分を卓上ホルダ(SCL23PUA)の取り付け部分の凹み部分に合わせてはめ込み、卓上ホルダ(SCL23PUA)とアタッチメントにすき間が空かないようにしっかりと押して、取り付けてください。

- Samsung製S Viewカバー以外の市販のカバーなどを本製品に取り付けた状態では充電できませんので、ご注意ください。

memo

◎紛失防止のため、取り外したアタッチメントは卓上ホルダ(SCL23PUA)の底面に取り付けておくことをおすすめします。アタッチメントの凸部分を卓上ホルダ(SCL23PUA)底面の凹み部分に合わせてはめ込んでください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **(1秒以上長押し)**

ロック画面が表示されます。画面ロックを解除(▶P.41)してください。

memo

◎電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

◎初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。初期設定について、詳しくは本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

◎「画面ロック」(▶P.212)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。

電源を切る

1 **(1秒以上長押し)**

端末オプション画面が表示されます。

2 **[電源OFF]→[OK]**

強制的に再起動する

通常の方法で電源が切れなくなったり、画面が動かなくなった場合は強制的に再起動をすることができます。

1 **と音量キーの下側を同時に11秒以上長押し**

バイブレータが2回振動したあと、再起動します。

◎強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

1 **を1秒以上長押し**

2 **auのロゴが消えたあと音量キーの下側を押し続ける**

セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。

- セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

memo

◎必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
◎お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
◎セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して約5秒後に画面ロックがかかります。

1 **画面表示中に**

バックライトが消灯し、画面ロックが設定されます。
／ を押すとバックライトが点灯し、ロック画面が表示されます。

memo

◎「画面のタイムアウト」(▶P.209)でバックライトが消灯するまでの時間を変更できます。
◎画面ロックを無効にする設定はありません。
◎本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定してください。また、かばんなどの中で本製品の や が押されないようにしてください。

画面ロックを解除する

ロック画面は、電源を入れたときや、／ を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 **画面ロック中に／**

2 **画面を上下左右にスワイプ**

memo

◎「画面ロック」(▶P.212)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。
◎「画面ロック」で「スワイプ」、「なし」以外の解除方法を設定している場合は、ロック画面に「緊急通報」が表示され緊急通報ができます。

Googleアカウントの設定をする

本製品にGoogleアカウントを設定すると、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。
Googleアカウントの設定画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントの設定画面→[既存のアカウント]／[新しいアカウント]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「既存のアカウント」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して▶をタップします。以降は、画面の指示に従って設定してください。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「新しいアカウント」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「au かんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
au IDの設定について、詳しくは本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[au ID 設定]

パケット通信の接続確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 暗証番号を入力→[OK]→[au IDの設定・保存]

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定してください。

Samsungアカウントの設定をする

「リモートコントロール」(▶P.220)やSamsung Apps(▶P.164)の一部の機能など、Samsungサービスを利用するには、あらかじめSamsungアカウントの設定を行う必要があります。Samsungアカウントの設定は、Samsungアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

- リモートコントロールはFind My Mobile(端末リモート追跡)から操作できます。
  Find My Mobile(端末リモート追跡)の詳細については、以下のホームページをご参照ください。
  http://findmymobile.samsung.com/login.do

1 Samsungアカウントの設定画面→[アカウントを作成]

Samsungアカウントをすでにお持ちの場合は[サインイン]→メールアドレスとパスワードを入力→[サインイン]と操作してください。

2 必要な項目を入力・設定→[サインアップ]

3 [利用規約]/[特別条項]/[プライバシー規約]/[データ統合]→内容を確認しチェックを入れる→[同意する]

4 画面の指示に従って操作し、アカウントを有効化する

memo

◎設定したSamsungアカウントのパスワードは、「リモートコントロール」を解除するときなどに必要になります。メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

基本操作

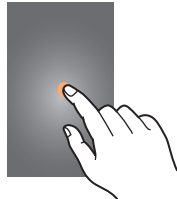
基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に載せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - ・濡れた指または汗で湿った指での操作

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

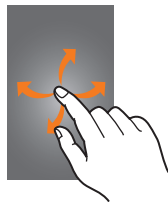
項目などに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

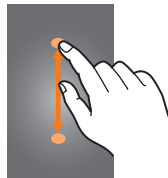
■ フリック（スワイプ）

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

- 最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

モーション／ジェスチャーの使いかた

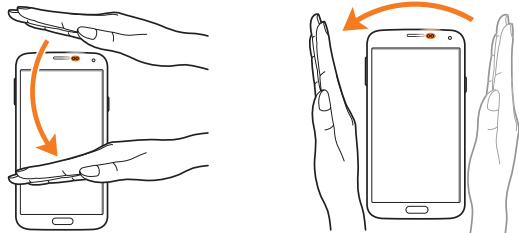
本製品の近接･照度･ジェスチャーセンサーの上で手を動かす（ジェスチャー）、または本製品を動かす（モーション）、ディスプレイ上でスワイプやタップするなどの動作で、次の操作ができます。

- あらかじめ、ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［モーションとジェスチャー］→利用するモーション／ジェスチャーをタップ→ をタップして にする必要があります。
- 利用するモーション／ジェスチャーをタップすると、各モーション／ジェスチャーのチュートリアルを表示して使いかたを確認したり、利用するアプリや機能を設定したりできます。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

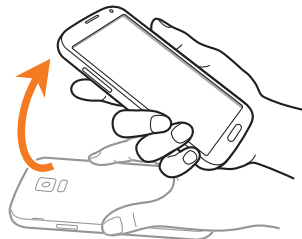
■ ブラウズ

センサーの上で手を上下に動かすと、Eメールの本文で画面をスクロールします。

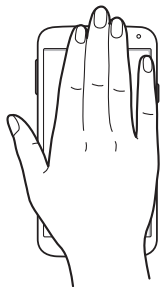
センサーの上で手を左右に動かすと、設定したアプリで画像や音楽の再生時に前後のデータに移動したり、ブラウザ閲覧時に前後のウィンドウへ移動します。

■ ダイレクトコール

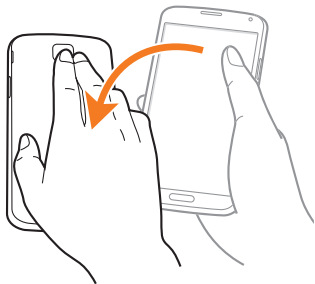
履歴の詳細画面や、連絡先詳細画面などを表示した状態で、本製品を持ち上げて顔に近づけると、振動してその連絡先に電話をかけます。

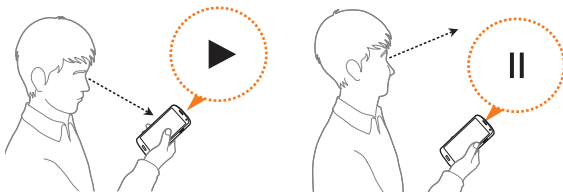
■ スマートアラート

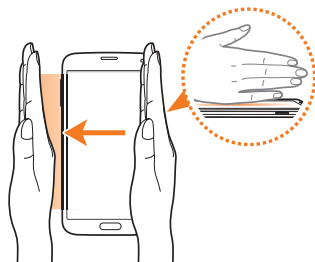
不在着信がある状態で、画面の表示が消えているときに本製品を持ち上げると振動して通知します。

■消音／一時停止

■手のひらで画面をタッチ

着信音やアラームの鳴動中などに、手のひらでタップすると消音します。また、音楽･動画などの再生中に、手のひらでタップすると再生を一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。

■端末を伏せる

着信音やアラームの鳴動中などに、本製品を伏せると消音します。また、音楽･動画などの再生中に、本製品を伏せると再生を一時停止します（ディスプレイOFFの場合は除く）。

■スマートポーズ

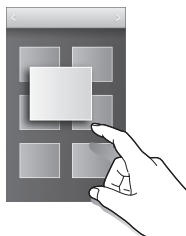
内側カメラで顔を検出し、画面を見ていないときに動画の再生を一時停止します。

■手のひらでキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存します。

memo

◎暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外でジェスチャー動作をした場合は、センサーの特性によりジェスチャー機能が正しく動作しない場合があります。
◎端末本体に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

Sプレビューの使いかた

テキストや画像に指を近づけて画面に表示しきれない情報をプレビュー表示（情報プレビュー）したり、動画再生中などにプログレスバーに指を近づけることでシーンやフレームの時間情報を表示したりできます。また、キーパッド画面の番号に指を近づけると、設定したスピードダイヤルの名前などを表示します。

- アプリによっては、本機能を利用できない場合があります。
- あらかじめ、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Sプレビュー]→「Sプレビュー」の をタップして にする必要があります 。
- 利用するプレビューをタップすると、各プレビューのチュートリアルを表示して使いかたを確認できます。

《情報プレビューの例》

memo

◎Sプレビューによる操作中は、指とディスプレイの距離を一定に保ってください。操作中に指とディスプレイが離れると、Sプレビューによる操作ができなくなります。

◎Sプレビューによる操作中、指とディスプレイの距離が近すぎると、タッチ操作として認識される場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリック（▶P.46）すると切り替えることができます。 を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。

① **ウィジェット**
　タップすると起動や操作ができます。

② **ショートカット**
　タップするとアプリケーションや機能などを起動できます。

③ **ホーム画面の位置**
　現在表示中の位置が表示されます。

④ **クイックアクセスパネル**
　ホーム画面を切り替えても表示されます。タップするとアプリケーションや機能などを起動できます。「アプリ」をタップするとアプリ一覧画面（▶P.52）を表示できます。

◎クイックアクセスパネルに表示されている「アプリ」以外のショートカットは、追加／変更ができます（▶P.50「ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する」）。本書では、お買い上げ時の状態の操作方法で説明しているため、変更する場合はご注意ください。

ホーム画面をカスタマイズする

■ショートカット／ウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリケーションやブックマークなどのショートカットや、ウィジェットを追加できます。
ウィジェットとは、ホーム画面に追加して利用できるアプリケーションです。

- ブックマークのショートカットを追加する方法はアプリケーションごとに異なります。

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

- アプリケーションのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で「アプリ」をタップし、手順3へ進みます。

2 [ウィジェット]

3 ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチ

- ウィジェットによっては、項目をタップ→ホーム画面に追加したい項目のアイコンをロングタッチと操作します。

4 アイコンを追加したい位置までドラッグして指を離す

データの選択や設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- アイコンをホーム画面の左端／右端、またはホーム画面下部のホーム画面のサムネイルまでドラッグすると、他のページに移動できます。
- サイズを変更できるウィジェットの場合は、サイズ調節の枠が表示されます。枠をドラッグしてサイズを変更することができます。

■フォルダを追加する

1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ

2 画面上部の「フォルダ作成」までドラッグして指を離す

3 フォルダ名を入力→[完了]

memo

◎フォルダの色を変えるには、ホーム画面で色を変えたいフォルダをタップ→[⋮]→色を選択します。

■ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面に追加したショートカットやウィジェット、フォルダの表示位置を変更したり、削除したりできます。

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンを移動したい位置までドラッグして指を離す

- アイコンをホーム画面の左端／右端、またはホーム画面下部のホーム画面のサムネイルまでドラッグすると、他のページに移動できます。
- アイコンを画面上部の「削除」までドラッグして指を離すと、アイコンを削除できます。

memo

◎ホーム画面に追加したアプリケーションのショートカットを削除しても、アプリケーションそのものを削除(アンインストール)するわけではありません。

■ホーム画面を並べ替える

ホーム画面の位置を入れ替えたり、追加／削除したりできます。

■ホーム画面を並べ替える場合

1 ホーム画面でアイコンのない壁紙部分をロングタッチ

ホーム画面がサムネイル表示されます。

2 移動したいホーム画面を選択してサムネイルをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- ホーム画面のサムネイルを画面上部の「削除」までドラッグして指を離すと、ホーム画面を削除できます。
- ホーム画面のサムネイルに「＋」が表示されている場合は、タップするとホーム画面を追加できます。ホーム画面は最大7枚まで追加できます。

memo

◎ をタップすると、標準ホーム画面（ を押したときに表示されるホーム画面）を切り替えることができます。

ホーム画面を切り替える

スマートフォン初心者でも使いやすいように、よく使う連絡先や設定などを大きなアイコンでホーム画面に表示することができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［かんたんモード］

2 ［かんたんモード］→表示したいアプリケーションにチェックを入れる→［完了］

ホーム画面が切り替わります。

- 元のホーム画面に戻す場合は、ホーム画面で［かんたん設定］→［かんたんモード］→［標準モード］→［完了］と操作します。

マルチウィンドウで表示する

画面左端中央のハンドルをタップすると、マルチウィンドウトレイが開きます。

アプリケーションを起動している状態で、マルチウィンドウトレイからアイコンをドラッグすると別々のウィンドウで2つのアプリケーションを同時に表示することができます。

※一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

- あらかじめ「マルチウィンドウ」（▶P.210）をオンにする必要があります。
- 再度ハンドルをタップすると、マルチウィンドウトレイが閉じます。

① **マルチウィンドウトレイ**
アプリケーションをマルチウィンドウトレイから表示したい位置へドラッグします。

② **ハンドル**
タップするごとに、マルチウィンドウトレイを開いたり、閉じたりします。

③ **分割バー**

memo

◎ [戻る]をロングタッチすると、マルチウィンドウトレイとハンドルを非表示／再表示することができます。
◎ 表示中の2つのアプリケーションの組み合わせに名前を付けて登録することができます（ウィンドウグループ）。登録するには、2つのアプリケーションを表示している状態で、マルチウィンドウトレイから[ ]→[作成]→ウィンドウグループ名を入力→[OK]と操作します。マルチウィンドウトレイに作成したウィンドウグループが表示され、タップすると呼び出すことができます。
◎ マルチウィンドウでアプリケーションを起動しているときに、ハンドルをタップしてマルチウィンドウを閉じると分割バーに○が表示されます。
◎ ○をタップすると （ウィンドウの切り替え）／ （コンテンツのドラッグ＆ドロップ）／ （表示中のアプリケーションを終了）が表示されます。
◎ ○を上下にドラッグすると表示領域を調整できます。
◎ マルチウィンドウトレイから[ ]→[編集]と操作すると、マルチウィンドウトレイに表示するアプリケーションを追加／削除できます。

アプリ一覧画面を利用する

アプリ一覧画面には、本製品にインストールされているアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップしてアプリケーションを起動できます。

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリ一覧画面を表示する

1 ホーム画面で[アプリ]

アプリ一覧画面が表示されます。

- 1画面に収まらない場合は、左右にフリック（▶P.46）すると、画面を切り替えられます。

■ 主なアプリケーションの種類

アプリケーション	概要	ページ
電話※1	電話の発信／着信、通話履歴などを表示します。	P.74
連絡先	連絡先を管理します。	P.134
SMS	SMSを送受信します。	P.114
ブラウザ※1	インターネットに接続します。	P.129
ギャラリー	静止画や動画を閲覧します。	P.144
カメラ※1	静止画を撮影、動画を録画します。	P.138
ミュージック	音楽を再生します。	P.147
ビデオ	動画を再生できます。	P.145
時計	アラームの設定や時計などを表示します。	P.180
Sプランナー	スケジュールを管理できます。	P.162
メール	PCメール（複数のアカウントを使用可）を利用できます。	P.119
設定	本製品の各種設定を行います。	P.204
電卓	基本的な計算ができます。	P.182
メモ	テキスト入力や画像のメモを作成できます。	ー
ボイスレコーダー	音声を録音できます。	P.165
マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示･管理できます。	P.188
Samsung Apps	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。	P.164
ChatON	グループチャットを楽しむことができるアプリです。	ー
S Health	本製品の各種センサーを利用して、消費カロリーの記録、心拍数の測定などを行い、健康管理をサポートします。	P.182
Sボイス	音声コマンドで端末を操作します。	P.165

アプリケーション	概要	ページ
防災生活インフォ	最新の警報や注意報などの防災情報をお知らせします。また、紫外線指数や傘指数などの生活情報も確認できます。	－
ワンセグ	ワンセグを視聴します。	P.148
おサイフケータイ	本製品をリーダー／ライターにかざすだけで、電子マネーでのショッピングやクーポン情報の取得などができます。	P.166
取扱説明書※2	本製品の取扱説明書を表示します。	P.ii
Chrome	インターネットに接続します。	－
Gmail	Gmailを利用します。	P.124
Google+	Googleが提供するSNSのクライアントアプリであるGoogle+を起動します。	－
マップ	現在地の確認／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。	P.158
Playムービー	Google Playの映画をレンタルしたり、本製品に保存した動画を再生したりできます。	－
Playブックス	Google Playから書籍をダウンロード／購入したり、本製品で閲覧したりできます。	－
Play ゲーム	Google Playゲームでゲームを楽しむことができます。	－
ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。	－
YouTube	YouTubeで動画を再生します。	P.158
写真	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトにログインして、バックアップすることもできます。	－
ハングアウト	写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを使って会話を楽しめるコミュニケーションツールです。	P.158

アプリケーション	概要	ページ
Google	本体内やウェブ上の検索を行います。	P.60
音声検索	音声入力で検索を行います。	P.61
Playストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード／購入します。	P.156
Google設定	Googleの各種サービスに関する設定をまとめて管理できます。	－
Dropbox	静止画や動画などのデータをどこからでもアクセスできるようにする無料のサービスです。	－
Flipboard	FacebookやTwitter、YouTubeなどの情報を、雑誌のようなレイアウトで表示します。	－
Smart Remote	本製品でテレビなどの機器を操作できます。	－
辞書	辞書を利用して単語を調べることができます。	P.166
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。	設定ガイド
auお客さまサポート	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.173
Eメール※1	Eメール(@ezweb.ne.jp)の送受信ができます。	P.82
au ID 設定	au IDを設定します。	P.42
auショッピングモール	日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。	－

アプリケーション	概要	ページ
グノシー for au	今日の話題を5分でまとめ読み。サクサク使えて、すっきり読める。最新ニュースからやわらかコラムまで幅広くカバーできるニュースアプリです。	–
au Cloud	スマートフォンに保存されている写真・動画やEメールをau Cloudにアップロードするアプリです。 アップロードした写真・動画は、簡単な操作で見ることができます。 また、Wi-Fi® 接続中は写真・動画を自動でアップロードできます。	–
auバックアップアプリ	お客様のスマートフォンに保存しているさまざまなデータをmicroSDメモリカードにバックアップ／復元できるアプリです。 自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。	–
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.175
auスマートパス	月額372円（税抜）でアプリが取り放題。その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.179
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	–
GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	–
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。	–
うたパス	CMで流れるあの曲からアニソン、ジャズ、懐かしのヒット曲まで100万曲以上。 150以上の多彩なチャンネル・プログラムから選んで音楽を楽しむ月額制のラジオ型音楽サービスです。	–
ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	–
ブックパス	コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	–
ゲームギフト	大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報など、さまざまなお得（ギフト）を提供するアプリです。	–
NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.170
NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。	P.170
バーコードリーダー	バーコードリーダー「アイコニット」は、QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。	–

アプリケーション	概要	ページ
スクリーンショットシェア	表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり編集して、Facebook･TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。	P.183
GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。海外から日本への発信時にベンリなダイヤルアシスト機能搭載。	－
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができます。	P.177
au Wi-Fi接続ツール	ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。	P.184
安心アクセス※2	お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.171
3LM Security	本製品を盗難･紛失された場合に、遠隔操作で本製品の位置検索やロックをすることができます。	P.174
Friends Note	Friends Noteはau携帯電話からのアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心･便利なアドレス帳です。また、Facebook･TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。	P.162

アプリケーション	概要	ページ
Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。	－
LISMO	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴･購入も可能なアプリです。	－
TOLOT フォトブック※2	写真を選択するだけで、フォトブックを作成／注文できるアプリです。 こどもの成長、結婚式、旅行の思い出をデジタルだけではなく、実際の商品として残すことができます。 © 2011－2014 TOLOT Inc. All Rights Reserved.	－
ナビウォーク※2	乗物･徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	－
GREE※2	3,000万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。	－
じぶん銀行※2	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	－
LINE※2	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	－
au WALLET	au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージのほか、カード残高･ポイント残高･特典の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	－

※1 お買い上げ時は、ホーム画面下部にも配置されています。
※2 簡単にダウンロード／アップデート（更新）できるショートカットアプリです。利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

◎「取扱説明書」アプリケーションを利用すると、さまざまな機能の操作方法や設定方法を確認できます。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。
◎ショートカットアプリを利用してインストールすると、名前が変更されたり、表示位置が移動される場合があります。
◎本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

アプリ一覧画面のメニューを利用する

1 アプリ一覧画面で[⋮]

2

編集	▶P.56「アプリ一覧画面をカスタマイズする」
フォルダ作成	▶P.50「フォルダを追加する」
表示形式	アプリ一覧画面の表示方法を切り替えます。
ダウンロード済みアプリ	ダウンロード済みアプリ一覧画面を表示します。
アプリのアンインストール／無効化	アプリケーションをアンインストール／無効にします。
アプリを非表示	アプリケーションを非表示にします。
無効なアプリを表示	無効にしたアプリケーションの一覧画面を表示します。
非表示アプリを表示	非表示にしているアプリケーションを再度表示させます。
GALAXY Essentials	Samsungおすすめのアプリケーションをダウンロードすることができます。
ヘルプ	アプリ一覧画面のヘルプを表示します。

アプリ一覧画面をカスタマイズする

アプリ一覧画面に表示されるアイコンの並べ替え、ページやフォルダの追加ができます。

1 アプリ一覧画面で[⋮]→[編集]

編集画面が表示されます。

2 移動したいアイコンをロングタッチ→移動したい位置までドラッグして指を離す

- アイコンを画面上部の「ページを作成」／「フォルダ作成」／「アプリ情報」／「アンインストール」／「無効」までドラッグして指を離すと、新しいページやフォルダの作成、アプリ情報の表示、アプリケーションのアンインストール／無効化などの操作が行えます（アプリケーションによって表示が変わります）。
- アイコンをロングタッチしてアプリ一覧画面の左端／右端までドラッグすると、アイコンを他のページに移動できます。

3

ツールボックスを利用する

画面上にアプリケーションのショートカットを表示して、すばやく任意のアプリケーションを利用することができます。

ツールボックスを表示する

1 **ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ツールボックス]**

2 **「ツールボックス」の をタップして にする**

画面上に が表示されます。

- を移動するには、 を移動したい場所までドラッグして指を離します。
- ツールボックスに格納するアプリケーションを編集するには、[編集]→格納したいアプリケーションにチェックを入れる→[保存]と操作します。

memo

◎ をロングタッチして画面上部の「編集」/「削除」までドラッグして指を離しても、ツールボックスを編集/非表示にできます。

ツールボックスからアプリケーションを起動する

1 **[ ]→起動したいアイコンをタップ**

本製品の状態を知る

画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

アイコンの見かた

■主な通知アイコン

アイコン	概要
	着信中/バックグラウンドで発信中/通話中
	不在着信あり
	新着Gmailあり
	新着PCメールあり
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
/	Eメール認証中(送信中·送信完了/受信中)
	Eメール認証失敗/受信失敗/サーバーにメールあり
	Eメール(@ezweb.ne.jp)の送受信失敗あり
	新着SMSあり/お留守番サービスの伝言お知らせ·着信お知らせサービスの着信お知らせあり
	ハングアウトのお知らせあり
	伝言メモ機能オン
	伝言メモの録音メッセージあり
	データダウンロード中/完了
	データアップロード中/完了
	アラーム鳴動中
	Sプランナーの通知あり
/	バックグラウンドで音楽再生中/一時停止中

基本操作

アイコン	概要
	microSDメモリカードの準備中
	microSDメモリカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Google Playからインストール済みアプリケーションのアップデート通知
	アプリケーションのインストール完了
	ソフトウェア更新設定
	Wi-Fi®がオンかつWi-Fi®オープンネットワークが利用可能
	GPS機能現在地測位中(アニメーション表示)／測位完了(アニメーション表示停止)
	「近くのデバイス」機能オン
	ナビ起動中
	VPN接続中
	USBテザリング機能オン
	Wi-Fi®テザリング機能をオン
	USBテザリング機能とWi-Fi®テザリング機能を両方オン
	LISMOで音楽再生中
	ワンセグ起動中
	緊急速報メールあり
	充電完了
	スクリーンショット完了
	キーボード表示中
	非表示の通知情報あり
	au Micro IC Card (LTE)が未挿入
	ブロックモード設定中
	クルマモード設定中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

◎通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要	ページ
／	電波の強さ レベル4／圏外	−
	電波の強さ(国際ローミング中)	−
／	LTEデータ通信状態 LTEデータ使用可能／LTEデータ通信中	−
／	3Gデータ通信状態 3Gデータ使用可能／3Gデータ通信中	−
／	1Xデータ通信状態 CDMA 1Xデータ使用可能／CDMA 1Xデータ通信中	−
／	無線LAN(Wi-Fi®)通信状態 無線LAN(Wi-Fi®)使用可能／ 無線LAN(Wi-Fi®)通信中	P.197
	Bluetooth® 機能オン	P.194
	Bluetooth® デバイスと接続中	P.195
	Wi-Fi Direct機能で接続中	P.199
	機内モード設定中	P.205
	マナーモード(バイブ)設定中	P.211
	マナーモード(サイレント)設定中	P.211
	ハンズフリー(スピーカー)で通話中	P.75
	消音(自分の声を無音)で通話中	P.75
／	電池レベル状態 100%／充電中	−
	アラーム設定中	P.180
	NFC機能が有効	P.169
	NFC／おサイフケータイ ロック設定中	P.169
	スマートステイ動作中	P.209

基本操作

通知パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、通知パネルのアイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

1 ステータスバーを下にスライド

① タップすると日付と時刻の設定画面が表示されます。

② 各種機能のオン／オフを切り替えます(クイック設定ボタン)。左右にスライドしたり、▦をタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

Wi-Fi：無線LAN(Wi-Fi®)機能のオン／オフを切り替えます。
位置情報：GPS機能のオン／オフを切り替えます。
サウンド／バイブ／サイレント：マナーモードの設定を切り替えます。
画面回転：画面回転のオン／オフを切り替えます。
Bluetooth：Bluetooth®機能のオン／オフを切り替えます。
モバイルデータ：データ通信のオン／オフを切り替えます。
ハイブリッドダウンロード：ハイブリッドダウンロードのオン／オフを切り替えます。
ウルトラ省電力モード：ウルトラ省電力モードのオン／オフを切り替えます。
マルチウィンドウ：マルチウィンドウの有効／無効を切り替えます。
ツールボックス：ツールボックスの表示／非表示を切り替えます。
Wi-Fiテザリング：Wi-Fi®テザリング機能のオン／オフを切り替えます。
Screen Mirroring：Screen Mirroring機能のオン／オフを切り替えます。
NFC：NFC機能の有効／無効を切り替えます。
同期：アカウントの自動同期のオン／オフを切り替えます。
スマートステイ：スマートステイのオン／オフを切り替えます。
スマートポーズ：スマートポーズのオン／オフを切り替えます。
省電力モード：省電力モードのオン／オフを切り替えます。
ブロックモード：ブロックモードのオン／オフを切り替えます。
機内モード：機内モードのオン／オフを切り替えます。
通信制限モード：通信制限モードのオン／オフを切り替えます。
クルマモード：クルマモード※1のオン／オフを切り替えます。
プライベートモード：プライベートモードのオン／オフを切り替えます。
高感度タッチ操作：高感度タッチ操作のオン／オフを切り替えます。

③ Sファインダーが表示されます。

④ 画面の明るさを設定します。

⑤ 不在着信やメールの受信などの通知情報(お知らせ)や、進行中／実行中の情報などが表示されます。左右にフリックすると消去できます。

⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。
- 上にスライドすると通知パネルを閉じます。

⑦ 設定メニュー画面を表示します。

⑧ クイック接続画面が表示されます。※2

⑨ 通知情報(お知らせ)の表示を消去します。

※1 電話の発信やSMSの送信、ナビの利用など、音声入力で本製品の各機能を利用できます。また、Bluetooth®機能を利用してカーオーディオと接続することもできます。クルマモードの詳細については、[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご覧ください。
※2 他のクイック接続対応機器を自動的に検索してすばやく接続し、簡単な操作でデータを共有できます。クイック接続の詳細については、[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご覧ください。

◎ 通知内容によっては消去できない場合があります。
◎ クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。
◎ 通知パネルで[ ]→[ ]と操作すると、通知パネルの表示を設定できます。

通知LEDについて

画面消灯時は、通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

動作	説明
赤で点灯※1	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅※1	電池残量が残りわずか
青で点滅※1 (約5秒間隔)	不在着信や新着メールなどの通知あり
青で点滅※1 (約1秒間隔)	録音中
青と水色で交互に点灯	電源を入れて起動中／電源を切ってシャットダウン中

※1 「LEDインジケーター」(▶P.209)で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

◎ 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作(青で点滅)が優先されます。
◎ Eメール(@ezweb.ne.jp)／SMS受信時の通知LEDの動作は、変更することができます(▶P.102、P.107、P.117)。

クイック検索ボックスを利用する

本体やWebページの情報を検索できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスをタップ

🎤 :Google音声検索に切り替えます。
- Google Nowのお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字から始まるアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの[🔍]

Google検索の検索結果を表示します。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 ホーム画面でクイック検索ボックスの[ ]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口に向かってキーワードを話す

Google検索の検索結果が表示されます。

検索時のメニューを利用する

1 アプリ一覧画面で[Google]→ をロングタッチ→[設定]

2

項目	説明
Google Now※1	Google Nowのオン／オフを切り替えます。
端末内検索※2	端末内で検索する情報の対象を選択します。
音声	音声検索時の言語などを設定します。
アカウントとプライバシー	現在地情報の利用や通勤経路の共有、履歴の管理、利用規約やプライバシーポリシーの確認などの操作ができます。
通知※3	Google Nowカードに新着情報がある場合に通知するかどうかを設定します。
ヘルプとフィードバック	Google検索の使い方に関する説明を表示したり、フィードバックを送信したりできます。

※1 Googleアカウントを設定した場合に表示されます。
※2「Google Play開発者サービス」の更新後に表示されます。
※3 Google Nowを設定した場合のみ表示されます。

Sファインダーを利用する

本製品内のメールやメモ、音楽、画像などさまざまなデータを検索できます。また、Webページの検索なども行えます。

1 ステータスバーを下にスライド→[Sファインダー]

：Google音声入力に切り替えます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字から始まる検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

- 入力欄下の各カテゴリーの項目をタップして、検索範囲を指定することもできます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの[ ]

検索結果を表示します。

- をタップすると検索の条件を絞ることができます。

マガジンを利用する

マガジンでは、ニュースや周辺情報、SNSなどの情報をまとめて表示することができます。

1 一番左のホーム画面で画面を右にフリック

- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面が表示され、「次へ」をタップすると利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 画面を上下にスライドして、情報を見る

- をタップすると、表示するカテゴリーの設定などをしたり、マガジンの概要やヘルプを表示することができます。

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定を自動的に変更することで電池の消費を抑えることができます。

- 画面の色を白黒階調に自動調整
- 必要最低限のアプリのみ使用可能
- 画面オフ時にデータネットワークを制限
- Wi-Fi®やBluetooth®、NFC／おサイフケータイ®、GPSなどの接続機能をオフ

1 **（1秒以上長押し）**

端末オプション画面が表示されます。

2 **[緊急時長持ちモード]→[OK]**

画面の色が白黒階調に変更され、緊急時長持ちモードが有効になります。

- 初めて起動したときは利用規約に同意する必要があります。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ 緊急時長持ちモードを無効にするには、（1秒以上長押し）→[緊急時長持ちモード]→[OK]と操作します。
◎ 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。
◎ 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部ウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。

基本的な操作を覚える

ここでは、本製品でよく使う操作を説明します。

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に画面の縦／横画面表示を切り替えることができます。

memo

◎ ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ディスプレイ]→[画面回転]→「画面回転」の をタップして にすると、縦画面表示で固定されます（一部機能によっては、横画面になる場合もあります）。
◎ ホーム画面など、表示中の画面によっては、本製品の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

項目を選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。

タブを切り替える

タブが表示されている画面では、表示／確認したいタブをタップすると画面を切り替えられます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示するには、⋮をタップ／▭をロングタッチする、また入力欄や項目をロングタッチして表示する方法などがあります。

例：ブラウザ画面で⋮をタップ／▭をロングタッチする場合

《ブラウザ画面》

例：ブラウザ画面でリンクをロングタッチする場合

《ブラウザ画面》

設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチが表示されているときは、チェックボックスやラジオボタンまたはオン／オフスイッチをタップすることで設定のオン／オフを切り替えることができます。

アイコン	説明
☑／◉／▮	設定がオンの状態です。
■／●／○	設定がオフの状態です。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、複数のデータを選択できます。

選択するデータをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入った項目をもう一度タップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

最近使用したアプリケーションを表示する

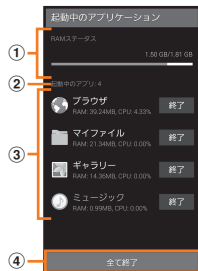
最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 ▭

最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

- 一覧からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。
- ◷をタップすると、タスクマネージャー（▶P.64）を起動できます。
- ☒をタップすると一覧からすべてのアプリケーションを削除します。
- メニュー表示の説明画面が表示された場合は「OK」をタップします。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 [□]→[◎]

① **RAMステータス**
RAMの使用状況を確認します。

② **起動中のアプリケーションの件数**

③ **起動中のアプリケーション一覧**
[終了]→[OK]と操作すると、アプリケーションを終了します。

④ **全て終了**
[全て終了]→[OK]と操作すると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

画面の表示内容を画像として保存する

[ ]と[ ]を同時に1秒以上長押しすると、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンショット）できます。動作が完了するとステータスバーに[▣]が表示されます。

◎画像は、「ギャラリー」（▶P.144）の「Screenshots」フォルダに保存されます。

◎起動中のアプリケーションによっては、スクリーンショットが動作しない場合があります。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能とは、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。指紋認証機能を使用すると、ロック画面の解除やSamsungアカウントへの認証操作などを簡単に行うことができます。

■ 指紋認証利用時のご注意

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で8回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。指が濡れている、汗をかいている、または手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下することがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第1関節を指紋センサー中央に合わせ、指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると正常に認識できないことがあります。
- できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。

- ／を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■指紋センサー利用時のご注意

- 指紋センサーの表面を、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムを剥がしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分が付着したり結露が発生すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長時間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能や代替パスワードを設定します。

- ロック画面の解除操作の設定については「画面ロックを設定する」(▶P.212)をご参照ください。
- 「免責条項」画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[指紋スキャナー]

■指紋を登録する場合

2 [指紋管理]

3 画面の指示に従って操作

■画面ロックの解除方法として利用する場合

2 [画面ロック]→[指紋]

■ Samsungアカウントへの認証操作で利用する場合

2 [Samsungアカウントを認証]

3 「Samsungアカウントを認証」のをタップする→[OK]→画面の指示に従って操作

■ PayPalの決済の認証で利用する場合

2 [PayPalで決済]→画面の指示に従って操作

■ 代替パスワードを変更する場合

2 [代替パスワードを変更]→現在の代替パスワードを入力→[続行]→新しい代替パスワードを入力→[続行]→同じ代替パスワードを再度入力→[OK]

指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指をスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。
お買い上げ時にはSamsung日本語キーパッドを利用することができます。
また、そのほかに「Google音声入力」機能を使って文字を入力することもできます。

memo

◎ 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリケーションや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

入力方法を切り替える

1 キーボード表示中にステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

2 [入力方法を選択]→利用したい入力方法を選択

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「QWERTYキーボード」と「テンキー」の2種類のキーボードを利用できます。

- **QWERTYキーボード**：パソコンなどと同じキー配列のキーボードです。日本語はローマ字入力で行います。
- **テンキー**：一般の携帯電話のようなキー配列のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップして入力します。「フリックタイプ」（▶P.70）を「Off」以外に設定している場合は、キーをロングタッチするとキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックしても入力できます。

《QWERTYキーボード》　《テンキー》

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 予測変換をオフに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示エリアを拡大できます。をタップすると、元の表示に戻ります。

② 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合や、英語入力モードの場合はタップするとスペースを入力できます。

③ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
  - ：音声入力に切り替える
  - ：手書き入力キーボードに切り替える
  - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  - ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
  - ：画面上で位置を移動できるキーボード／片手操作キーボードを表示

④ 数字／記号一覧を表示します。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号一覧を表示します。
- 絵文字／顔文字／記号は、タブをタップして切り替えます。「戻る」をタップすると、キーボードを表示します。

⑤ 日本語／英語入力モードに切り替えます。

⑥ カーソルを左に移動します。

⑦ カーソルを右に移動します。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときにもタップします。ただし、「自動カーソル移動」（▶P.70）を「Off」以外に設定している場合は、自動的にカーソルが移動します。
- 「ワイルドカード予測」（▶P.71）／「日本語ワイルドカード予測」（▶P.71）をオンにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（▶P.68）を利用できます。

⑧ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑨ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。

⑩ 確定前の文字を逆順に切り替えます。
- 文字を入力していないときは、表示されているキーの操作を実行します。

  ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。

  キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
  - ：音声入力に切り替える
  - ：手書き入力キーボードに切り替える
  - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  - ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
  - ：画面上で位置を移動できるキーボード／片手操作キーボードを表示

⑪ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補に戻ります。
- 文字が入力されていないときは 123 （数字／記号／顔文字切替）が表示されます。

⑫ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- 英語入力モードの場合は「A／a」と表示されます。

■キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に[ ]（表示されていない場合は、 ／ ／ ／ のいずれか表示されているキーをロングタッチ）

Samsung日本語キーパッドの設定メニューが表示されます。

2 [テンキー⇔QWERTYキーボード]

3 [テンキー]／[QWERTYキーボード]→[OK]

memo

◎ 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

■半角／全角を切り替える

1 キーボード表示中に をロングタッチ

2 [半角]／[全角]

■ワイルドカード予測を利用する

- 「日本語予測変換」（▶P.71）と「日本語ワイルドカード予測」（▶P.71）をオンに設定している場合に利用できます。
- 英文／ハングル入力時は、「予測変換」（▶P.71）と「ワイルドカード予測」（▶P.71）をオンに設定している場合に利用できます。

■例：「携帯」を入力する場合

1 キーボード表示中に「け」を入力

2 を3 回タップする

入力欄に「け○○○」が表示され、予測変換候補に「携帯」が表示されます（必要に応じて をタップして予測変換候補の表示エリアを拡大してください）。
- 読みの文字数を変更するには、 ／ をタップします。

3 予測変換候補から[携帯]

■手書き入力キーボード

Samsung日本語キーパッドで をタップする（表示されていない場合は、 ／ ／ ／ のいずれか表示されているキーをロングタッチしてください）と、手書き入力キーボードが表示されます。

① 予測変換候補／通常変換候補／入力候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 予測変換をオフに設定して文字入力中や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示エリアを拡大できます。 をタップすると、元の表示に戻ります。

② 認識モード（ひらがな漢字／英字）を切り替えます。

③ 数字／記号の一覧を表示します。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。
- 絵文字／顔文字／記号は、タブをタップして切り替えます。「戻る」をタップすると、キーボードを表示します。

④ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
  - ：音声入力に切り替える
  - ：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
  - ：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
  - ：Samsung日本語キーパッドに切り替える

⑤ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。

⑥ 改行します。
⑦ 入力した文字を削除します。
⑧ カーソルを左右に移動します。
⑨ 入力エリア上をドラッグして文字を入力できます。

文字列を選択／切り取り／コピー／貼り付ける

1 入力した文字列をロングタッチ

アイコン（／または／）が表示され、間にある文字列が選択されます。アイコンをドラッグして、選択範囲を変更できます。

2 利用するアイコンをタップ

（全て選択）	入力した文字列をすべて選択します。
（切り取り） （コピー）	選択した文字列を切り取り／コピーします。切り取り／コピーした文字列はクリップボードに保存されます。
（貼り付け）※1	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
（クリップボード）※1	クリップボードに保存されている文字列を選択して貼り付けます。
（辞書）※2	選択した文字列を辞書で調べたり、インターネット検索します。

※1 切り取り／コピーの操作後など、クリップボードにテキストデータが保存されている場合に表示されます。
※2 お買い上げ時は、本製品には辞書データがインストールされていません。インストールしたい辞書データの[]→[OK]と操作し、辞書データをインストールしてからご利用ください。

memo

◎ アプリケーションによっては、利用できない機能があります。
◎ 文字入力欄をタップすると、アイコン（またはが表示されます。アイコンをドラッグすると、カーソルを移動できます。アイコンをタップすると「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。
◎ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチしても、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます。

文字入力の設定をする

Samsung日本語キーパッドの設定を行う

Samsung日本語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[言語と文字入力]→「Samsung日本語キーパッド」の[ ]**

2

項目		説明
入力言語		システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
テンキー⇔QWERTYキーボード		キーボードの種類を切り替えます。
フリック入力	フリックタイプ	「標準フリック」または「8フリック」に設定すると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます（「8フリック」は入力モードがひらがな漢字の場合に使用できます）。 • 「8フリック」に設定すると、斜め方向へのフリックで入力できる文字を変更できます。
	8フリックカスタマイズ	8フリックのキーレイアウトを設定します。
	フリック感度（低⇔高）	フリック方式で文字を入力する際のフリック感度を調整します。
	トグル入力	フリック方式で文字を入力する際にトグル入力（ケータイ打ち）できるようにするかどうかを設定します。
	記号フリック入力	記号フリック入力を有効にするかどうかを設定します。
表示／操作補助	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	候補表示行数	縦画面で文字入力中に表示される予測変換候補／通常変換候補の行数を設定します。
	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本製品を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	入力時に選択したキーを拡大表示するかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。
	左右キーを表示	QWERTYキーボードで左右キーを表示するかどうかを設定します。
	カーソル操作	カーソル操作を設定します。
	韓国語キーボードタイプ	韓国語のテンキーのキーボードタイプを設定します。

予測／変換	日本語候補学習	日本語入力時に変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語の文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測	日本語入力時にワイルドカード予測(▶P.68)を利用するかどうかを設定します。
	候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	予測変換	文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測	ワイルドカード予測(▶P.68)を利用するかどうかを設定します。
	入力ミス補正	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
	自動スペース入力	英語／韓国語入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	数字予測変換	数字の一覧で数字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。

音声入力／手書き入力	音声入力	音声での文字入力を「Google音声入力」「使用しない」から選択します。
	On/Off 設定	手書き入力を使用するかどうかを設定します。
	候補タイプ	手書き入力された文字の表示を予測候補（予測変換候補）／認識候補（入力文字候補）から選択します。
	認識時間	手書き入力の候補を表示するまでの時間を「速い」／「普通」／「遅い」から選択します。
	ペンの太さ	手書き入力時の線の太さを設定します。
	ペンの色	手書き入力時の線の色を設定します。
	手書き入力について	手書き入力のバージョンを表示します。
辞書登録	日本語	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	韓国語	韓国語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルーム拡張	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
リセット	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
	設定リセット	Samsung日本語キーパッドの設定をリセットします。
iWnn IME for Samsung		Samsung日本語キーパッドのバージョンが表示されます。
ヘルプ		ヘルプを表示します。

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面で[電話]→「キーパッド」タブ

《キーパッド画面》

① **タブ**
「キーパッド」タブ:キーパッド画面が表示されます。
「履歴」タブ(▶P.75「履歴を利用して電話をかける」)
「お気に入り」タブ(▶P.135「連絡先をお気に入りに追加する」)
「連絡先」タブ(▶P.134「連絡先を登録する」)

② **検索結果欄**
番号を入力するごとに連絡先や履歴などが検索され、入力候補と件数が表示されます。入力候補がない場合は「連絡先に追加」が表示されます。

③ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

④ **SMSキー**
SMSを作成・送信します(▶P.114)。

⑤ **メニューボタン**
メニューを表示します(▶P.74)。

⑥ **発信キー**

⑦ **削除キー**
最後に入力した番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除できます。

2 相手の電話番号を入力

同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

- スピードダイヤル(▶P.75)を登録済みの場合は、短縮番号を割り当てたキーをロングタッチすると、スピードダイヤルで発信できます。

3 [📞]

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら[通話を終了]

memo

◎本製品を顔に近づけるなどして近接センサーを覆ったとき(マイク付きステレオヘッドセット(試供品)などを取り付けている場合を除く)や、操作せずに約30秒経過すると、通話中画面は自動的に消えます。近接センサーから顔などを離す、または▯/⊂⊃を押すと、通話中画面を表示できます。

◎通話音量を調節するには、通話中に音量キーを押します。

■キーパッド画面のメニューを利用する

1 キーパッド画面→[⋮]

2

2秒間停止※1	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、発信してから約2秒後にプッシュ信号(番号)が自動的に送信されます。
待機を追加※1	「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号(番号)が送信されます。

連絡先に追加※1	▶P.134「連絡先を登録する」
スピードダイヤル	▶P.75「スピードダイヤルを登録する」
設定	▶P.77「通話関連機能の設定をする」
ヘルプ	ヘルプを表示します。

※1 番号を入力すると表示されます。

■通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

操作	説明
	通話音量を最大にします。
最後の通話	通話中の相手の履歴詳細画面が表示されます。
通話を追加	別の相手に電話をかけることができます。
キーパッド	キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
通話を終了	電話を切ります。
スピーカー	相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
消音	自分の声を相手に聞こえないようにします。
Bluetooth	Bluetooth®対応機器と接続してハンズフリーで通話します。

■通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面→[⋮]

2

連絡先	連絡先画面を表示します。
メモ	メモを起動します。
メッセージ	通話中の相手を宛先にしてSMSを送信できます。
録音／録音を停止	通話内容の録音を開始／停止します。
通話音質を個別設定	通話音質を切り替えます。
設定	▶P.77「通話関連機能の設定をする」

■スピードダイヤルを登録する

スピードダイヤルを登録すると、キーパッド画面で短縮番号をロングタッチして簡単に電話をかけることができます。

- 2桁以上の短縮番号を利用する場合は、最後の桁をロングタッチしてください。

1 キーパッド画面→[⋮]→[スピードダイヤル]

スピードダイヤル設定画面が表示されます。

2 短縮番号（2～100）の「連絡先を追加」を選択→連絡先を選択

◎短縮番号1には留守番電話が登録されており、変更／削除できません。
◎スピードダイヤル設定画面では、登録済みの短縮番号をタップしてSMS送信や電話発信ができます。
◎短縮番号を削除するには、スピードダイヤル設定画面で短縮番号の「×」をタップします。

履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、着信拒否履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で[電話]→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

：着信　　：発信
：不在着信　　：着信拒否
：自動着信拒否リストの電話

2 かけたい相手を選択

履歴詳細画面が表示されます。

3 [ ]

memo

◎ 連絡先に登録されている相手の画像をタップしてアイコンをタップすると、電話の発信／SMSやメールの作成／連絡先の表示などができます。
◎「着信拒否」(▶P.79)で着信を拒否したい電話番号を登録できます。
◎ 履歴画面で履歴を左にスライドするとSMS送信、右にスライドすると電話発信ができます。

■ 履歴画面／履歴詳細画面のメニューを利用する

1 **履歴画面／履歴詳細画面→[⋮]**

2

選択	履歴を複数選択して、削除したりメニュー項目の操作をしたりできます。
削除	履歴を削除します。
検索	履歴を検索します。
通話の録音ファイル	録音した通話内容をボイスレコーダーで再生します。
通話時間	通話時間を確認します。
設定	▶P.77「通話関連機能の設定をする」
ヘルプ	ヘルプを表示します。
連絡先を表示	履歴の電話番号が登録されている連絡先を表示します。
キーパッド画面にコピー	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
番号を送信	名前(連絡先に登録されている場合)と電話番号をSMSで送信します。
着信拒否リストに追加／着信拒否リストから削除	▶P.79「着信拒否の設定をする」

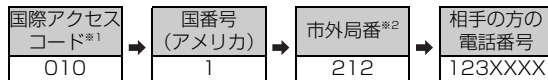
※ 画面により選択できる項目は異なります。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 **ホーム画面で[電話]→「キーパッド」タブ→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[📞]**

国際アクセスコードは国によって異なります。

※1「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 9:00～20:00(年中無休)
◎ 海外へ電話を転送できます(▶P.228「海外の電話へ転送する」)。

電話

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信画面が表示されます。

2 を表示される円の外までドラッグ／スライド

- 着信を拒否する場合は、を表示される円の外までドラッグ／スライドします。着信を拒否すると、発信元にガイダンスが流れます。
- 他のアプリケーションを起動している場合などは、着信ウィンドウが表示されます。応答する場合は「応答」、着信を拒否する場合は「着信拒否」をタップしてください。

memo

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ」（▶P.206）のチェックを外してご利用ください。
◎「着信拒否の設定をする」（▶P.79）で着信を自動的に拒否するように設定できます。
◎ 着信中に／音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
◎ 着信中に「着信拒否時にメッセージ送信」を上にスライド→「伝言メモ」／「新規メッセージを作成」／送信する応答拒否メッセージをタップすると、伝言メモ機能または応答拒否メッセージなどのSMSで応答することができます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［端末情報］→［ステータス］

「電話番号」欄に自分の電話番号が表示されます。

通話関連機能の設定をする

1 ホーム画面で［電話］→「キーパッド」タブ→［⋮］→［設定］→［通話］

通話設定画面が表示されます。

着信拒否		▶P.79「着信拒否の設定をする」
通話応答／終了	ホームキーを押す	を押して通話に応答するかどうかを設定します。
	音声コントロール	音声で電話に応答するかどうかを設定します。
	端末の上で手を振る	センサーの上で手を左右に振ることで、かかってきた電話に応答するかどうかを設定します。
	電源キーを押す	を押して通話を終了するかどうかを設定します。

電話

伝言メモ設定	録音メッセージ	録音されたメッセージの一覧を表示します。
	伝言メモ	伝言メモ機能を有効にするかどうかを設定します。
	言語	応答メッセージの言語を設定します。
	応答時間	伝言メモ機能で応答するまでの時間を設定します。
着信通知ポップアップ		操作中など画面点灯時に、着信をポップアップで通知するかどうかを設定します。
通話中状態ポップアップ		他のアプリを起動しているときなどに、通話中情報をポップアップで表示するかどうかを設定します。
発信者情報を表示		発信者のソーシャルネットワークの近況や自分との会話履歴を表示します。
通話通知	通話終了時バイブ	通話が終了したときに本製品を振動させるかどうかを設定します。
	呼び出し開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	1分ごとに通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知	通話中にアラームなどのイベントが発生したときに音でお知らせするかどうかを設定します。
通話のアクセサリ設定	自動応答	マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合、着信に自動で応答するかどうかを設定します。
	自動応答時間	自動応答するまでの時間を設定します。
	発信通話状態	画面ロック中でもBluetooth®ヘッドセットから電話の発信をできるようにするかどうかを設定します。
au通話オプション	お留守番サービス	▶P.231「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」
	着信転送サービス	▶P.226「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
	割込通話サービス	▶P.229「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」
	auお客さまセンター	157（お客さまセンター／通話料無料）に発信します。
発信者番号通知		発信者番号を通知するかどうかを設定します。
着信音とキーパッド音	着信音	電話着信音を設定します。
	バイブ	バイブレーションのパターンを設定します。
	着信時にバイブ	電話やメールなどの着信時に、バイブレーションも動作するかどうかを設定します。
	ダイヤルキーパッド操作音	キーパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
通話音質を個別設定		通話音の音質を、ユーザーに適した音質にカスタマイズして設定します。
ノイズキャンセラー		通話中に周囲の雑音を抑えるように設定します。

着信拒否の設定をする

あらかじめ着信拒否モードを設定しておくと、着信を自動的に拒否します。

■ 自動着信拒否モードを設定する

1 通話設定画面→[着信拒否]→[自動着信拒否モード]

2 [全ての着信]／[自動着信拒否番号]

- 自動着信拒否モードを解除する場合は「OFF」を選択してください。

■ 自動着信拒否リストに追加する

「自動着信拒否モード」で「自動着信拒否番号」に設定したとき、自動着信を拒否する電話番号を登録します。

1 通話設定画面→[着信拒否]→[自動着信拒否リスト]→[作成]

- 「通知不可能」にチェックを入れると、電話番号を通知できない着信を拒否できます。

2 拒否したい電話番号または電話番号の一部を入力

- をタップすると、通話履歴や連絡先から電話番号を選択できます。

3 [振り分けルール]→振り分けルールを選択

完全一致：指定した番号と完全に一致する電話番号からの着信を拒否
前方一致：指定した番号で始まる電話番号からの着信を拒否
後方一致：指定した番号で終わる電話番号からの着信を拒否
部分一致：指定した番号を含む電話番号からの着信を拒否

4 [保存]

◎ 登録した電話番号を拒否するには、「自動着信拒否モード」(▶P.79)を「自動着信拒否番号」に設定してください。

■ 応答拒否メッセージを編集する

電話を応答できないときに送信するメッセージ(SMS)を編集します。

1 通話設定画面→[着信拒否]→[応答拒否メッセージの設定]

応答拒否メッセージ一覧画面が表示されます。

2 編集したい応答拒否メッセージを選択

- 新規作成する場合は「作成」をタップします。

3 応答拒否メッセージを入力→[保存]

◎ 応答拒否メッセージを削除するには、応答拒否メッセージ一覧画面→削除したい応答拒否メッセージをロングタッチ→[ ]と操作します。複数の応答拒否メッセージをまとめて削除するには、応答拒否メッセージ一覧画面→[ ]→削除したい応答拒否メッセージにチェックを入れる／「全て選択」にチェックを入れる→[完了]と操作します。

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■Eメール

Eメール(@ezweb.ne.jp)は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.82)。

■SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.114)。

■PCメール

「メール」アプリケーションを利用して、Exchange ActiveSyncアカウント、一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます(▶P.119)。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます(▶P.124)。

Eメールを利用する

Eメール(@ezweb.ne.jp)はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行う必要があります。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)通信で利用できますが、初期設定は4G(LTE)/3Gデータ通信で行ってください。
◎Eメールは海外でもご利用になれます。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面で[Eメール]→[切替]

表示モードが切り替わります。

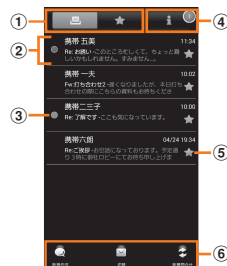
《会話モード》　《フォルダモード》

memo

◎本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

会話モードでの画面の見かた

■スレッド一覧画面の見かた

相手先ごとにEメールをまとめたスレッドが一覧表示されます。

《スレッド一覧画面》

① すべて表示／お気に入り表示切替タブ

すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

② スレッド

③ ●(赤色)：新着Eメールあり

●(青色)：未読Eメールあり

④ インフォボックス

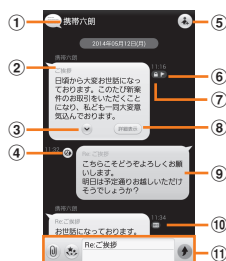
インフォボックスメールを表示できます。

※新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

⑤ ★(黄色)：お気に入り

★(灰色)：お気に入り解除

⑥ アクションバー

■スレッド内容表示画面の見かた

《スレッド内容表示画面》

① **スレッド名称(相手先)**

連絡先未登録の場合は、メールアドレスが表示されます。

② **受信したEメール**

③ **続き表示ボタン**

本文をすべて表示するときに使用します。

閉じるときは をタップします。

④ **:送信予約Eメール**

:自動再送信Eメール

⑤ **宛先一覧表示ボタン**

送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加･削除すると別のスレッドとして表示されます。

⑥ **フラグ付きEメール**

⑦ **保護されたEメール**

⑧ **詳細表示ボタン**

Eメール詳細表示画面を表示します。

⑨ **送信したEメール**

⑩ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。

⑪ **メール作成バー**

⑫ **件名入力欄**

「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

⑬ **D絵文字ボタン**

デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。

⑭ **添付ボタン**

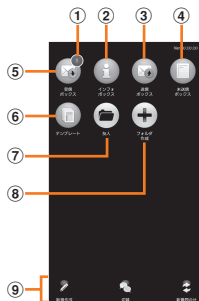
データを添付するときに使用します。

⑮ **送信ボタン**

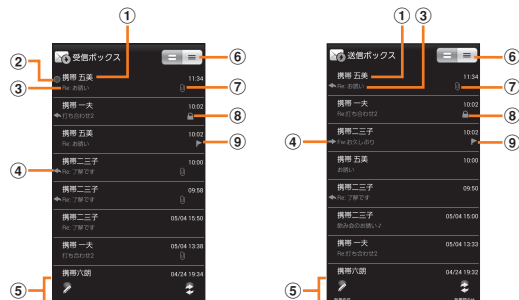
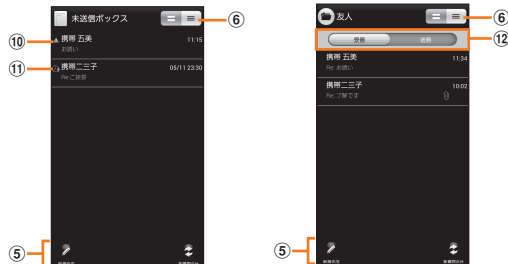
⑯ **本文入力欄**

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダー覧画面の見かた

フォルダー覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《フォルダー覧画面》

① フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
② インフォボックス
③ 送信ボックス
④ 未送信ボックス
⑤ 受信ボックス
⑥ テンプレート
⑦ フォルダ
⑧ フォルダ作成
⑨ アクションバー

■ Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》　《送信メール一覧画面》

《未送信メール一覧画面》　《フォルダメール一覧画面》

① **宛先／差出人の名前またはEメールアドレス**
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

② **:未読のEメール**
:本文を未受信のEメール
:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール

③ **件名**

④ **受信メール**
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
送信メール
:返信のEメール
:転送のEメール

⑤ **アクションバー**

⑥ **2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン**
横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

⑦ **添付データあり**

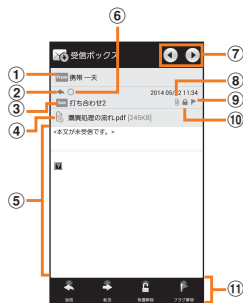
⑧ **保護されたEメール**

⑨ **フラグ付きEメール**

⑩ **送信に失敗したEメール**

⑪ **:送信予約Eメール**
:自動再送信Eメール

⑫ **受信／送信切替スライダ**
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

Eメール詳細表示画面の見かた

《受信メール詳細表示画面》　《送信メール詳細表示画面》

① **受信メール**
From :差出人の名前またはEメールアドレス
To ／ CC :宛先の名前またはEメールアドレス
送信メール
To ／ CC ／ BCC : 宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② **受信メール**
:返信したEメール
:転送したEメール
:返信／転送したEメール
送信メール
:返信のEメール
:転送のEメール

③ **Sub :件名**

④ **:添付データ（本体メモリ保存）**
:添付データ（ストレージ保存）

:インライン添付データ(本体メモリ保存)
:インライン添付データ(ストレージ保存)
:未受信の添付データ

※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑤ 本文
⑥ :本文を未受信のEメール
:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
⑦ 前のEメール/次のEメールを表示

※本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のEメール/次のEメールを表示することもできます。

⑧ 添付データあり
⑨ フラグ付きEメール
⑩ 保護されたEメール
⑪ アクションバー

Eメールを送信する

1 ホーム画面で[Eメール]→[新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合は、スレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、手順5へ進みます。

2 [ ]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをauスマートパスの「アプリを探す」からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	受信メール履歴/送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを入れる→[選択]** • をロングタッチ→[削除]→Eメールアドレスにチェックを入れる→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※1	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

5 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

7 [ ]→[送信]

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 [ ]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.87)の手順3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

5 [完了]→[送信]→[送信]

◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『-(長音) ﾞ(濁点) ﾟ(半濁点)、。・「」』は入力できません。
◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎ 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ 送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.107)。
◎ フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎ あらかじめ「自動再送信」(▶P.107)をONにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、送信予約をすると、日時指定送信か、あるいはお客様のau電話が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の[ ]

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.87)の手順3へ進みます。
未入力のアドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレスの[ ]→[OK]

◎ フォルダモードではアドレスの To をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ 会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 をロングタッチ→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示画面に が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■ フォルダモードで送信予約する場合

1 フォルダモードの送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに が付いた送信予定のEメールが保存されます。

memo

◎ au電話が電波の届かない場所で送信予約をした場合は、圏内復帰時に自動的に送信をするか、日時を指定して送信をするかを選ぶことができます。
◎ メールの自動送信は20件まで設定できます。
◎ 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、一旦送信予約が解除されます。
◎ 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎ 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎ 日時指定したメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2

ストレージ	microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)のデータを添付します。 • microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されているデータが表示されます。システムメモリ(本体)のデータを添付する場合は、「Up」を複数回タップして「storage」→「emulated」フォルダを選択してください。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

■ サイズの大きな静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの[ ]→[OK]と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2 [D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）の絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）に保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文入力中にできること

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→ をロングタッチ

2

検索	▶P.95「Eメールを検索する」 • 会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.89「送信予約をする」 • 会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.106）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 • フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 • フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[⇦]/[⇨]で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。
[□]をロングタッチ→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※1	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)に保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※1「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
◎本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像/デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像/デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」(▶P.89)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像/デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎会話モードでは、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント/背景色を変更して、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

◎装飾結果プレビュー画面で[□]をロングタッチ→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

• フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダ一覧画面→[テンプレート]

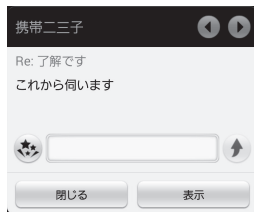
テンプレート一覧画面が表示されます。
□をロングタッチ→[ストレージから読み込み]と操作すると、microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定で「基本通知設定」(▶P.107)または「個別通知設定」(▶P.107)にてオフにすることができます。

• 画面消灯時にEメールを受信すると画面が点灯します。
• ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。

《通知ポップアップ》

• ステータスバーに[E]が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面で[Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

• 新着Eメールがあるスレッドには●(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには●(青色)が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

• 確認するEメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.105)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
◎「メール自動受信」(▶P.105)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴りが表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.95)の操作を行い、Eメールを受信してください。
◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 添付データをタップ→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。
受信完了後、もう一度添付データをタップ→[表示]と操作してください。

memo

◎添付データをタップ→[ストレージへ保存]→保存先を選択→[保存]と操作すると、添付データをmicroSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)に保存できます。microSDメモリカードが取り付けられている場合は、保存先としてmicroSDメモリカードが優先的に表示されます。システムメモリ(本体)に保存する場合は、「Up」を複数回タップして「storage」→「emulated」フォルダを選択してください。
◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)に保存できます。

1 スレッド内容表示画面→本文をロングタッチ

2 [画像保存]

3 保存する画像にチェックを入れる

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 [保存先選択]

保存先選択画面が表示されます。

5 [保存]

保存先を変更せずに「保存」をタップした場合は、「マイファイル」(▶P.188)の「MyFolder」フォルダ(「MyFolder」は「private」→「au」→「email」内に表示)に保存されます。

memo

◎microSDメモリカードが取り付けられている場合は、保存先としてmicroSDメモリカードが優先的に表示されます。システムメモリ(本体)に保存する場合は、「Up」を複数回タップして「storage」→「emulated」フォルダを選択してください。
◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.93)。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 **スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示**

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 **差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ**

3

Eメール作成	選択したEメールアドレス宛てにEメールを作成します。 • 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加※1	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[[「×××」(×××はフォルダ名)に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダ(▶P.103)を選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.101「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」

※1 フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 **件名をタップ→[コピー]**

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 **本文中の電話番号をタップ**

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 **http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html**
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.114「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 **本文中のURLをタップ**

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。 • 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.105)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面で[Eメール]→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面で[Eメール]→ ▭ をロングタッチ→[全検索]

2 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 [🔍]／キーボードの[🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎キーワード検索以外にも ⌄ をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示されます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面で[Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには ● (赤色)、未読Eメールがあるスレッドには ● (青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示され、Eメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→ ▭ をロングタッチ

2

件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
全検索	▶P.95「Eメールを検索する」
削除	選択したスレッドをすべて削除します。 **削除するスレッドにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • スレッド内のEメールはすべて削除されます。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているスレッドをすべて選択できます。 • スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 • 削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
Eメール設定	▶P.104「Eメールを設定する」

メール

ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→ [アイコン] をロングタッチ

2

検索	▶P.95「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	インライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面で[Eメール]→[切替]

フォルダ一覧画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

[返信]：返信のEメールを作成

[転送]：転送のEメールを作成

[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除

[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除

▶：前のEメールを表示

◀：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。

フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

メール

送信メール詳細表示画面が表示されます。
[再送信]：同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]：コピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロッグタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、一旦送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロッグタッチ→[送信予約解除]→[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。
送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
[送信]：宛先が入力されているEメールを送信
[編集]：Eメールを編集
[コピー編集]：保護されたEメールをコピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／フラグを解除
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

◎ 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎ 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎ 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎ 送信ボックス･未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→ [▭] をロングタッチ

2

検索	▶P.95「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールにチェックを入れる→[移動]→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.101）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。

保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールにチェックを入れる→[保護]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信･未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールにチェックを入れる→[つける]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合はシステムメモリ（本体）に保存します。 **保存するEメールにチェックを入れる→[保存]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.109）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.101「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールにチェックを入れる→[受信]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.104「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ

2

返信	Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	• 転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.101）。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを、迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面／送信予約メール詳細表示画面→[ ]をロングタッチ

2

転送	転送するEメールを作成します。 送信メール作成画面が表示されます。 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.101）。
削除	Eメールを削除します。

メール

本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または ⇦ ／ ⇨ でカーソルを移動→[選択開始]→ ⇦ ／ ⇨ で選択範囲を指定→[コピー]** • Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面で文字列をロングタッチ→ ／ をドラッグして選択範囲を指定(またはをタップして本文全体を選択)→[]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合はシステムメモリ(本体)に保存します。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます(▶P.109)。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。 • 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。
	送信予約情報	送信予約日時を確認します。
	送信予約解除	送信予約を解除します。

※画面により選択できる項目は異なります。

フォルダ一覧画面でできること

1 フォルダ一覧画面→ [□] をロングタッチ

2

検索	▶P.95「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.101「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダにチェックを入れる→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.104「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 フォルダ一覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダ一覧画面→[ ] をロングタッチ→[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

■振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加]→[▼]

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※1」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※1 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを入れる→[保存]

memo

◎振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある をタップして、条件を編集したり、削除することができます。
◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションなどを設定できます。

1 フォルダ一覧画面→[ ] をロングタッチ→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロックの解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知LEDのパターンを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	

4 **[OK]→[保存]**

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロックの解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロックの解除パスワードを設定してください(▶P.104)。

1 **フォルダ一覧画面→ をロングタッチ→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択**

2 **[フォルダロック]→フォルダロックの解除パスワードを入力→[OK]**

「フォルダロック」にチェックが入ります。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 **[保存]**

■ フォルダを並び替える

1 **フォルダ一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ**

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **移動する場所までドラッグして指を離す**

◎作成したフォルダ以外は移動できません。

メール

Eメールを設定する

1 ホーム画面で[Eメール]→□をロングタッチ→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

2

受信･表示設定	▶P.105「受信･表示に関する設定をする」	
送信･作成設定	▶P.106「送信･作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.107「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.107「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※1	保存場所の設定	メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 **本体メモリに保存**:本体メモリに保存します。 **ストレージに保存**:内部ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**:本体メモリから内部ストレージに移動します。 **本体メモリへ一括移動**:内部ストレージから本体メモリに移動します。
プライバシー設定	パスワード設定/パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定/変更します。 **パスワード(4～16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロック解除時にパスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効/無効を設定します。 **パスワードを入力→[OK]** • 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効/無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。

アドレス変更・その他の設定	▶P.108「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.109「Eメールをバックアップ／復元する」
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

※1 受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付画像を保存する」(▶P.93)をご参照ください。

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[受信・表示設定]**

2

メール自動受信		サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信※1	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録します。 • [アイコン]をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※2」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[[アイコン]]→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信※1	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。

文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像（縦画面）	背景画像を設定します。 **[設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]** • 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。
	背景画像（横画面）	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、[メニュー]をロングタッチ→[その他]→[本文受信]→[本文取得]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。
※2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[送信・作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称（全角8／半角24文字相当まで）を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでは自動的に挿入されないので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[メニュー]をロングタッチ→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 • 冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでは自動的に挿入されないので、スレッド内容表示画面で本文入力欄をタップ→[メニュー]をロングタッチ→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。

返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 • 会話モードでは、チェックを入れてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]**

2

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたはシステムメモリ(本体)の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
LED	Eメール受信時の通知LEDのパターンを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するか、通知アイコンも表示しないかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	を押して着信音を停止するかどうかを設定します。 • 着信音が停止するのは、画面が点灯／消灯するタイミングです。	

個別の通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]**

2 **[新規設定]**

3 **[アドレス帳引用]／[メール受信履歴引用]／[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択**

4

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたはシステムメモリ（本体）の音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］**	
LED	Eメール受信時の通知LEDのパターンを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	画面消灯中にEメールを受信した場合、画面を点灯するかどうかを設定します。 ▶P.92「Eメールを受信する」	

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 **Eメール設定画面→［アドレス変更・その他の設定］→［接続する］**

2

Eメールアドレスの変更へ	Eメールアドレスは Eメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］** **2. ［承諾する］** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→［送信］→［OK］** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	▶P.111「迷惑メールフィルターを設定する」

自動転送先の設定へ	本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→転送先のEメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。

memo

◎ 本製品ではバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/storage/extSdCard/private/au/email/BU）に、取り付けられていない場合はシステムメモリ（本体）（/storage/emulated/0/private/au/email/BU）に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ（メール本文･添付ファイル）をバックアップすることができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ･復元]

2 [メールデータバックアップ]→[OK]

microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。

3 バックアップするデータを作成するための文字コードにチェックを入れる→[OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップしてご確認ください。

4 バックアップするメール種別にチェックを入れる→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文·添付ファイル)を復元することができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ·復元]

2 [メールデータ復元]

3 [受信メール]/[送信メール]/[未送信メール]/[ストレージから探す]→[OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

- 「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
- 「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]/[上書き保存]→[OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付されたデータもバックアップできます。
※バックアップしたファイルサイズが端末本体に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
◎メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行っていただくか、まるごとバックアップをご利用ください。
◎シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。
◎バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているメールデータや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文·添付ファイル)、メール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。
シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ·復元]

2 [まるごとバックアップ]

- バックアップデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると 、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(本文·添付ファイル)、メール設定、振分け条件を全て消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→[バックアップ·復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを入れる→[OK]

■ 復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ]→[OK]

- シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップするメール種別にチェックを入れる→[OK]

- ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

6 [OK]→[OK]→[OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [OK]→[OK]

◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信/拒否する機能と、携帯電話·PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面→[アドレス変更·その他の設定]→[接続する]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール·自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3

オススメ設定へ		とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール･自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リスト･アドレス帳受信設定へ	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールを全てブロックする場合は、「携帯／PHSのみ受信設定へ」を「設定する」に設定し、更に「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。
		アドレス帳受信設定へ： Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リスト設定へ	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHSのみ受信設定へ	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
個別設定	上記以外の個別設定へ	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ごご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 **拒否通知メール返信設定：** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、[返信する]の選択のみ可能です。
一括解除		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※[ヘルプ]をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
※最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
http://www.au.kddi.com/ →「迷惑メールでお困りの方へ」→「迷惑Eメール防止方法」→「迷惑メールフィルター機能」

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
なりすまし規制回避リスト＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHSのみ受信設定＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
◎「なりすまし規制回避リスト」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルター設定へ」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。

※au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字･ひらがな･カタカナ･英数字･記号･絵文字･顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 アプリ一覧画面で［SMS］

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 ［ ］

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、手順4へ進みます。

3 ［宛先を入力］→相手先電話番号を入力

［ ］→連絡先から相手先を選択することもできます。
海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 ＋ 国番号 ＋ 相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※連絡先から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 ［メッセージを入力］→本文を入力

本文は、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 ［送信］

送信したメッセージをロングタッチ→［送達確認結果］と操作すると送信結果を確認できます。

memo

◎メッセージ作成中に［ ］をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに［ ］が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 アプリ一覧画面で[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。
◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎スレッド内容表示画面で をタップすると相手先に電話をかけることができます。
◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 アプリ一覧画面で[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

■返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[ ]→連絡先から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメールを作成

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

memo

◎本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります（▶P.118「SMS安心ブロック機能を設定する」）。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージにはが表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [ ]→[アドレス帳への登録]

連絡先の登録画面が表示されます。「＋」または追加する連絡先をタップしてください。詳しくは、「連絡先を登録する」（▶P.134）をご参照ください。

- スレッド一覧画面で登録する相手先の[ ]→[はい]と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[ ]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 キーボードの[ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 アプリ一覧画面で[SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [⋮]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [🗑]→[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 アプリ一覧画面で[SMS]

2 [⋮]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3

通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 **[OFF]/[プリセットから選択]/[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]/パターンを選択→[OK]**
LED	SMS受信時に通知LEDを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名(全角20/半角45文字まで)を入力→[設定]**
受信フィルター	▶P.118「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに✓を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 **カラーを選択→[OK]**

memo

◎ SMS設定メニュー→[⋮]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 **SMS設定メニュー→[受信フィルター]**

2

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 **入力欄をタップ→登録したい電話番号を入力→[追加]** • をタップすると、連絡先から宛先を選択して電話番号を登録できます。 • スレッド内容表示画面で[⋮]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録することができます。 • 登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除したい電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎ SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS(ぷりペイド送信含む)です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX(伝言お知らせ)※1、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。
※1 お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに が表示され送信されません。

PCメールを利用する

「メール」アプリケーションを利用して、普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります(▶P.119)。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。
- 登録するメールアカウントによって操作が異なる場合があります。

1 アプリ一覧画面で[メール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力

3 [次へ]

自動的にメールサーバーの設定が行われます。

- 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

4 アカウントオプションの設定を行う→[次へ]

5 「アカウント名を付ける(オプション)」欄をタップ→アカウント名を入力

6 「ユーザー名(送信メールに表示)」欄をタップ→ユーザー名を入力

7 [完了]

設定したアカウントのメールが読み込まれ、メール一覧画面(受信トレイ)が表示されます。

memo

◎2件目以降のPCメールアカウントを設定するには、メール一覧画面で[⋮]→[設定]→[アカウント管理]→[+]と操作します。

◎メール一覧画面で画面上部のアカウント名をタップ→[統合受信トレイ]と操作すると、設定したPCメールアカウントの受信メールがすべて表示されます。

◎メール一覧画面で⋮をタップするとメニュー項目が表示され、フィルターや一覧画面の表示モードの変更、文字サイズの変更などの操作が行えます。また、メールをロングタッチ→メールにチェックを入れて画面下部のアイコンをタップすると、メールの削除や別のフォルダへの移動などの操作が行えます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリ一覧画面で[メール]

メール一覧画面が表示されます。

2 [⋮]→[設定]

アカウント管理	(メールアドレス)	同期設定	Eメールを同期	メールを同期するかどうかを設定します。
			同期スケジュール	メールを同期するタイミングなどを設定します。
			同期するEメールの期間	Eメールのサーバーと同期をする期間を設定します。
			受信サイズの制限	受信するEメールのサイズを設定します。
		署名	PCメールを作成するときに自動的に署名を入力するかどうかを設定します。「署名を編集」をタップすると、署名を入力・編集できます。	
		メインアカウント	チェックを入れると、メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。	
		パスワード	パスワードを設定します。	
		Eメール通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。	
		通知音	PCメールを受信した場合の着信音を設定します。	
		バイブ	PCメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。	
		その他の設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
			ユーザー名	ユーザー名(差出人名)を変更します。
			必ず自分にCc/Bccを送信	PCメールを送信するときに、自分のメールアドレスにもCc/Bccで送信するかどうかを設定します。
			画像を表示	メール内の画像を表示するかどうかを設定します。 •「受信サイズの制限」で設定したサイズを超える場合は、画像は表示されません。
			セキュリティオプション	暗号化したり、署名などのセキュリティオプションを設定したりします。
			添付ファイルを自動ダウンロード	Wi-Fi® 接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。

メール

アカウント管理	(メールアドレス)	その他の設定	受信設定 送信設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。
表示	内容の自動サイズ調整	画面に合わせてPCメールを縮小表示します。メール詳細画面で拡大することができます。		
	本文のプレビュー行数	PCメールのプレビューの行数を設定します。		
	リスト内のタイトル行	PCメールのタイトルに「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。		
	チェックボックスを非表示	メール一覧画面にチェックボックスを表示させるかどうかを設定します。		
標準画面	Eメールの移動や削除をした後に表示する画面を選択します。			
優先送信元設定	標準フォルダとして設定	PCメールを開くときに優先送信元受信トレイを表示するように設定します。		
	Eメール通知	優先送信元からPCメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。		
	通知音	優先送信元からPCメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。		
	バイブ	優先送信元からPCメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。		
迷惑メールアドレス	迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。			
Eメールの送信待機	Eメールの送信待機	Eメールの送信操作をした後に、送信のキャンセルボタンを表示するかどうかを設定します。		
Eメールの送信待機	待機時間の設定	キャンセルボタンを表示する時間を設定します。		

memo

◎アカウントによって、表示される項目が異なることがあります。また、前記以外の項目が表示される場合もあります。

PCメールのアカウントを削除する

1 メール一覧画面→[⋮]→[設定]→[アカウント管理]

2 [🗑]

- アカウントを複数登録している場合は[⋮]→[アカウント削除]と操作してください。

3 削除したいアカウントにチェックを入れる→[完了]→[OK]

PCメールを送信する

1 メール一覧画面→[ ]

メール作成画面が表示されます。

- メール作成画面で[ ]→「送信元」欄をタップすると、メールアカウントを切り替えられます。

2 「宛先」欄をタップ→宛先を入力

- CcまたはBccを追加するには、[ ]→「Cc」/「Bcc」欄をタップします。
- アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補表示をします。
- 複数の宛先にPCメールを送信する場合は、カンマで区切って次のメールアドレスを入力します。
- をタップすると、連絡先からメールアドレスを選択して入力できます。
- 宛先を削除するには、キー表示されている宛先の をタップします。宛先がキー表示されていない場合は、再度「宛先」欄をタップすると表示されます。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 本文欄をタップ→本文を入力

5 必要に応じて添付/挿入操作を行う

- 添付する場合は をタップします。本文中に挿入する場合は を タップして本文装飾メニューを表示し、 をタップします。
- 添付は「画像」「カメラを起動」「動画」などから選択できます。
- 挿入は「画像」「連絡先」「マップ」などから選択できます。

6 [ ]

◎作成中のメッセージを下書きに保存するには をタップします。

PCメールを受信する

1 メール一覧画面→画面上部のアカウント名をタップ→受信したいアカウントの[受信トレイ]

2 [ ]

3 メールをタップ

メール詳細画面が表示されます。

◎新しいメールの受信をお知らせする がステータスバーに表示されます。
◎受信したPCメールのアドレス左側の画像をタップすると、連絡先に登録したり、連絡先に登録済みの場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
◎メール詳細画面で をタップするとメニュー項目が表示され、文字サイズの変更やメールの設定などの操作が行えます。

■ 添付ファイルを保存する

1 メール詳細画面→添付ファイル欄をタップ

添付ファイルの一覧が表示されます。

2 保存したいファイルの[ダウンロード]

添付ファイルは、「ギャラリー」(▶P. 144)の「Download」フォルダに保存されます。

- 複数の添付ファイルがある場合は「全てダウンロード」が表示され、タップするとすべての添付ファイルを保存できます。
- 「プレビュー」をタップすると、ファイルを確認できます。

memo

◎添付ファイルのあるメールは、メール一覧画面に が表示されます。

■ メールを別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面→移動したいメールをロングタッチ→移動したいメールにチェックを入れる→[ ]

2 移動したいフォルダをタップ

memo

◎フォルダを作成するには、受信したいアカウントのメール一覧画面(受信トレイ)→[ ]→[+]→作成先を選択→フォルダ名を入力→[OK]と操作します。

◎登録したアカウントによっては、フォルダへの移動や、フォルダの作成ができない場合があります。

PCメールを返信/転送する

1 メール詳細画面→[ ]/[ ]

複数の宛先が含まれているメールの場合は、 をタップすると、全員に返信することができます。

2 本文を入力

 をタップした場合は、転送先の宛先を入力します。

- 元のメールの本文を削除するには「元のメール」のチェックを外します。

3 [ ]

PCメールを削除する

1 メール一覧画面→削除したいメールをロングタッチ→削除したいメールにチェックを入れる

2 [ ]

memo

◎メール詳細画面→[ ]と操作しても、メールを削除できます。

◎メールを削除した後に画面下部に表示される「戻す」をタップすると、削除したメールを元に戻すことができます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認･送受信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です（▶P.42）。

Gmailを起動する

1 アプリ一覧画面で[Gmail]

Gmail受信トレイ画面が表示されます。

- [⋮]→[ラベルの設定]と操作すると、メールの同期と通知設定画面が表示されます。
- 画面上部のアカウント名をタップすると受信トレイのカテゴリーを切り替えたり、別のフォルダを表示することができます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期して、受信トレイを更新します。

1 アプリ一覧画面で[Gmail]

2 [⋮]→[更新]

受信トレイが更新されます。

Gmailを送信する

1 アプリ一覧画面で[Gmail]

2 [✉]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→本文を入力

6 [➤]

[⋮]→[下書きを保存]と操作すると下書き保存されます。

Gmailを受信する

1 アプリ一覧画面で[Gmail]

2 受信したメールをタップ

Gmailを返信／転送する

1 アプリ一覧画面で[Gmail]

2 返信／全員に返信／転送するメールをタップ

■返信する場合

3 [↩]→[返信]→[返信]／[全員に返信]

4 [メールを作成します]→本文を入力

5 [➤]

メール

■ 転送する場合

3 [↩]→[返信]→[転送]

4 [To]→宛先を入力

5 [メールを作成します]→本文を入力

6 [➤]

◎全員に返信/転送するメールで ⋮ をタップしても、「全員に返信」/「転送」を選択できます。

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面で ⋮ をタップするとメニュー項目が表示され、設定などの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信（▶P.128「パケット通信を利用する」）
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能（▶P.196「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[その他ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[APN]→「LTE NET for DATA」を選択してください。

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスの加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面で[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示されます。

memo

◎ブラウザ画面では、本製品を横向きにして閲覧することもできます。本製品を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ディスプレイ]→「画面回転」の ○ をタップして ▯ にします。

■ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます。

- タップ：リンクやキーを選択・実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：ページを拡大／縮小できます。
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます（Webページによっては操作できない場合があります）。
- ⮌：直前に表示していたWebページに戻ります。

Webページを移動する

1 ブラウザ画面→画面上部のアドレスバーをタップ→[×]

検索／URL入力欄が表示されます。

2 URLまたは検索したいキーワードを入力

検索候補の一覧が検索／URL入力欄の下に表示されます。

3 検索候補から目的の項目を選択／キーボードの[実行]

Google検索の検索結果が表示された場合は、目的の項目を選択します。

memo

◎検索／URL入力欄の 🎤 をタップすると、音声で検索したいキーワードを入力できます。

ブラウザ画面のメニューを利用する

ブラウザ画面で ⋮ をタップするとメニュー項目が表示され、Webページの印刷、ブラウザの設定などの操作が行えます。

memo

◎Webページの印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。

ウィンドウを利用する

Webページを表示中に新しいウィンドウを開くことができます。

■新しいウィンドウを開く

1 ブラウザ画面→[⋮]→[新規ウィンドウ]

新しいウィンドウが開かれクイックアクセスが表示されます。

memo

◎ ブラウザ画面→[⋮]→[シークレットモード]→[OK]と操作すると、シークレットモードで新しいウィンドウを開けます。シークレットモードを利用すると、ブラウザの履歴や検索履歴などが残りません。

■ ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→[ ]（数字はウィンドウ数）

2 表示するウィンドウをタップ

■ ウィンドウを閉じる

1 ブラウザ画面→[ ]

2 閉じるウィンドウの[ ]

■ Webページ内のテキストを検索する

1 ブラウザ画面→[⋮]→[ページ内検索]

画面上部に検索バーが表示されます。

2 検索バーに検索したい文字を入力

検索バーに検索件数が表示されます。Webページ内の検索対象には青色のハイライト、その他の検索対象には青色の枠が表示されます。

3 [▲]／[▼]

前の検索対象／次の検索対象にハイライトが移動します。

• 検索を終了するには をタップします。

■ Webページ内のテキストをコピーする

1 ブラウザ画面→リンクのないテキストをロングタッチ

テキストが拡大表示されます。指を離すとテキストの上下に と 、メニューが表示されます。

2 ／ をドラッグしてテキストの範囲を指定

指定されたテキストはハイライト表示されます。

• 全文を選択するには「全て選択」をタップします。

3 [コピー]

クリップボードにコピーされたとメッセージが表示されます。

• 指定した範囲のテキストをテキストまたは画像として共有するには「共有」、辞書で検索するには「辞書」、表示中のWebページ内で検索するには「検索」、Web検索するには「Web検索」をタップします。

memo

◎ コピーしたテキストは、他のアプリケーションでも利用できます。貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]と操作します。

◎ テキストを選択できないWebページもあります。

■ Webページ内の画像をダウンロードする

1 ブラウザ画面→ダウンロードする画像／画像を含むリンクをロングタッチ

2 [画像を保存]

memo

◎ ダウンロードした画像は、「ギャラリー」アプリケーションなどから確認できます。

リンクを操作する

1 リンクを操作するWebページを開く

2 リンクをタップ

■リンクのメニューを利用する

テキストのリンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンク先のWebページを開く、リンクを保存、リンクをコピーなどの操作が行えます。

画像のリンクをロングタッチすると、画像の保存やコピーなどの操作が行えます。

- リンクのない画像をロングタッチしても、画像のリンクと同じ操作ができます。

memo

◎リンクやWebページによっては、ロングタッチしてもメニューが表示されない場合や、選択した操作を実行できない場合があります。

ブックマーク／履歴を利用する

履歴の確認やブックマークの保存ができます。

1 ブラウザ画面→[★]

ブックマーク画面が表示されます。

2 開くブックマークをタップ

ブックマークを追加する

1 ブラウザ画面→[★]

ブックマーク画面が表示されます。

- [⋮]→[リスト表示]／[サムネイル表示]と操作すると、ブックマーク一覧の表示方法を切り替えられます。

2 [+]

3 タイトルを確認／編集

- ブックマークを保存するフォルダを変更したい場合は、「マイデバイス」欄をタップ→保存したいフォルダを選択します。

4 [保存]

■ブックマーク画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で⋮をタップするとメニュー項目が表示され、ブックマーク一覧の表示方法の変更、フォルダの作成、ブックマークを削除／並べ替えなどの操作が行えます。

履歴を確認する

1 **ブラウザ画面→[ ]→[履歴]**

履歴画面が表示されます。

2 **「今日」「昨日」など閲覧した時期をタップ**

3 **確認するURLをタップ**

履歴を消去する

1 **ブラウザ画面→[ ]→[履歴]**

履歴画面が表示されます。

2 **[ ]→[履歴を消去]→[OK]**

すべての履歴が消去されます。

ブラウザを設定する

ホームページの設定やプライバシーの設定、コンテンツに関する設定などを行うことができます。

1 **ブラウザ画面→[ ]→[設定]**

ブラウザ設定画面が表示されます。

2 **必要な項目を設定**

memo

◎ブラウザ設定画面→[ホームページを設定]→[現在のページ]→[完了]と操作すると、表示されているWebページがホームページに設定されます。また、設定されたURLは をタップすると表示されます。

◎キャッシュなどの一時的に本製品に保存されたファイルを消去するには、ブラウザ設定画面→[プライバシー]→[個人データを削除]→消去したい項目にチェックを入れる→[完了]と操作してください。

◎ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ブラウザ]と操作してもブラウザ設定画面を表示できます。

ツール・アプリケーション

連絡先

連絡先を登録する

連絡先画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加することもできます。

memo

◎ 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎「アカウントを登録する」(▶P.217)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます。

1 アプリ一覧画面で[連絡先]

《連絡先画面》

① **タブ**

「キーパッド」タブ(▶P.74「電話をかける」)

「履歴」タブ(▶P.75「履歴を利用して電話をかける」)

「お気に入り」タブ(▶P.135「連絡先をお気に入りに追加する」)

「連絡先」タブ:連絡先画面が表示されます。

② **検索ボックス**

名前や電話番号などを入力して、連絡先を検索できます。

③ **プロフィール(▶P.135「プロフィールを登録する」)**

④ **連絡先一覧**

画像をタップするとアイコンメニューが表示され、アイコンをタップして電話発信やSMS送信などの操作ができます。

⑤ **連絡先登録件数**

⑥ **グループボタン**

グループ画面を表示します。

⑦ **連絡先登録ボタン**

⑧ **メニューボタン**

⑨ **インデックス**

ドラッグして目的のインデックス上で指を離すと、選択したインデックスに属する連絡先を検索できます。

2 [+]

連絡先の新規登録画面が表示されます。

- 初めて連絡先を登録する際は、保存先の確認画面が表示されます。「新しいアカウントを追加」をタップして、アカウントを新規に設定することもできます。アカウントを登録していない場合は、連絡先保存の確認画面が表示されます。
- 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。
- 一度保存先を選択すると、次回からは同じ保存先に保存されますが、連絡先の新規登録画面で変更することができます。

ツール・アプリケーション

3 **名前を入力**

名前入力欄の右側に表示されているをタップすると敬称などを入力できます。

4 **必要に応じて他の項目を入力・設定**

電話番号やメールアドレスを入力したり、着信音を設定できます。

- 「+」をタップすると項目を追加、「−」をタップすると項目を削除できます。
- 電話番号入力欄などの左側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。

5 **[保存]**

連絡先をお気に入りに追加する

■連絡先画面から追加する

1 **連絡先画面→追加したい連絡先をタップ**

連絡先詳細画面が表示されます。

2 **[ ](白色)**

(オレンジ色)に変わり、お気に入りに追加されます。

■お気に入り画面から追加する

1 **連絡先画面→「お気に入り」タブ**

2 **[+]→追加したい連絡先にチェックを入れる→[完了]**

追加した連絡先がお気に入り画面に表示されます。

■お気に入り画面のメニューを利用する

お気に入り画面でをタップするとメニュー項目が表示され、お気に入りの削除や表示方法の変更、ヘルプの確認ができます。

プロフィールを登録する

1 **連絡先画面→[マイプロフィールを設定]**

プロフィール画面が表示されます。

2 **必要な項目を入力→[保存]**

memo

◎登録されているプロフィールを編集する場合は、プロフィールをタップ→[ ]と操作して、編集してください。

連絡先を確認／編集する

1 連絡先画面→確認／編集したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

:SMSを作成できます。

:電話をかけることができます。

:メールを作成できます。

:連絡先のリンクを設定できます。

■ 連絡先を編集する場合

連絡先詳細画面→[ ]と操作します。

◎ 連絡先画面で連絡先を左にスワイプするとSMS送信、右にスワイプすると電話発信ができます。
本機能を解除する場合は連絡先画面→[⋮]→[設定]→[連絡先]→「スワイプで通話／メッセージ送信」のチェックを外してください。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理･利用できます。

1 連絡先画面→[ ]

グループ画面が表示されます。

- 連絡先が登録されているグループには、「(件数)」が表示されます。

2 確認したいグループをタップ→連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

■ グループを追加／編集する

1 グループ画面→[+]

- 登録済みのグループを編集するには、グループ画面→編集したいグループをタップ→[⋮]→[グループ編集]と操作します。

2 グループ名を入力

3 [グループ着信音]→設定したい着信音を選択→[OK]

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。
- 着信音の選択画面で「追加」をタップすると、着信音を検索して追加できます。

4 [グループバイブパターン]→設定したいパターンを選択→[OK]

- 「作成」をタップすると、お好みのバイブパターンを作成できます。

5 [メンバー追加]→追加したい連絡先にチェックを入れる→[完了]

6 [保存]

◎ グループ画面で ⋮ をタップするとメニュー項目が表示され、グループの並べ替えや削除、ヘルプの表示などの操作ができます。

連絡先から電話をかける

1 連絡先画面→電話をかけたい連絡先をタップ

- 連絡先を右にスワイプするか、連絡先の画像をタップ→[ ]と操作しても、電話をかけられます。

2 [ ]

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面／連絡先詳細画面で をタップするとメニュー項目が表示され、連絡先を削除／リンク、スピードダイヤルの設定、連絡先に関する設定などの操作が行えます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card (LTE)へインポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

システムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card (LTE)に保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先画面→[ ]→[設定]→[連絡先]→[インポート／エクスポート]

2 [システムメモリ(本体)からインポート]／[外部SDカードからインポート]／[SIMカードからインポート]

3 インポート先を選択

Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先として表示されます。

- システムメモリ(本体)／microSDメモリカードに2件以上のvCardファイルが保存されている場合は選択画面が表示され、1件／複数／すべてから選択できます。
- 「SIMカードからインポート」を選択した場合は、インポートしたい連絡先または「全て選択」にチェックを入れる→[完了]と操作します。

エクスポートする

連絡先をシステムメモリ(本体)やmicroSDメモリカード、au Micro IC Card (LTE)へエクスポートします。

1 連絡先画面→[ ]→[設定]→[連絡先]→[インポート／エクスポート]

2 [システムメモリ(本体)にエクスポート]／[外部SDカードにエクスポート]／[SIMカードにエクスポート]

- 「システムメモリ(本体)にエクスポート」／「外部SDカードにエクスポート」を選択した場合は、すべての連絡先がエクスポートされます。
- 「SIMカードにエクスポート」を選択した場合は、エクスポートしたい連絡先または「全て選択」にチェックを入れる→[完了]と操作します。

3 [OK]

マルチメディア

カメラを利用する

「カメラ」アプリケーションを利用して、静止画の撮影や、動画の録画ができます。
本製品を傾けることで、横向きと縦向きのどちらでも撮影／録画ができます。

カメラをご利用になる前に

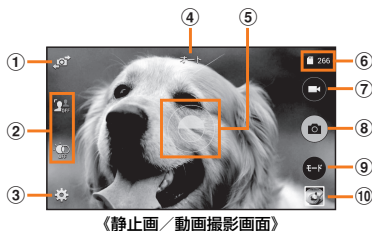
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 動画を録画する場合は、送話口を指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、送話口の音声の品質が悪くなる場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  ・強い逆光のもとにある被写体
  ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  ・暗い場所にある被写体
  ・動きが速い被写体
- 本製品は強い光が出ますので、ライトを目に近付けて点灯させないでください。ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影時のオートフォーカスロック音やシャッター音、動画録画の開始音や終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

撮影画面の見かた

ここでは、本製品を横向きにした状態の画面で説明しています。

1 ホーム画面で[カメラ]

操作アイコンはお買い上げ時の状態です。

《静止画／動画撮影画面》

① **内側／外側カメラの切り替え**

② **クイック設定（▶P.139）**

操作アイコンをタップすると、各設定が行えます。

③ **設定メニュー（▶P.139）**

④ **現在のモード**

設定中の撮影モードが表示されます。

⑤ **フォーカス**

⑥ **保存先（microSDメモリカード）**

保存先がmicroSDメモリカードのときに表示されます。また、microSDメモリカードのデータ容量が少なくなると、アイコンの右側にmicroSDメモリカードに保存できる静止画の枚数（目安）が表示されます。

設定の状況をお知らせする各種アイコンが、保存先アイコンの左側に表示されることがあります。

電池残量が少ないときや充電中の状態をお知らせするアイコンが、保存先アイコンの右側に表示されることがあります。

⑦ **シャッター（動画撮影用）**

⑧ **シャッター（静止画撮影用）**

⑨ **撮影モードメニュー**

撮影モードメニューが表示されます（▶P.141）。

⑩ **プレビュー縮小表示**

直前に撮影した静止画／動画のプレビューが縮小表示され、タップするとプレビュー画面（▶P.141）を表示できます。

memo

◎カメラを起動して約2分間何も操作をしないと、カメラは自動的に終了します。

◎クイック設定に表示される操作アイコンは、変更できます（▶P.139）。

■クイック設定を編集する

1 静止画／動画撮影画面で[ ]

カメラの設定メニューが表示されます。

2 操作アイコンをロングタッチ→クイック設定の入れ替えたい位置までドラッグして指を離す

- 四角枠の付いた操作アイコンの位置までドラッグすると、操作アイコンが入れ替わります。四角枠のみが表示されている場合は、ドラッグすると操作アイコンが追加されます。

撮影前の設定をする

カメラの設定メニューから、撮影の各種設定ができます。

- 各撮影画面に配置した操作アイコンをタップしても、設定を変更できます。

1 静止画／動画撮影画面で[ ]

カメラの設定メニューが表示されます。

2 各項目を設定

画像サイズ	撮影サイズを選択します。
連写	連写機能のオン／オフを設定します。 • オンにすると最大30枚まで連写可能です。
写真手振れ補正	静止画撮影時の手振れ補正機能のオン／オフを設定します。
顔検出	顔検出のオン／オフを設定します。
ISO	ISO感度を選択します。
測光モード	測光方法を「中央部重点測光」「多分割測光」「スポット測光」から選択します。
タップして撮影	画面をタップして撮影するかどうかを設定します。
選択フォーカス	人物などの被写体をタップすると、被写体の周囲（背景）をぼかしてくっきりと撮影できます。
動画のサイズ	撮影サイズを選択します。
録画モード	スローモーションやファストモーション、スムーズモーションなどの動画を撮影できます。
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のオン／オフを設定します。
音声ズーム	音声ズーム機能のオン／オフを設定します。 • オンにすると、被写体にズームインしたときに、音声もズームされます。
エフェクト	撮影時のエフェクトを選択します。 • 「ダウンロード」をタップすると、エフェクトをダウンロードして追加することができます。 • エフェクト一覧からエフェクトを非表示にするには、［エフェクトを管理］→非表示にしたいエフェクトのチェックを外す→［完了］と操作します。
フラッシュ	ライトのオン／オフを設定します。
タイマー	セルフタイマー機能を利用するかどうかを設定します。
HDR（リッチトーン）	HDR撮影をするかどうかを設定します。
位置情報タグ	撮影した静止画／動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
保存先	撮影した静止画／動画の保存先を「本体」「外部SDカード」から選択します。
写真／動画を確認	撮影後にプレビューを表示するかどうかを設定します。
リモートビューファインダー	リモートビューファインダー対応の機器とWi-Fi Direct機能で接続し、他の機器から本製品のシャッターを遠隔操作するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況に応じた設定を選択し、画像の色合いを補正します。
露出値	露出補正をします。
ガイドライン	ガイドラインを表示するかどうかを設定します。
音声コントロール	音声コントロール機能のオン／オフを設定します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
リセット	設定をリセットします。

3 設定が終了したら

memo

◎ メニュー項目によっては、同時に設定できない場合があります。

プレビュー画面を利用する

プレビュー画面を表示して、撮影した静止画／動画を確認できます。また、Eメールで送信したり壁紙に設定したりできます。

1 静止画／動画撮影画面→プレビュー縮小表示をタップ

プレビュー画面が表示され、画面上部にはメニュー項目が表示されます。

- 左右にスライドすると他の静止画／動画を確認できます。動画に切り替えて[▶]→アプリケーションを選択→[毎回]／[今回のみ]と操作すると、動画が再生されます。

2 画面上部のメニュー項目を選択

(プレーヤーを変更)：メディアファイル共有機能対応機器と接続して静止画を表示します（▶P.191）。
：表示中の静止画／動画を送付したり、Dropboxなどにアップロードしたりできます。
(編集)：表示中の静止画を編集します。
(トリミング)：表示中の動画をトリミングします。
(削除)：表示中の静止画／動画を削除します。
(メニュー)：メニューを表示します。

memo

◎メニュー項目が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。
◎メニュー項目はデータの種類により異なります。

撮影モードを変更する

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [モード]

3

オート		色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
美肌モード		人物を撮影する場合、自動的に顔の写りを整えます。
ショット&エフェクト※1	ベストフォト	1回のシャッターで8枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中から最も鮮明な画像が表示されます。 • ベストフォトとして保存したい静止画を選んで保存する場合は、保存したい静止画を選択→画面上部の(白色)をタップして(黄色)にする→[]→[OK]と操作します。
	ベストフェイス	1回のシャッターで5枚の静止画を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。 • 検出した被写体をタップ→サムネイルからベストフェイスの静止画をタップしてを表示→[]→[OK]と操作します。

ツール・アプリケーション

ショット&エフェクト※1	ドラマショット	動いている被写体を多重露出で撮影して、1枚の静止画に合成して保存できます。 • 合成したい静止画にチェックを入れる→[ ]→[OK]と操作します。 • をタップすると合成する範囲の調整などを編集できます。
	消しゴム	静止画に写りこんだ動く被写体を検出して、静止画から削除することができます。 • [ ]→[OK]と操作します。 • ／をタップすると被写体を削除／復元できます。
	パンニング撮影	被写体がすばやく動いて見えるように、背景をぼかします。 • [ ]→[OK]と操作します。 • 編集画面で「オブジェクト」をタップすると、被写体を編集できます。 • 編集画面で「モーションブラー」をタップすると、背景のぼかしを調整できます。ダイヤルをドラッグしてぼかしの角度を変え、画面を左右にスワイプしてぼかしのレベルを調整します。
パノラマ		水平／垂直方向に本製品を動かしてパノラマ写真を撮影できます。

バーチャルツアー	移動しながら周りの風景を撮影し、撮影した空間を移動しているような臨場感があるバーチャルツアーを作成できます。 • 撮影画面の中心に表示される白色の輪の中心に青色の円が入るようにカメラの向きを調整すると、カメラは空間を識別して撮影を開始します。画面の指示に従ってゆっくり前進したり、左折や右折をしたりして撮影します。撮影を終了する場合はをタップします。 • をタップするとプレビューを確認できます。各サムネイルには撮影した向きが表示されています。 • 最後に撮影した画像を削除したいときは「元に戻す」をタップしてください。 • 撮影したデータはスライドショーで再生されます。再生画面右上の小ウィンドウには、カメラの軌跡と向きが表示されます。 • 撮影したデータは「ギャラリー」アプリケーションで再生できます。
デュアルカメラ	外側カメラと内側カメラを使って、例えば風景（静止画／動画）の中に自分の顔写真を貼り付けた撮影などができます。 • 「動画のサイズ」が「1920×1080（16：9）」の場合は最大5分、それ以外の場合は最大10分間の動画を撮影できます。
ダウンロード	Samsung Appsから撮影モードをダウンロードできます。

※1 エフェクトは写真を撮影した直後か、「ギャラリー」アプリケーションのスタジオで選択できます。

memo

◎「ドラマショット」を選択した場合は、次の点に注意して撮影してください。
- 本製品を1箇所に固定し、一方向に動いている1つの被写体を対象に、背景が動いていないところで撮影してください。
- 背景と被写体の色彩が似ている場合は、正しく撮影できない場合があります。
- 大きい／小さい被写体や、バスや汽車など長い被写体は、正しく撮影できない場合があります。

◎「消しゴム」を選択した場合は、次の点に注意して撮影してください。
- 撮影時は本製品が動かないように固定して撮影してください。
- 背景と被写体の色彩が似ている場合、被写体の動きが大きすぎる／小さすぎる場合、または動いている被写体が多い場合は、被写体の動きが一部のみ検出されたり、被写体が削除できないことがあります。
- 被写体の動きが小さすぎる／大きすぎる場合は、正しく削除できない場合があります。
- 動いている被写体が多い場合は、一部の被写体のみが検出されることがあります。

◎「パノラマ」を選択した場合は、次の点に注意して撮影してください。
- カメラを一方向にゆっくりと動かし、青枠が白枠からずれないようにしてください。
- 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。

録画モードを設定する

録画モードを変更することで、スローモーション、ファストモーション、またはスムーズモーションの動画を撮影できます。

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 [⚙]→[録画モード]

3

標準	標準の動画撮影を行います。
スローモーション	スローモーション再生用として、120fpsで録画します。 「×1/2」「×1/4」「×1/8」
ファストモーション	ファストモーション再生用として録画します。 「×2」「×4」「×8」
スムーズモーション	より鮮明にスムーズに再生するために、60fpsで録画します。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます(1.0倍～最大約4.0倍)。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- 画面をタップすると、フォーカスが移動してピントを合わせます。

3 [📷]

シャッター音が鳴って撮影され、撮影した静止画が自動的に保存されます。
- 音量キーを押しても静止画を撮影できます。
- 撮影時に📷をロングタッチ／音量キーを1秒以上長押しすると、最大30枚までの連写ができます(連写機能をオンに設定している場合のみ)。

memo

◎撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。

動画を録画する

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける→[■]

開始音が鳴り、動画撮影が開始されます。

- 画面をピンチすると、ズーム調節ができます(1.0倍〜最大約4.0倍)。ただし、撮影モードの設定によっては、ズーム調整ができない場合があります。
- ■をタップすると撮影を一時停止できます。

3 撮影を終了するときは[■]

終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

◎動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。

ギャラリー

本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は次の通りです(ファイルによっては再生できない場合があります)。

- 利用方法などの詳細については、データ一覧画面で[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。ヘルプコンテンツのダウンロード確認画面が表示された場合は、画面の指示に従ってヘルプコンテンツをダウンロードしてください。

静止画	JPEG、PNG、GIF、AGIF、BMP、WBMP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM、TS

◎本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で[ギャラリー]

データ一覧画面が表示されます。

- ■をタップするとカメラを起動できます。
- 画面左上の☰をタップすると表示設定やフィルターを選択できます。
- [⋮]→[表示するコンテンツ]→登録済みのオンラインサービスにチェックを入れる→[OK]と操作すると、オンラインサービスに保存されているコンテンツを表示できます。
- 表示設定が「アルバム」の場合はアルバム一覧画面が表示されます。アルバムを選択するとデータ一覧画面が表示されます。

memo

◎表示設定が「アルバム」の場合はデータ一覧画面で画面を左右にフリックすると、アルバム一覧の表示／非表示が切り替えられます。

静止画／動画を表示する

1 データ一覧画面→表示したい静止画／動画をタップ

静止画／動画が表示されます。静止画／動画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

- 画面をタップすると操作アイコンが表示され、データの送信やオンラインサービスへのアップロード、削除などの操作ができます。

2 動画を再生する場合は、をタップ

動画が再生されます。

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム一覧画面／データ一覧画面でをタップすると、アルバム／データの選択や表示するコンテンツの設定などの操作が行えます。
アルバム／データを選択した状態で、画面上の各アイコンをタップすると、アルバム／データの送信やアップロード、削除、スライドショーや移動／コピー、名前の変更、スタジオなどの操作が行えます。

- 利用できる機能はアルバム／データの種類や画面によって異なります。

memo

◎静止画の印刷は、本製品に対応するプリンターでのみ印刷できます。
◎ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[ギャラリー]と操作すると、Wi-Fi接続時のみ同期、フィルター、タグバディ、フェイスタグなどの設定や操作が行えます。

ビデオ

本体やmicroSDメモリカードに保存されている動画を再生できます。
再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM、TS

memo

◎本製品は、DivXには対応していません。DivX形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

1 アプリ一覧画面で[ビデオ]

動画一覧画面が表示されます。

- 「パーソナル」タブの動画一覧画面には、本製品／microSDメモリカードに保存されている動画が表示されます。
- 「デバイス」には、同じWi-Fi®ネットワークに接続されたメディアファイル共有機能対応機器が表示され、タップすると動画一覧画面が表示されます。

2 再生したい動画をタップ

再生画面が表示されます。
を2回タップすると、動画一覧画面に戻ります。

■再生中の操作について

再生画面をタップすると操作アイコンが表示され、次の操作ができます。

	メディアファイル共有機能対応機器と接続して動画を再生します。
／	スライドして音量を調節します。
	メニューを表示します。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。

ツール・アプリケーション

／／／	動画の表示サイズを切り替えます。
／	タップすると再生中の動画の先頭／次の動画にスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
／	一時停止／再生します。
	再生画面を小さくします。他のアプリケーションを操作しながら動画を再生できます。
	再生画面でを押すとロックが設定され、画面をタップしても操作できません。 • ロックを解除するには再度を押します。をタップしてもロックを解除できます。
	画面を画像として保存（スクリーンショット）します。 • 表示するには再生画面で［］→［設定］→「キャプチャ」にチェックを入れる→［閉じる］と操作します。 • 一時停止中に／をタップすると巻き戻し／早送りします。
	画面を縦／横に回転します。 • 「画面回転」（▶P.209）がオンの場合は表示されません。

memo

◎ 再生中に音量キーを押したり画面を上下にスワイプしたりしても音量を調節できます。
◎ 画面を左右にフリックしても巻き戻し／早送りできます。

ビデオのメニューを利用する

動画一覧画面／再生画面でをタップするとメニュー項目が表示され、動画一覧の表示形式の変更、動画の共有、Bluetooth®デバイスへの音声出力、動画の削除などの操作が行えます。

memo

◎ 字幕の表示は、字幕が含まれている動画を再生したとき、または字幕ファイル（拡張子：smi、sub、srt、smptett、webvtt）のある動画を再生したときに表示できます。

ミュージック

本体やmicroSDメモリカードに保存されている楽曲データを簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は次の通りです（ファイルによっては再生できない場合があります）。

ファイル形式	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA

memo

◎本製品は、AC3には対応していません。AC3形式のファイルを再生するには、対応するアプリケーションをインストールしてください。

楽曲データを再生する

1 アプリ一覧画面で［ミュージック］

初めて起動したときは、「プレイリスト」タブのデータ一覧画面が表示されます。

2 画面上部のタブを選択→再生したい楽曲データを選択

再生画面が表示され、楽曲データが再生されます。

- 「曲」タブ以外の各タブでアルバムなどを選択するとデータ一覧画面が表示され、再生したい楽曲データをタップすると再生されます。
- 「デバイス」タブには、同じWi-Fi®ネットワークに接続されたメディアファイル共有機能対応機器が表示され、タップするとデータ一覧画面が表示されます。

■再生中の操作について

再生画面の操作アイコンを利用して、次の操作ができます。

- データ一覧画面で再生されている場合は、画面左下のジャケット画像表示領域をタップすると、再生画面が表示されます。

	メディアファイル共有機能対応機器と接続して動画を再生します。
／	スライドして音量を調節します。 • をタップすると、SoundAliveを設定できます。
	メニューを表示します。
／	シャッフル機能のオン／オフを設定します。
	プレイリストの「お気に入り」に再生中の楽曲データを追加します。
／／	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／再生中の曲をリピート）。
	再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データ一覧を表示します。
／	一時停止／再生します。
／	タップすると再生中の曲の先頭／次の曲にスキップします。ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
	再生中の楽曲データをプレイリストに追加します。

memo

◎マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続している場合（▶P.249）、スイッチを押すと「ミュージック」アプリケーションが起動して音楽が再生されます。再生中はスイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
◎再生中にを押して画面ロックを設定しても、再生は継続されます。画面ロック中に／を押してロック画面を表示すると楽曲データの再生画面が表示され、画面ロックを解除しなくても再生／一時停止／前後スキップの操作ができます。
◎再生中に音量キーを押しても音量を調節できます。

ミュージックのメニューを利用する

各タブ画面／再生画面で[⋮]をタップするとメニュー項目が表示され、プレイリストの操作や楽曲データの削除、再生に関する設定などの操作が行えます。

プレイリストを利用する

1 アプリ一覧画面で[ミュージック]→「プレイリスト」タブ→[プレイリストを作成]

2 プレイリスト名を入力→[OK]→[+]→追加したい楽曲データにチェックを入れる→[完了]

memo

◎再生中の楽曲データをプレイリストに追加するには、再生画面→[ ]→追加したいプレイリストを選択します。また、プレイリストを作成して追加するには、再生画面→[ ]→[プレイリストを作成]→プレイリスト名を入力→[OK]と操作します。

プレイリストを編集する

1 アプリ一覧画面で[ミュージック]→「プレイリスト」タブ→編集したいプレイリストを選択 →編集操作を行う

- 「+」をタップすると、プレイリストに楽曲データを追加できます。
- [⋮]→[タイトルを編集]と操作すると、プレイリスト名を変更できます。
- 楽曲データをロングタッチ→[ ]と操作すると、プレイリストから楽曲データを削除できます。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

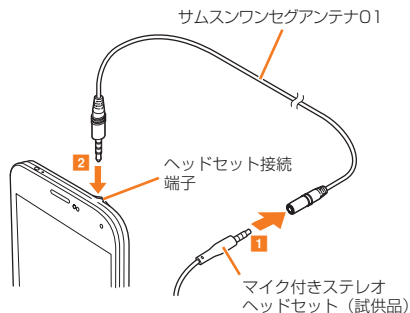
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ワンセグアンテナについて

本製品でワンセグを視聴するには、サムスンワンセグアンテナ01をご使用ください。
ワンセグの音声をスピーカーから出力する場合には、サムスンワンセグアンテナ01のみ、本製品へ接続してください。ワンセグの音声をマイク付きステレオヘッドセット(試供品)から出力する場合は、サムスンワンセグアンテナ01にマイク付きステレオヘッドセット(試供品)を接続してから、本製品へ接続してください。

1 マイク付きステレオヘッドセット(試供品)の接続プラグをサムスンワンセグアンテナ01のヘッドセット接続端子に接続

2 サムスンワンセグアンテナ01の接続プラグを、本製品のヘッドセット接続端子に接続

memo

◎サムスンワンセグアンテナ01にマイク付きステレオヘッドセット(試供品)を接続しても音声の出力が切り替わらない場合は、マイク付きステレオヘッドセット(試供品)のスイッチを押してください。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、ワンセグを見ることができます。

1 アプリ一覧画面で[ワンセグ]

2 ワンセグアンテナの確認画面→[OK]→チャンネル設定の確認画面→[OK]→地域を選択→ 都道府県を選択→ローカルエリアを選択→[OK]

ワンセグを見る

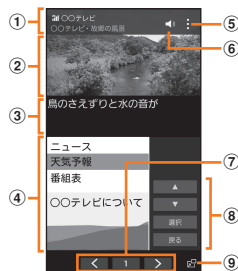
1 アプリ一覧画面で[ワンセグ]

視聴画面が表示されます。
ステータスバーに が表示されます。

- 操作画面(▶P.151)が表示された場合は、テレビ映像プレビューまたは「全画面表示」のいずれかをタップすると、視聴画面に切り替わります。

視聴画面について

《視聴画面》

ツール・アプリケーション

① **チャンネル名／番組名**
② **テレビ映像**
左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
ロングタッチすると、番組の詳細情報を表示します。
③ **字幕**
[ ]→[設定]→[字幕]→[ON]と操作すると、字幕が表示されます。
④ **データ放送**
⑤ **メニューボタン**
⑥ **音量ボタン**
音量を調節します。
⑦ **チャンネル番号**
現在のチャンネル番号を表示します。
チャンネルの数字をタップすると、操作画面の「CH」タブを表示します。
「 」と「 」をタップするとチャンネルを切り替えることができます。
⑧ **データ放送操作パネル**
／ で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。
⑨ **ポップアップTV画面**
タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。
ポップアップTV画面をダブルタップすると視聴画面に戻ります。

◎ チャンネル名／番組名、メニューボタン、音量ボタンが表示されていない場合は、テレビ映像をタップすると表示されます。

■ 視聴画面でのキー操作

で画面をロックします。ロック中は が表示され、音量の変更以外の操作ができません。
音量キーで音量を調節します。

■ 視聴中の画像をキャプチャする

1 視聴画面で[ ]→[キャプチャ]
キャプチャした画像は操作画面の「TVファイル」タブで確認できます。

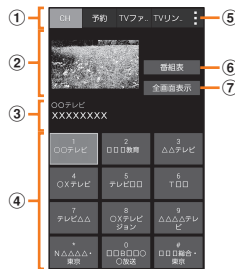
■ ワンセグを終了する

1 視聴画面で →[OK]
視聴画面で を押してホーム画面に戻っても、ワンセグは終了しません。

◎ ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ ワンセグ視聴時、「消音／一時停止」(▶P.48)機能で音声を自動的にミュートすることはできませんが、音量キーを使用することで、手動で音声をミュートにできます。
◎ マナーモードに設定していても、音量(▶P.208)の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

操作画面について

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

《操作画面(CHタブ)》

① **タブ**
タップすると各タブに切り替わります。

② **テレビ映像プレビュー**
タップすると視聴画面を表示します。

③ **チャンネル名/番組名**

④ **チャンネルリスト**
チャンネルをタップすると、テレビ映像プレビューのチャンネルが切り替わります。
チャンネルをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作すると、チャンネルリストから削除できます。

⑤ **メニューボタン**

⑥ **番組表**
タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。他のチャンネルの番組表に切り替えたり、録画/視聴予約を行うこともできます。

⑦ **全画面表示**
タップすると視聴画面を表示します。

視聴中の番組を録画する

1 視聴画面で[⋮]→[録画]

録画が開始されます。
- 録画中はテレビ映像の左端に「REC」が表示されます。
- 録画を停止するには「停止」をタップします。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

視聴中の設定を行う

1 視聴画面→[⋮]

2

終了	ワンセグを終了します。
録画	▶P.151「視聴中の番組を録画する」
キャプチャ	▶P.150「視聴中の画像をキャプチャする」
Gガイド番組表を起動	▶P.152「Gガイド番組表から予約する」
TVファイル	▶P.153「録画した番組を再生する」
設定	▶P.155「ワンセグを設定する」
BTヘッドセットに転送	Bluetooth®対応機器と接続して、音声をBluetooth®対応機器から流します。
データ放送全画面表示	データ放送を全画面で表示します。

データ放送トップに戻る	データ放送のトップページに戻ります。

ワンセグの録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 [番組表]→ 予約する番組をタップ

画面上部のチャンネル名をタップすると、チャンネルを変更できます。
番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

3 [予約]→[録画予約]／[視聴予約]

Gガイド番組表から予約する

auテレビ.Gガイドを利用できます。番組表から視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。
- 「auテレビ.Gガイドプレミアム（月額200円、税抜）」にご登録いただくと、auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用することができます。ここでは、無料で利用できる機能について説明しています。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください

1 視聴画面で[⋮]→[Gガイド番組表を起動]

Gガイド番組表画面が表示されます。

- ホーム画面で[アプリ]→[auテレビ.Gガイド]→[Gガイド番組表]でも同様に操作できます。
- 番組表を初めて起動したときは、登録画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 Gガイド番組表で番組を選択→[もっと見る]→[＋]→[ワンセグ連携]→[録画予約]／[視聴予約]

3 新規番組予約画面で各項目を確認／変更

項目をタップすると内容を変更できます。

4 [✓]

■Gガイド番組表画面のメニューを利用する

利用方法などの詳細については、メニューの「ヘルプ」をご参照ください。

1 Gガイド番組詳細画面→[メニュー]→[設定]

手動で予約する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

3 [⋮]→[マニュアル予約]

4 新規番組予約画面で各項目を入力→[✓]

予約を確認する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 「予約」タブ

予約一覧が表示されます。

REC：録画予約（成功した予約を含む）
：視聴予約（成功した予約を含む）
：失敗した録画予約
：失敗した視聴予約

- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 未実行の予約をロングタッチ→[削除]→[OK]と操作すると、予約を削除できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

録画した番組を再生する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ→「TVファイル」タブ

操作画面の「TVファイル」タブが表示されます。

- 視聴画面で[⋮]→[TVファイル]と操作しても「TVファイル」タブが表示されます。

2 再生する番組をタップ

再生画面が表示されます。

《再生画面》

① **チャンネル名/番組名**

② **再生映像**

タップすると、再生時間とスライダが表示されます。

●(スライダ)でファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

③ **字幕**

[⋮]→[設定]→[字幕]→[ON]と操作すると、字幕が表示されます。

④ **データ放送**

ツール・アプリケーション

⑤ **再生操作パネル**

⏮／⏭でファイルを切り替えます。ロングタッチすると早戻し／早送りを操作します。

▶／⏸でファイルの再生／一時停止を操作します。

⑥ **メニューボタン**

⑦ **音量ボタン**

音量を調節します。

⑧ **データ放送操作パネル**

▲／▼で項目にカーソルを合わせ、「選択」をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。

「戻る」をタップすると、リンクの履歴を戻ります。

⑨ **ポップアップTV画面**

タップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらワンセグを視聴できます。

ポップアップTV画面をダブルタップすると視聴画面に戻ります。

memo

◎チャンネル名／番組名、メニューボタン、音量ボタンが表示されていない場合は、テレビ映像をタップすると表示されます。

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 [⋮]→[エリア情報設定]→登録するエリアを選択

3 地域を選択→ 都道府県を選択→ローカルエリアを選択

チャンネルが検索され、選択したエリアにチャンネルリストが登録されます。

4 [OK]

memo

◎エリア情報を削除するには、削除するエリアをロングタッチ→[設定リセット]と操作します。

エリア情報を切り替える

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 [⋮]→[エリア切替]→切り替えるエリアをタップ

切替先のエリアにチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います。

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択

TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

◎リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

1 視聴画面でチャンネルの数字をタップ

操作画面の「CH」タブが表示されます。

2 「TVリンク」タブ

登録したTVリンクが一覧表示されます。

3 TVリンクを選択

登録したサイトに接続します。

◎TVリンクを削除するには、削除するTVリンクをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作します。

ワンセグを設定する

1 視聴画面で[⋮]→[設定]

2

<table>
<tr><td colspan="2">字幕</td><td>字幕を表示するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フレーム補間</td><td>フレーム補間を行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">SoundAlive</td><td>本製品にマイク付きステレオヘッドセット（試供品）を取り付けて視聴する際のSoundAliveを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">音声言語</td><td>複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">保存先設定</td><td>録画やキャプチャしたデータの保存先を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">TVオフタイマー</td><td>自動的にワンセグを終了するまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">データ放送</td><td>録画設定</td><td>映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。</td></tr>
<tr><td>画像保存先設定</td><td>画像の保存先を設定します。</td></tr>
<tr><td>通信接続確認</td><td>通信接続確認を行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>位置情報確認</td><td>位置情報確認を行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>製造番号通知</td><td>IMEIの通知を行うかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>放送局データ削除</td><td>放送局のデータを削除します。</td></tr>
</table>

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本製品と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です（▶P.42）。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」（▶P.157）でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［その他ネットワーク］→［モバイルネットワーク］と操作して、「モバイルデータ」のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 アプリ一覧画面で［Playストア］

Google Play画面が表示されます。

- 利用規約が表示されたときは「同意する」をタップしてください。

2 アプリケーションを検索→インストールしたいアプリケーションをタップ

カテゴリーなどから検索してアプリケーションをタップすると、アプリケーションの情報画面が表示されます。

3 説明やレビューなどの情報を確認→画面の指示に従って購入／ダウンロード

ダウンロード・インストールが開始されます。

- 有料アプリケーションを購入する場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。支払い方法の設定と、Googleウォレットで使用するクレジットカード情報を登録してください。

◎有料アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

ツール・アプリケーション

■返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■Google Playヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、[⋮]→[ヘルプ]と操作します。

- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションを表示したり、設定を調整したりできます。多くのアプリケーションにインストールを補助するウィザードが付属しています。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[セキュリティ]→「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる

2 注意事項を確認→[OK]

インストールされたアプリケーションを削除する

インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[アプリケーション管理]

2 「ダウンロード」タブ／「外部SDカード」タブ／「実行中」タブ／「全て」タブ→削除するアプリケーションをタップ

3 [削除]→[削除]

memo

◎Google Playやau Marketからダウンロード、インストールしたアプリケーションはすべてアンインストールすることができます。

◎アプリケーション内に保存されているデータを消去する場合は、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[アプリケーション管理]→データを消去するアプリケーションをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。

◎アプリケーションのキャッシュを消去する場合は、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[アプリケーション管理]→キャッシュを消去するアプリケーションをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。

■ダウンロードしたアプリケーションを表示する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[アプリケーション管理]→「ダウンロード」タブ

ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。
- 「全て」タブをタップするとすべてのアプリケーションの一覧が表示されます。

2 確認したいアプリケーションをタップ

YouTube

YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。
- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはGoogleアカウントを設定する必要があります。
- YouTubeの詳細については、YouTube画面→[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

YouTubeを利用する

1 アプリ一覧画面で[YouTube]

YouTube画面が表示されます。

2 再生する動画を選択

◎動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。

Googleサービス

Googleハングアウトを利用する

Googleハングアウトは、写真や絵文字、ビデオハングアウトなどを利用して会話を楽しめる無料コミュニケーションツールです。
- Googleハングアウトの利用にはGoogleアカウントが必要です(▶P.42)。

Googleハングアウトにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。
- Googleハングアウトの詳細については、Googleハングアウトの画面→[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧画面で[ハングアウト]

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 アプリ一覧画面で[マップ]

マップ画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、「Googleマップへようこそ」画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎現在地を取得する前に現在地検索の設定を有効にしてください(▶P.160)。
◎Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

GPS機能を利用する

現在地の測位には、モバイルネットワークと無線LAN(Wi-Fi®)機能またはGPS機能を使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、誤差が生じる場合があります。GPS機能を使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。無線ネットワークとGPS機能の両方を有効にすると、両方のメリットを生かして測位することができます。
本製品には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ(▶P.33)をおおわないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

memo

◎GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
◎本製品の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎本製品は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎衛星利用測位(GPS)は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
◎ワイヤレス通信製品(携帯電話やデータ検出機など)は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
◎各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。
◎当社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

■受信しにくい場所

GPS機能は人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本製品の周囲に障害物(人や物)がある場合
- 地下やトンネル、地中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

■GPS機能を有効にする

1 **ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[位置情報]**

2 **「位置情報」のをタップしてにする→注意事項を確認→[同意する]**

■位置情報の検出方法を変更する

現在地の測位に使用する位置情報の検出方法を設定します。

1 **ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[位置情報]→[モード]**

2 **[高精度]/[省電力]/[GPSのみ]**

地図上で現在地を検出する

1 **マップ画面→[ ]**

現在地が地図上に青い印で表示されます。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 **マップ画面→ストリートビューで表示する地点をロングタッチ**

マップ画面に が表示され、画面下部に指定した地点の住所や名前などの地点情報が表示されます。

- 地点情報の / をタップすると、道案内の情報を取得できます(▶P.161)。

2 **地点情報をタップ→[ストリートビュー]**

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 **マップ画面→検索欄をタップ**

2 **検索ボックスに検索する場所を入力**

住所、都市、ビジネスの種類や施設(例えば、ロンドン 美術館)を入力できます。

検索ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストで住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 **[ ]**

マップ画面に が表示され、画面下部に検索した場所の住所や名前などの地点情報が表示されます。

- 地点情報の / をタップすると、道案内の情報を取得できます(▶P.161)。

4 **地点情報をタップ**

検索した場所の詳細情報が表示されます。

周辺のスポットを確認する

1 **マップ画面→検索欄をタップ**

2 **カテゴリーをタップ**

- 「周辺のスポット」欄のカテゴリーの場合は検索結果一覧が表示されます。目的の情報をタップするとマップ画面に が表示され、画面下部に検索した場所の名前などの地点情報が表示されます。画面上部の「周辺のスポット」をタップすると、検索結果一覧に戻ります。
- 地点情報の / をタップすると、道案内の情報を取得できます(▶P.161)。
- 検索欄に検索したいカテゴリーを入力しても、周辺のスポットを検索できます。

地図を拡大／縮小する

1 画面をピンチアウト／ピンチイン

画面をダブルタップしても拡大できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面→[≡]

2 利用したいレイヤをタップ

交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

交通状況	交通状況を表示します。
公共交通機関	公共交通機関の情報を表示します。
自転車	自転車道や自転車レーン、自転車に向いている道路を地図上に表示します。 • 対応している地域でのみ、情報が表示されます。
航空写真	航空写真を表示します。
Google Earth	Google Earthを起動します。 • Google Earthのインストール画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

※その他に、最近検索した経路などが表示されることがあります。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面→[ ]

2 [ ]（車）／[ ]（公共交通機関）／[ ]（徒歩）

3 「目的地を入力...」に目的地を入力→[ ]

経路が表示されたマップ画面が表示されます。画面上部には出発地·目的地の情報、画面下部には経路情報が表示されます。

- 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。
- ⇅をタップすると、現在地と目的地を入れ替えることができます。
- 移動方法や経路などを変更する場合は、画面上部の出発地·目的地の情報をタップし、経路の候補一覧を表示してください。
  移動方法に車または徒歩を選択した場合は、必要に応じて「経路オプション」をタップして、高速／有料道路などを使用するかどうかを設定することができます。
  移動方法に公共交通機関を選択した場合は、必要に応じて「出発時刻」や「オプション」をタップして、日付と時刻の編集や経路オプションを変更することもできます。

4 道案内を取得する

目的地への道案内が表示されます。

- 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「ナビ開始」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
- 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

Friends Noteを利用する

Friends Noteはau携帯電話からのアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心･便利なアドレス帳です。また、Facebook･TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[Friends Note]

初回起動時にはFriends Noteの紹介画面や許可画面、利用規約などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

Sプランナー

本製品にはイベントやタスクを管理するSプランナーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、Googleカレンダーと同期することができます。「アカウントを登録する」(▶P.217)をご参照ください。

カレンダーを表示する

1 アプリ一覧画面で[Sプランナー]

カレンダー画面が表示されます。

カレンダーの内容について

《カレンダー画面(月表示の場合)》

① 今日

他の月や週などが表示されているときにタップすると、今日の日付が表示されます。

ツール・アプリケーション

② **新規作成**
イベント／タスクを新規に作成します（▶P.163）。
③ **メニュー**
メニューを表示します。
④ **表示切替**
年表示／月表示／月および予定／週表示／日表示／予定一覧表示に切り替えます。
⑤ **年・月・週・日表示**
画面左右の月表示または ＜ ／ ＞ （年／週／日タブの場合）をタップすると、前後のカレンダー（年／月／週／日）に切り替えられます。中央の日付をタップすると年月日の入力画面が表示され、表示したい年月日を指定できます。
⑥ **イベント／タスク／祝日表示**
イベント／タスクがある日付や祝日の日付をタップするとポップアップが表示され、タップすると詳細を確認できます。
⑦ **今日の日付**
⑧ **カーソル（青色）**

Sプランナーのメニューを利用する

カレンダー画面で ⋮ をタップするとメニュー項目が表示され、イベントやタスクの検索／削除、表示日の指定、カレンダーの表示設定などの操作が行えます。

イベントやタスクを作成する

1 カレンダー画面→［+］
- 新規イベント画面が表示された場合は「完了」をタップします。

2 ［イベント登録］／［タスク登録］→各項目を設定

3 ［保存］

イベントやタスクの通知を解除またはスヌーズを設定する

イベントやタスク作成時に通知を設定した場合、設定時刻になるとステータスバーでの の表示と、通知音の鳴動でお知らせします。

1 ステータスバーを下にスライド
通知パネルが表示されます。

2 お知らせ欄から通知をタップ
通知画面が表示されます。

3 ［スヌーズ］／［解除］
「スヌーズ」を選択すると、約5分後に選択したイベントやタスクが再通知されます（スヌーズとは、いったん通知を消しても、しばらくすると通知するようにする機能です）。
- 「スヌーズ時間を設定」をタップすると、スヌーズの時間を変更できます。
- 通知が複数表示されている場合は、チェックを入れることで設定する通知を選択できます。

Sプランナーの設定を変更する

カレンダーの表示設定や通知設定などの詳細を設定できます。

1 カレンダー画面→[⋮]→[設定]

2 変更したい項目を選択→設定を変更

◎ ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Sプランナー]と操作してもSプランナーを設定できます。

Samsung Apps

Samsung Appsを利用して、Samsung社がおすすめする豊富なアプリケーションを簡単にダウンロードできます。
一部の機能を利用するにはSamsungアカウントを設定する必要があります(▶P.42)。

1 アプリ一覧画面で[Samsung Apps]

- 初めて起動したときは、免責条項が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
- 更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作し、新しいバージョンに更新してください。

2 利用したいアプリケーションを検索してダウンロード

- Samsungアカウントを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってSamsungアカウントを設定(▶P.42)するか、設定をキャンセルしてください。

◎ Samsung Appsは、国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳しくはSamsung Appsサイト内のサポートページをご参照ください。
◎ Samsung Appsを利用してダウンロードしたアプリケーションのアップデートがある場合は、Samsung Appsアイコン右上にアップデートの件数が表示されます。

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 アプリ一覧画面で[ボイスレコーダー]

ボイスレコーダー画面が表示されます。

2 [ ]

録音が開始されます。
録音を一時停止するには をタップ、録音をキャンセルするには[ ]→[OK]と操作します。
また、録音中の音声にブックマークを追加するには をタップします。

- ／ :ファイル一覧／ボイスレコーダー画面に切り替えます。
- :録音モードを「標準」／「インタビュー」／「会話」／「音声メモ」に切り替えます。

3 [ ]

録音した音声が保存され、録音したファイル一覧画面が表示されます。

音声を再生する

1 ファイル一覧画面→再生したいファイルをタップ

再生を一時停止するには をタップします。

ボイスレコーダーのメニューを利用する

ボイスレコーダー画面／ファイル一覧画面で をタップするとメニュー項目が表示され、ボイスレコーダーの設定やファイルの並べ替えなどの操作が行えます。

Sボイス

電話の発信やSMSの送信、メモの作成など、音声入力で本製品の各機能を操作できます。

- Sボイスの詳細については、Sボイス画面で[ ]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。
- ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Sボイス]と操作すると、言語、不適切な語句を非表示、Sボイスについてなどの設定や操作が行えます。

Sボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- 本製品に向かってはっきりと話してください。
- 静かな場所でご利用ください。
- 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用する

1 アプリ一覧画面で[Sボイス]

Sボイス画面が表示されます。

- を2回押しても、Sボイスを起動できます。
- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面が表示され、「次へ」をタップすると免責条項画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

辞書

3か国語辞書(日·英·韓)を利用して語句を検索できます。本製品は次の辞書データをダウンロードして利用できます。
- 旺文社コンプリヘンシブ英和·和英辞典
©2013 Obunsha Co.,Ltd
- ニューエース韓日·日韓辞典

1 アプリ一覧画面で[辞書]

辞書画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、「辞書データのダウンロード／インストール」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 語句入力欄に検索したい語句を入力

単語の一覧が表示されます。

3 単語一覧で確認したい語句をタップ

選択した語句の意味が表示されます。
- 「すべて」／「意味」／「熟語」／「例文」タブをタップすると表示を切り替えられます。
- 単語帳を作成するには[ ]→[+]→単語帳名を入力→[OK]と操作します。
- 表示中の語句を単語帳に登録するには、[ ]→「+」の右側の単語帳名欄をタップ→単語帳を選択→[保存]と操作します。

辞書のメニューを利用する

辞書画面で をタップするとメニュー項目が表示され、単語帳の管理や検索履歴の表示、辞書の設定などの操作が行えます。

おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

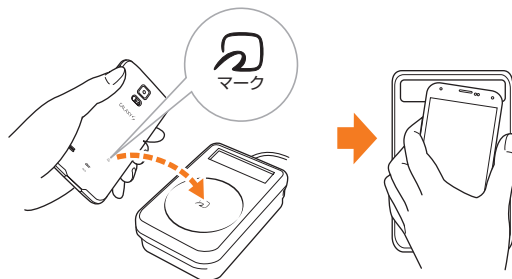
おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能(R/W)、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。
おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカード(au Micro IC Card, au Micro IC Card (LTE), au Nano IC Card (LTE)を含む。以下、au ICカードといいます)へ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」(▶P.268)をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失·盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失·盗難·故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。

- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau Micro IC Card (LTE)内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供者にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- 機内モード設定中は、おサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。
- 充電中は、おサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。

リーダー／ライターとやりとりする

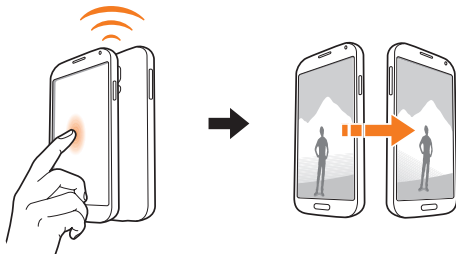
マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau Micro IC Card (LTE)内のデータのやりとりができます。

- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定している場合は、ご利用いただけません。

他の携帯電話機とデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータ通信ができます。データの送受信は、通信する機器の マークを向かい合わせて行います。

◎2台の携帯電話を平行にし、データの送受信が終了するまで マークを向かい合わせたまま動かさないようにしてください。
◎送受信できるデータの種類や操作方法は、アプリケーションにより異なります。画面の指示に従って操作してください。
◎ マークを向かい合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送受信の操作をやり直してください。

おサイフケータイ®を設定する

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［その他ネットワーク］

2 ［NFC／おサイフケータイ］

NFC／おサイフケータイ画面が表示されます。

3

NFC／おサイフケータイ ロック	▶P.169「おサイフケータイ®の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	▶P.169「NFC機能を有効にする」
Android Beam	P2P機能を利用して、他の対応機器との間でウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。
S Beam	P2P機能とWi-Fi Direct機能を利用して、S Beam対応機器との間で静止画や動画、ドキュメントなどのファイルを送受信できます。
NFC／おサイフケータイ ロックNo.変更	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を変更します。
NFC／おサイフケータイ ロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイ ロック」のロックNo.を忘れたとき、PINロック解除コードを入力してロックNo.を初期化します。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を有効にすると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

1 NFC／おサイフケータイ画面→「NFC／おサイフケータイ ロック」の をタップして にする

2 ロックNo.(パスワード)を入力→[OK]

ロックNo.(パスワード)を設定済みの場合はロックの確認画面が表示され、ロックNo.(パスワード)を入力→「OK」をタップすると「NFC／おサイフケータイ ロック」が有効になります。

memo

◎「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。

◎おサイフケータイ®ロック中は、ステータスバーに が表示されます。

◎ロックNo.はau Micro IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Micro IC Card (LTE)に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する

1 NFC／おサイフケータイ画面→「NFC／おサイフケータイ ロック」の をタップ

2 ロックNo.(パスワード)を入力→[OK]

「NFC／おサイフケータイ ロック」が解除されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター,P2P機能を利用するには、「Reader/Writer, P2P」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[その他ネットワーク]

2 [NFC／おサイフケータイ]

NFC／おサイフケータイ画面が表示されます。

3 「Reader/Writer, P2P」の をタップして にする

Android Beam／S Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話などと、Android Beam／S Beamを利用してデータの送受信ができます。

• あらかじめ「Reader/Writer, P2P」(▶P.169)、「Android Beam」(▶P.168)、「S Beam」(▶P.168)を有効に設定してください。
• すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■データを送信する

■例：Android BeamでウェブページのURLを送信する場合

1 ホーム画面で[ブラウザ]→送信するウェブページを開く

2 受信側の機器と マークを向かい合わせる

表示されている画面が小さく表示され、「Beamするにはタッチしてください。」と表示されます。

3 小さく表示された画面をタップ

ウェブページのURLが送信されます。

■データを受信する

1 送信側の機器でデータの送信操作を行う

2 送信側の機器と マークを向かい合わせる

- 許可画面や利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」／「今回のみ」をタップしてください。

memo

◎通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

NFCメニューアプリのメニューを利用する

NFCサービスに対応したアプリケーションの一覧表示や、NFCロックの設定など、各種設定を行うことができます。

1 アプリ一覧画面で[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示されます。

- 初めて操作したときは、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリケーションを選択

ダウンロードや初期設定が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。

■NFCメニュー画面のメニューを利用する

NFCメニュー画面で をタップすると、以下の項目が表示されます。

サービス一覧更新		サービス一覧の情報を更新します。
NFCポータルサイト		NFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		▶P.169「おサイフケータイ®の機能をロックする」
ヘルプ		NFCメニューのヘルプを表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリータイプの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面のアニメーション効果を有効にするかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。
サービス移行支援		NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグのデータの読み込みやデータ書き込みができます。

1 アプリ一覧画面で[NFCタグリーダー]

- NFC機能が無効の場合は、注意画面が表示されます。画面の指示に従って、NFC機能を有効にしてください。
- 初めて操作したときは、許可画面や利用規約画面、自動起動設定の確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2

Share		NFC機器を搭載した機器との間で連絡先などの各種データを送受信します。
Writing		本製品で設定した情報を、NFCタグにかざして書き込みます。
History		NFCの利用履歴を表示します。
Setting	NFC Setting	おサイフケータイ®のロックや、NFC機能の有効／無効を設定します(▶P.168)。
	App Setting	NFCタグリーダーの設定を行います。

FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリケーションを利用して、FeliCaに対応したサービスを利用できます。

1 アプリ一覧画面で[おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。

- 初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

サービス一覧画面のショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になるサービスを選択してください。
サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

「おサイフケータイ」アプリケーションのメニューを利用する

サービス一覧画面で［▭］をロングタッチすると、以下の項目が表示されます。

表示形式切替		表示形式を切り替えます。
サービス表示情報更新		サービス一覧画面の表示を更新します。
メモリ使用状況		FeliCaチップのメモリ使用状況を表示します。
サポートメニュー	おサイフケータイ アプリご利用規約	「おサイフケータイ」アプリケーションのご利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高情報表示機能のご利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョン情報を表示します。
	操作ガイド	「おサイフケータイ」アプリケーションの操作ガイドを表示します。
サポートメニュー	設定リセット	サービス一覧情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリケーションやデータは削除されません。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリケーションです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリケーションの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限することもできます。

- ログインするには、au IDが必要です。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 アプリ一覧画面で[安心アクセス]

- 「安心アクセス for Android」のダウンロードページが表示された場合は、「無料」をタップし、画面の指示に従ってダウンロード、およびインストールをしてください。正常にインストールが完了したら「アプリ起動」をタップしてください。
- 初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※1が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※1が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※1が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※1 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。
デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

6 [開始]

ウェブページが表示されます。

■管理者情報を登録する

1 アプリ一覧画面で[安心アクセス]

2 をロングタッチ→[その他]→[管理者登録]

• 画面上部の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。
以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 **アプリ一覧画面で［安心アクセス］**

2 **［▭］をロングタッチ→［その他］→［設定］→［管理者ページ］**

3 **管理者IDとパスワードを入力→［ログイン］**

4

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。 • 詳しくは、auホームページをご参照ください。 http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

auお客さまサポート

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

• 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［☰］→［ヘルプ］と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 **アプリ一覧画面で［auお客さまサポート］**

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

• 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
• 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定およびメッセージ受信設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「アカウントを設定せずに利用する」を選択します。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
操作･設定･トラブル	機種別の操作ガイドやお問い合わせの多いQ&Aを確認できます。
おすすめアプリ	各種サポートアプリを利用できます。
auスマートサポート	auスマートサポート会員専用メニューです。
お客さまセンターからのメッセージ	お客さまセンターからのメッセージを確認できます。

memo

◎ ☰をタップするとメニューが表示され、各種情報･設定の表示や変更、お問い合わせなどができます。

安心セキュリティパック

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

◎当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◎安心セキュリティパックは、auスマートサポートと併用できません。auスマートサポートのご解約と同時に安心セキュリティパックへお申し込みください。

ご注意

◎サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

◎ご契約いただいているau Micro IC Card (LTE)の情報と、利用開始設定時のau Micro IC Card (LTE)の情報が一致している端末の検索ができます。

◎auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。

- 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
- 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
- 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
  また、お客様のau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

■3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します] →[有効にする]と操作してください。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本体とmicroSDメモリカード内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、KDDIオペレータやお客様のPCから、本製品の位置をGPSで検索できます。
- 「3LM Security」を起動したときや、本製品が遠隔ロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■リモートサポート

- スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ウイルスバスター™ for au

- **不正アプリ対策**
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- **Webフィルタ**
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。

- **Web脅威対策**
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- **着信ブロック／SMSブロック**
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。
- **プライバシースキャン**
  アプリが個人情報を漏えいする可能性がある場合、警告を表示します。

memo

◎「ウイルスバスター™ for au」をご利用になるには、最初にアプリケーションをダウンロードする必要があります。

■ 3LM Securityを利用する

安心セキュリティパックの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧画面で[3LM Security]→[盗難紛失対策]

初回起動時には、3LM Securityの利用規約画面やデバイス管理者を有効にする画面が表示されます。
内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

■ リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧画面で[リモートサポート]

起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

3 オペレータの指示に従って操作

■ ウイルスバスター™ for auを利用する

1 アプリ一覧画面で[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]

2 [ウイルス･Web脅威対策とWebフィルタリング（ウイルスバスター™ for au）]

- 「アプリをダウンロードする」が表示された場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてください。
- 起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

3 項目を選択

4 画面の指示に従って操作

memo

◎ Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN（Wi-Fi®）接続時に有効です。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「3LM Security」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。
その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

※1 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

◎auスマートサポートは、安心セキュリティパックと併用できません。安心セキュリティパックのご解約と同時にa uスマートサポートへお申し込みください。
◎ウイルス･Web脅威対策は安心セキュリティパックのご解約により適用されなくなります。お客様にて別途セキュリティ対策を行うことをおすすめいたします。詳しくはお客さまセンターへお問い合わせください。
◎「3LMSecurity」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「3LM Securityを利用する」(▶P. 176)および「リモートサポートを利用する」(▶P. 176)をあわせてご参照ください。

3LM Securityを利用する

auスマートサポートの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧画面で[3LMSecurity]

2 [盗難紛失対策]

初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します]→[開始]と操作してください。

リモートサポートを利用する

1 auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。
「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧画面で[リモートサポート]

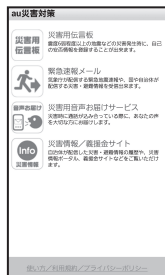
起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

3 アドバイザーの指示に従って操作

au災害対策アプリ

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧画面で[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(～ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害･避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害･避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害･避難情報の設定にてご利用いただけます。緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

2

削除	受信したメールを削除します。

設定	受信設定	**緊急地震速報**:緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**:災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**:受信音の音量を設定します。 **バイブ**:受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**:マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**:緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**:災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)、バイブレータの振動で通知します。
◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
◎災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
◎日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
◎緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]

■音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択」※1→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※1 をタップして、連絡先から選択することもできます。

■音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

※受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
※SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ Wi-Fi®でのご利用には、4G(LTE)/3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au携帯電話、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとり可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体内のメモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報/義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー→[災害情報/義援金サイト]

確認したい項目を選択してください。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円(税抜)で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

• 利用方法などの詳細については、auスマートパスTOPページ右上から[|||](サイドメニュー)→[各種設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

memo

◎ ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引へのご加入をおすすめします。
◎ 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 アプリ一覧画面で[auスマートパス]

auスマートパスにご加入いただいてない場合は、auスマートパスのコンテンツ一覧画面にある「各種サービス入会・退会」をタップし、au IDとパスワードを入力後、画面の指示に従って操作し、登録してください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

• au ID設定画面が表示された場合は、「au IDを設定」をタップし、画面の指示に従ってau IDを設定してください。
• 「auスマートパス通知について」画面が表示された場合は、「通知を受け取る」または「通知を受け取らない(後で設定する)」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
• 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリケーションを選択して「毎回」/「今回のみ」をタップしてください。

2 [auスマートパス]

auスマートパスのコンテンツ一覧画面が表示されます。

- auスマートパスTOPページ右上の[⫴](サイドメニュー)→[会員コンテンツ]と操作しても、auスマートパスのコンテンツ一覧画面を表示できます。

3

アプリ	利用したいアプリケーションを検索してダウンロードできます。
会員特典	クーポン、イベント、ショッピングなど、さまざまな会員限定の特典をご利用いただけます。
アルバム	au Cloudにバックアップされている写真や動画を閲覧できます。
映像※1	映画・ドラマ、アニメを検索して閲覧できます。
音楽※1	最新の洋楽からJ-POP、懐かしのヒット曲を検索して聴くことができます。
ブック※1	コミック、小説、雑誌、実用書、写真集などの電子書籍を検索して楽しむことができます。
あんしん	本製品を安心してご利用いただくためのアプリケーションやサービスなどを確認できます。
auスマパス総会	auスマパス総会の確認や参加ができます。
タイムライン	auスマートパスTOPページを表示します。

※1 一部有料となる場合があります。

memo

◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎アプリケーションなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ご利用になれるコンテンツは、機種によって異なる場合があります。
◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 アプリ一覧画面で[時計]

時計画面が表示されます。

2 各機能に切り替える

画面を左右にスワイプ／画面上部のタブをタップすると各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [+]

設定済みのアラームをタップすると編集できます。

3 各項目を設定・入力

- スヌーズを設定すると、設定した時間の経過後に再度アラーム画面の表示とアラーム鳴動で再通知されます(スヌーズとは、いったんアラームを停止しても、しばらくするとアラームが鳴るようにする機能です)。

4 [保存]

作成したアラームがアラーム一覧画面に表示されます。

⏰(緑色)をタップすると⏰(灰色)に変わり、アラームがオフになります。スヌーズ中は⏰(橙色)が表示され、タップすると⏰(灰色)に変わり、アラームがオフになります。

- 繰り返しを設定しているアラームの場合は、⏰(橙色)をタップするとスヌーズが解除され、アラームがオンになり⏰(緑色)が表示されます。

memo

◎アラームを削除するには、アラーム一覧画面→削除したいアラームをロングタッチ→削除したいアラームまたは「全て選択」にチェックを入れる→[]と操作します。
◎アラームを削除した後に画面下部に表示される「戻す」をタップすると、削除したアラームを元に戻すことができます。

アラームを止める

設定した時刻になるとアラーム画面が表示され、設定した種類･音量でアラームが鳴ります。

1 を表示される円の外までドラッグ／スライド

- スヌーズを設定したアラームの場合は、を表示される円の外までドラッグ／スライドすると、スヌーズを設定できます。

memo

◎アラーム鳴動中に／音量キーを押すとアラームを停止できます。スヌーズを設定したアラームの場合は、スヌーズが設定されます。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 時計画面→「世界時計」タブ

世界時計画面が表示されます。

2 [+]

都市／国の一覧画面が表示されます。

- をタップすると、現在地を追加できます。

3 追加したい都市／国を選択

memo

◎追加した都市／国を削除するには、世界時計画面→削除したい都市／国をロングタッチ→削除したい都市／国または「全て選択」にチェックを入れる→[]と操作します。
◎都市／国を削除した後に画面下部に表示される「戻す」をタップすると、削除した都市／国を元に戻すことができます。
◎登録した都市／国にサマータイムを設定するには、都市／国をロングタッチ→[]→[自動]／[無効]／[有効]と操作します。
◎世界時計画面→[]→[並べ替え]→をドラッグして都市／国を移動→[完了]と操作すると、都市／国の一覧を並べ替えられます。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブ

2 [スタート]

測定が開始されます。

- ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

3 [ストップ]

測定を再開するには「リスタート」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 時計画面→「タイマー」タブ→時間／分／秒をタップ

2 時間を設定→[スタート]

タイマーが開始されます。カウントダウンが終了するとタイムアップ画面が表示され、アラームが鳴ります。

- タイマーを停止するには「ストップ」、タイマーを終了するには「リセット」をタップします。
- 停止中に「リスタート」をタップするとタイマーを再開できます。

3 ⓧを表示される円の外までドラッグ／スライド

memo

◎ マナーモード設定中でもアラームが鳴ります。
◎ アラーム鳴動中に▯／音量キーを押すとアラームを停止できます。

電卓

加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行うことができます。

1 アプリ一覧画面で[電卓]

2 計算する

⌫：最後に入力した文字を消去します。ロングタッチすると入力した文字をすべて消去できます。
C：計算結果や文字を消去します。

memo

◎ 数字の入力中や計算の実行後に⌄をタップすると、計算の履歴を表示できます。「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて消去できます。
◎ 本製品を傾けて横表示にすると、関数電卓に切り替わります。

S Health

「歩数計」、「エクササイズ」、「心拍数」などのアプリを使って、消費カロリーや摂取カロリーの記録、運動の記録などを行い、健康管理をサポートします。

- 利用方法などの詳細については、S Healthメイン画面で[⋮]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧画面で[S Health]

S Healthメイン画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、「ようこそ」画面が表示され、「次へ」をタップすると利用規約画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2

S Health	各画面に切り替えられます。
／／	今日の活動（歩数／消費カロリー／摂取カロリー）が表示されます。 タップするとマイページ画面を表示できます。
歩数計	歩数計アプリを起動します。歩数計画面では、歩数と歩いた距離、消費したカロリーが表示されます。
エクササイズ	エクササイズアプリを起動します。ランニング、ウォーキング、サイクリング、ハイキングの4種目から選択して、エクササイズを行います。
心拍数	本製品背面の心拍数センサーを使って、心拍数を計測・記録します。
その他のアプリ	アプリケーションを追加、管理できます。

memo

◎ 目標摂取カロリーは、お客様が入力したプロフィールを元に基礎代謝量（BMR）を計算して表示されます。個人の年齢、身体組成、必要栄養素によって目標摂取カロリーは異なりますので、数値は目安としてご利用ください。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をカンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

スクリーンショットを撮る

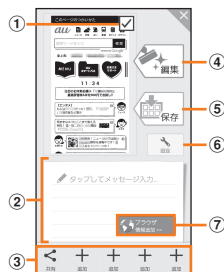
撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。

- お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。ホーム画面で[アプリ]→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→[設定]／▭をロングタッチ→[スライド位置設定]で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンからスクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング･画像の回転･画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ(SNSやEメール)を登録することができます。登録したアプリのアイコンを押すことで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、Eメールで送信できます。

① **画像添付切替ボタン**
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。

② **テキストエリア**
画像を他のアプリに共有する際に一緒に入力した文字を連携できます。

③ **送信先アプリ選択ボタン**
画像をメールアプリやSNSアプリに連携します。
表示されているアプリケーションを変更する場合は、変更するアプリケーションをロングタッチし、「エリア内までアイコンを運び離すと削除されます」にドラッグして指を離します。アプリケーションが削除された後「追加」をタップし、アプリケーションを選択します。

④ **編集ボタン**
画像を編集できます。
⑤ **保存ボタン**
画像を保存できます。
⑥ **設定ボタン**
機能の有効／無効、スライドの位置設定など次の設定項目についての変更ができます。
⑦ **情報付加ボタン**
タップすると、テキストエリアにマップの位置や、表示されているアプリの詳細説明ページのURLなどの情報を追加できます。

■ 設定項目

項目	概要
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキスト入力欄に入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、送信先のアプリでテキストの連携ができない場合は、この設定を「保存する」にして、送信先のアプリでテキストを貼り付けてください。
auスマートパスアプリ情報設定	「情報付加ボタン」で追加するときに、auスマートパスの情報を付加するかどうかを設定します。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

memo

◎「ワンセグ」アプリケーションなど、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。
• 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
• 初回起動時には、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 [初期設定]→画面の指示に従って操作

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品にセットすることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。また、連絡先などをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションにより、microSDメモリカードが必要になる場合がありますので、microSDメモリカードを挿入してご利用ください。
◎microSDメモリカードの空き容量を確認する方法については、「メモリの使用量を確認する」(▶P.187)をご参照ください。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.187)をご参照ください。

保護データについて

◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■取り扱い上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたり取り外しをしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカード(128GB)に対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

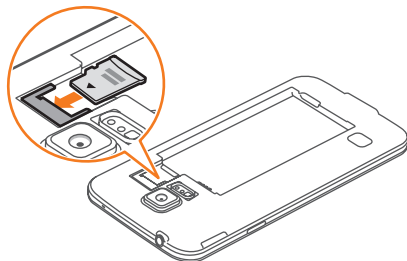
- 本製品の電源を入れたまま行うこともできますが、その際は途中で電池パックが外れないようご注意ください。また、取り外しの前には必ずmicroSDメモリカードのマウント(読み書き可能状態)解除を行ってください。
- 無理な取り付け/取り外しはしないでください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 背面カバー・電池パックを取り外す(▶P.34)

2 microSDメモリカードの端子(金属)面を下にし、図の向きでmicroSDメモリカードスロットの奥までまっすぐ差し込む

- microSDメモリカードスロットはau Micro IC Card (LTE)スロットの上段にあります。

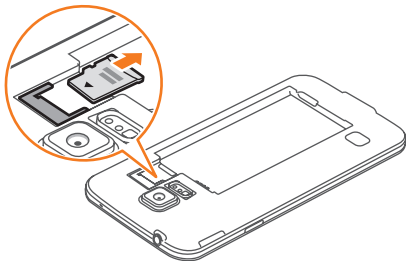
memo

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 背面カバー・電池パックを取り外す（▶P.34）

• 電源を入れたまま行う場合は、必ずホーム画面で［アプリ］→［設定］→［ストレージ］→［外部SDカードのマウント解除］→［OK］と操作して、ステータスバーに が表示されたことを確認してから行ってください。

2 microSDメモリカードをまっすぐ引き抜く

memo

◎マウント解除完了前に取り外すと、故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したまま、ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［ストレージ］→［外部SDカードのマウント］と操作してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。
◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［ストレージ］

2 ［外部SDカードを初期化］

3 ［外部SDカードを初期化］→［全て削除］

ロック画面が表示された場合は、設定した解除方法を実行し、「全て削除」をタップします。

メモリの使用量を確認する

本体内のメモリやmicroSDメモリカードの合計容量と空き容量などを確認できます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［ストレージ］

マイファイルを利用する

本体やmicroSDメモリカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などのデータを表示･管理できます。

1 アプリ一覧画面で[マイファイル]

カテゴリ一覧画面が表示されます。
カテゴリ一覧画面では「最近使用したファイル」「画像」「動画」「オーディオ」「ドキュメント」「ダウンロード済みアプリ」の6個のカテゴリと、ダウンロード履歴ショートカット、ローカルストレージ、クラウドストレージが表示されます。

- 「最近使用したファイル」をタップすると、マイファイルで最近使用したファイルの一覧が表示されます。
- 「画像」「動画」をタップすると、本体やmicroSDメモリカード内に保存されている画像データが表示されます。
- 「オーディオ」をタップすると、本体やmicroSDメモリカード内に保存されている音楽ファイルや音声データなどが表示されます。
- 「ドキュメント」をタップすると、本体やmicroSDメモリカード内に保存されているドキュメントファイルが表示されます。
- 「ダウンロード済みアプリ」をタップすると、本体やmicroSDメモリカード内にインストールされているアプリケーションが表示されます。
- [⋮]→[ショートカットを追加]→ショートカットで表示するフォルダを表示→[完了]と操作すると、カテゴリ一覧画面にショートカットを追加できます。
- 「システムメモリ(本体)」は本体内のメモリ、「SD card」はmicroSDメモリカードを示しています。
- 「Dropbox」をタップすると、アカウントを設定したDropbox内に保存されているファイルが表示されます。

2 利用したいフォルダをタップ

フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。
をタップするとカテゴリ一覧画面に、をタップすると1つ上の階層に移動します。

3 表示／再生したいファイルをタップ

選択したファイルが表示／再生されます。

マイファイルのメニューを利用する

カテゴリ一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で⋮をタップすると、以下の項目が表示されます。

選択		フォルダ／ファイルを選択します。
削除		フォルダ／ファイルを削除します。
ショートカットを追加		ショートカットを追加します。
FTPサーバーを追加※1		接続するFTPサーバーを設定します。
近くのデバイスをスキャン※1		同じWi-Fi®ネットワークに接続しているほかのメディアファイル共有機能対応機器をスキャンします。 • 機器が検出されると、ショートカットに機器名が表示されます。
フォルダ作成※2		フォルダを作成します。
表示モード※2		フォルダ／ファイルの表示形式を設定します。
並べ替え※2		ファイル／フォルダ一覧の表示順を変更します。
設定	隠しファイルを表示	隠しファイルの表示／非表示を設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子の表示／非表示を設定します。

※1 カテゴリ一覧画面にのみ表示されます。
※2 フォルダ／ファイル一覧画面でのみ表示されます。

本体内のデータをmicroSDメモリカードにバックアップする

マイファイルを利用して、本体内のメモリのデータをmicroSDメモリカードにバックアップできます。

■例：カメラで撮影したデータをバックアップする

ここでは、本製品の「カメラ」アプリケーションで撮影し、本体内のメモリに保存されているデータをmicroSDメモリカードにバックアップする方法を説明します。

1. **アプリ一覧画面で[マイファイル]**
2. **[システムメモリ(本体)]→[DCIM]→[Camera]**
3. **[⋮]→[選択]**
4. **バックアップするデータにチェックを入れる→[⋮]→[コピー]**
5. **[SD card]→保存するフォルダを選択→[ここに貼付]**
   - [フォルダ作成]と操作すると、新規にフォルダを作成できます。

memo

◎バックアップしたデータを本体に戻す場合は、microSDメモリカード内のデータを元の場所にコピーします。
◎Eメールを復元する場合は、「Eメールをバックアップ／復元する」(▶P. 109)をご参照ください。

■本体内の主なデータ保存場所

データの種類		データ保存場所
カメラで撮影したデータ		/storage/emulated/0/DCIM/Camera
Eメール(@ezweb.ne.jp)※1	受信メール	/storage/emulated/0/private/au/email/BU/RE
	送信済メール	/storage/emulated/0/private/au/email/BU/SE
	未送信メール	/storage/emulated/0/private/au/email/BU/DR
	受信メールで添付データを保存した場合	/storage/emulated/0/private/au/email/MyFolder
	受信メールで本文に挿入されている画像を保存した場合(D絵文字を含む)	/storage/emulated/0/private/au/email/MyFolder
ブラウザから保存した画像などのデータ		/storage/emulated/0/Download

※1 Eメールアプリでデータが本体内にバックアップされた場合の保存場所です。

microUSB接続ケーブル(試供品)でパソコンと接続する

microUSB接続ケーブル(試供品)で本製品とパソコンを接続すると、メディアデバイス(MTP)モードまたはカメラ(PTP)モードでパソコンとデータのやりとりができます。

memo

◎データ転送中にmicroUSB接続ケーブル(試供品)を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
◎著作権で保護されたデータはやりとりできない場合や、利用できない場合があります。
◎本製品は、USB3.0ケーブル(市販品)に対応しています。

メディアデバイス（MTP）モードで接続する

パソコンに本製品がポータブルデバイスとして認識され、パソコンと本体／microSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動をしたり、Windows Media® Playerと音楽や動画のデータを同期させたりできます。

1 microUSB接続ケーブル（試供品）で本製品とパソコンを接続

接続が完了すると、パソコンに「（本製品のデバイス名）」という名前で認識されます。

2 通知パネルを開く→［メディアデバイスとして接続］→「メディアデバイス（MTP）」にチェックが入っていることを確認

3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

- ドラッグ＆ドロップでデータをやりとりするには、パソコンで「（本製品のデバイス名）」フォルダを開き、「Phone」フォルダ（本体の場合）または「Card」フォルダ（microSDメモリカードの場合）を開いてから操作します。
- 音楽や動画のデータを同期するには、パソコンでWindows Media® Playerを起動し、同期の操作を行います。

memo

◎ ご利用になるパソコンのOSによっては、本製品がポータブルデバイス以外のデバイスとして認識される場合や、「（本製品のデバイス名）」以外の名前で表示される場合があります。

カメラデバイスとして使用する

本製品とパソコンをmicroUSB接続ケーブル（試供品）で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本製品で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 microUSB接続ケーブル（試供品）で本製品とパソコンを接続

2 通知パネルを開く→［メディアデバイスとして接続］→「カメラ（PTP）」にチェックが入っていることを確認

3 パソコンでデータのやりとりや、同期の操作を行う

microUSB接続ケーブル（試供品）を安全に取り外す

1 データ転送中でないことを確認

2 microUSB接続ケーブル（試供品）を取り外す

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、連絡先や音楽、静止画、動画などのデータを本製品と同期したり、本製品のソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。ダウンロードや使いかたの詳細については、Samsungのホームページをご参照ください。

1 パソコンでSamsung Kiesを起動する

2 microUSB接続ケーブル（試供品）で本製品とパソコンを接続

近くのデバイス

同じWi-Fi®ネットワークに接続しているほかのメディアファイル共有機能対応機器と、ファイルを共有することができます。

近くのデバイスと本製品内のファイルを共有する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[近くのデバイス]

2 をタップしてにする

ステータスバーにが表示されます。

- 他の機器からのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、手順4に進んでください。

3 アクセスする機器から本製品への接続操作を行う

アクセスを許可するかどうかの確認画面が本製品上に表示されます。

4 [OK]

アクセスした機器と接続されます。

- 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。
- アクセスを許可または拒否した機器は、許可デバイス／拒否デバイスに登録されます(▶P.191)。

5 アクセスした機器から再生の操作を行う

「近くのデバイス」のメニューを利用する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[近くのデバイス]

2

共有コンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
許可デバイス	本製品にアクセス可能な機器を表示します。
拒否デバイス	本製品にアクセス不可の機器リストを表示します。
ダウンロード先	他の機器から本製品に転送されたメディアファイルの保存先を設定します。
他の端末からダウンロード	メディアファイルを転送されたときの本製品の動作を設定します。

◎許可デバイス／拒否デバイスに追加されているデバイスを削除するには、削除するデバイスにチェックを入れる→「削除」をタップします。

データ通信

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®デバイスと通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®デバイスのペアリング（登録）を行ってください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近付いていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との電波干渉について

本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetooth®デバイスと無線LAN（Wi-Fi®）対応機器は、20m以上離してください。
2. 20m以内で使用する場合は、Bluetooth®デバイスまたは無線LAN（Wi-Fi®）対応機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［Bluetooth］

2 ［O］をタップして［I］にする

ステータスバーに（接続待機中のアイコン）が表示されます。

memo

◎Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
◎Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

他のBluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［Bluetooth］

Bluetooth設定画面が表示されます。

2 ［○］をタップして［I］にする

接続可能なBluetooth®機器の検索が自動的に開始され、検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

3 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

4 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

◎ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「スキャン」をタップして、機器を再検索します。

■パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［Bluetooth］

2 本製品のデバイス名にチェックを入れる

本製品が、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。

- 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→［⋮］→「端末の公開時間」から変更できます。

■他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®対応機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中のBluetooth®デバイス名をタップ

2 ［OK］

ペアリングしたまま接続が解除されます。

- ペアリングを解除する場合は、ペアリング済みのBluetooth®デバイス名の［⚙］→［ペアリングを解除］と操作します。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにし、相手のBluetooth®機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 ファイル転送画面が表示されたら→[承認]

ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルで受信状態を確認できます。

無線LAN（Wi-Fi®）機能

Wi-Fi®機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機（Wi-Fi®ネットワーク）をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LAN（Wi-Fi®）機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Wi-Fi]

2 をタップして にする

Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
また、Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。

◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、お使いの本製品の位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※1を入力し、「接続」をタップします。
  ※1 パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。

◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

WPSのプッシュボタン方式でWi-Fi®ネットワークに接続する

Wi-Fi設定画面に「(WPS利用可能)」と表示されているWi-Fi®ネットワークのアクセスポイントには、WPS(Wi-Fi Protected Setup)を利用して接続できます。

1 Wi-Fi設定画面で[⋮]→[WPSプッシュボタン]

2 アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す

3 本製品で[OK]

memo

◎ Wi-Fi®ネットワークのアクセスポイントがWPSのPINコード方式に対応している場合は、Wi-Fi設定画面で[⋮]→[WPS PINエントリ]をタップし、アクセスポイント側で本製品の画面に表示されたPINコードを入力→本製品で[OK]をタップすると接続できます。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [接続]

◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

静的IPを使用して接続する

静的IPアドレスを使用してWi-Fi®ネットワークに接続するように設定できます。

1 **Wi-Fi設定画面→接続するWi-Fi®ネットワークをタップ→「拡張オプションを表示」にチェックを入れる→下に表示される「IP設定」の項目をタップ→[静的]**

設定項目が下に表示されます。

2 **項目を選択→必要な情報を入力**

静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の入力が必要です。

3 [接続]

Wi-Fi®機能を切断する

1 **Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択**

2 [切断]

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを切断]と操作しても、接続を切断できます。

◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®の詳細設定を行う

オープンネットワーク通知を設定する

オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。

1 **Wi-Fi設定画面で[⋮]→[詳細設定]→「ネットワーク通知」にチェックを入れる**

オープンネットワーク通知が設定されます。

Wi-Fi®ネットワークの並び順を設定する

1 **Wi-Fi設定画面で[⋮]→[詳細設定]→[並べ替え]**

2 **並べ替え方法を選択**

- 「アルファベット順」を選択するとネットワークSSIDの名前順、「電波強度」を選択すると電波強度順に表示が切り替わります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 **Wi-Fi設定画面で[⋮]→[詳細設定]→[スリープ中でもWi-Fi接続を維持]**

2 **スリープ設定を選択**

スキャンの常時許可を設定する

Wi-Fi®機能がオフのときでも、アプリケーションがWi-Fi®機能を利用して位置情報を取得するのを許可するかどうかを設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で[⋮]→[詳細設定]→「スキャンを常に許可」にチェックを入れる

memo

◎ 本機能をオンにしても、Wi-Fi®機能を利用したデータ通信は行われません。

スマートネットワーク切り替えを設定する

接続したWi-Fi®ネットワークが安定したインターネット接続を維持できないとき、自動的にモバイルネットワークに切り替えるように設定します。

1 Wi-Fi設定画面→「スマートネットワーク切り替え」にチェックを入れる→[OK]

Wi-Fiタイマーを設定する

Wi-Fi®ネットワークへの自動接続／切断する時間を設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[詳細設定]→[Wi-Fiタイマー]

2 「開始時間を設定」／「終了時間を設定」にチェックを入れる

- 自動接続を設定する場合は「開始時間を設定」に、自動切断を設定する場合は「終了時間を設定」にチェックを入れます。

3 時刻を設定→[完了]

- Wi-Fiタイマーをオフにする場合は「開始時間を設定」／「終了時間を設定」のチェックを外す→[完了]と操作します。

Wi-Fi®証明書をインストールする

Wi-Fi®証明書をmicroSDメモリカードからインストールできます。

1 Wi-Fi設定画面で[⋮]→[詳細設定]→[証明書をインストール]

以降の操作については、ネットワーク管理者の情報に従って設定してください。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士をピア･ツー･ピア（P2P）型により相互接続し、データのやりとりができます。

1 Wi-Fi設定画面で[⋮]→[Wi-Fi Direct]

2 検索されたデバイス名を選択

スキャン停止中は、「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。

- 複数接続が可能なWi-Fi Direct対応デバイスを検索する場合は、[⋮]→「複数接続」→表示されたデバイス名から接続したいデバイス名にチェックを入れる→「完了」と操作します。

3 接続を完了するときは[接続終了]→[OK]

テザリング機能

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、パケット通信を通じて無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

memo

◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をインターネットアクセスポイントとして利用できるようになります。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［テザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング］→ をタップして にする

memo

◎Wi-Fiテザリング機能は電池を多く消費するため、充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fiテザリングを設定する

無線LAN（Wi-Fi®）対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［テザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング］→［ ］→［設定］

3 ネットワークSSIDを入力

パソコンなど無線LAN（Wi-Fi®）対応機器に表示されるアクセスポイント名（SSID）を入力します。

4 セキュリティを選択

必要に応じて、Wi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

5 ［保存］

memo

◎「セキュリティ」を「オープン」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

◎次の操作で、デバイスに接続していない場合にWi-Fiテザリングを自動的に無効にする時間を設定できます。［ ］→［設定］→［タイムアウト設定］

接続を許可する機器を設定する

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［テザリング］→［Wi-Fiテザリング］

2 ネットワークSSIDをタップ→［許可デバイスのみ］

3 ［ ］→［許可デバイス］→［ ］

4 接続を許可する機器の名前（デバイス名称）を入力→「MACアドレス」欄をタップ→接続を許可する機器のMACアドレスを入力→［OK］

データ通信

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSB接続ケーブル（試供品）で接続し、インターネットに接続することができます。

◎USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードについては、以下のホームページをご参照ください。
<パソコンから>http://www.samsung.com/jp/kies

1 **microUSB接続ケーブル（試供品）で本製品とパソコンを接続**

2 **ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［テザリング］**

3 **「USBテザリング」にチェックを入れる**

memo

◎Windows Vista／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1以外のOSでの動作は、保証していません。

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズ、セキュリティの設定、データの初期化などを行うことができます。

1 ホーム画面で［アプリ］→［設定］

設定メニュー画面が表示されます。

- ステータスバーを下にスライドし、通知パネルにある ⚙ をタップしても、設定メニュー画面を表示することができます。

■ カテゴリーの項目一覧

項目	概要
クイック設定	よく使う設定にクイックアクセスできます。
ネットワーク接続	▶P.204
接続と共有	▶P.208
サウンドと画面表示	▶P.208
個人設定	▶P.213
モーション	▶P.216
ユーザーとバックアップ	▶P.217
システム	▶P.218
アプリケーション	▶P.223

memo

◎カテゴリ項目名の ∧ ／ ∨ をタップすると、設定項目の表示／非表示を切り替えることができます。

◎「クイック設定」に項目を追加するには、設定メニュー画面で［⋮］→［クイック設定を編集］→メニューアイコンにチェックを入れる→［保存］と操作します。クイック設定は12件まで設定できます。

「ネットワーク接続」の設定をする

Wi-Fi®、Bluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面で「ネットワーク接続」のカテゴリーを表示

2

Wi-Fi	▶P.197「Wi-Fi®機能をオンにする」	
ハイブリッドダウンロード	Wi-Fi®と4Gネットワークを同時に使用することで容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。 •「速度情報を非表示」にチェックを付けると、ハイブリッドダウンロードの速度情報ポップアップを表示しなくなります。	
Bluetooth	▶P.194「Bluetooth®機能をオンにする」	
テザリング	▶P.200「テザリング機能」	
機内モード	▶P.205「機内モードを設定する」	
通信制限モード	電話の着信・応答と、SMSの受信以外のすべての通信を無効に設定します。	
データ使用量	▶P.205「データ使用量を設定する」	
位置情報	モード	位置情報の検出方法を「高精度」／「省電力」／「GPSのみ」から選択します。
	Google現在地送信機能	Google位置情報設定の「現在地送信機能」と「ロケーション履歴」の「ON」／「OFF」を設定します。
	マイプレイス	位置情報が必要なサービスを利用するために、お気に入りの場所（Home、Work、Carなど）を設定します。
その他ネットワーク	標準メッセージアプリ	通常使うメッセージアプリとして、「ハングアウト」／「SMS」から選択します。

その他ネットワーク	モバイルネットワーク	モバイルデータ	▶P.206「モバイルネットワークを設定する」
		データローミング	▶P.241「データローミングを設定する」
		ローミング設定	▶P.240「海外利用に関する設定を行う」
		4Gデータ通信	4Gデータ通信を使用するかどうかを設定します。
		APN	▶P.128「パケット通信を利用する」
		CPA接続設定	CPAの接続を設定します。
	VPN	▶P.207「VPNを設定する」	
	NFC／おサイフケータイ	▶P.168「おサイフケータイ®を設定する」	

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

■機内モードをオンにする

1 設定メニュー画面→［機内モード］

2 をタップして にする

をタップすると、機内モードはオフになります。
機内モードがオンの場合でも無線LAN（Wi-Fi®）機能やBluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域では無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用しないようご注意ください。

memo

◎（1秒以上長押し）→［機内モード］→［OK］と操作してもオン／オフを切り替えることができます。

データ使用量を設定する

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）を確認できます。また、アプリケーションがバックグラウンドで行うデータ通信や自動同期を制限したり、特定のWi-Fi®ネットワークを利用できないように設定したりできます。

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→［データ使用量］

2 「モバイルデータ」にチェックを入れる

■指定したデータ使用量を超えたときに警告・制限させる

1 設定メニュー画面→［データ使用量］

2 「モバイルデータを制限」にチェックを入れる→［OK］

「使用サイクル」欄に使用量リセットのサイクルが表示されます。サイクルを変更する場合は、「使用サイクル」欄をタップ→［サイクルを変更］→サイクルを設定→［設定］と操作します。

3 グラフ上の各バーをドラッグして使用量を設定

- オレンジ色のバーは警告する使用量、赤色のバーはモバイルデータ通信を制限する使用量を設定します。
- 白色のバーをドラッグすると、指定した期間内に使用したデータ通信量を確認できます。

■ データローミングの使用を許可する

1 **設定メニュー画面→[データ使用量]**

2 **[⋮]→「データローミング」にチェックを入れる→[OK]**

■ バックグラウンドデータを制限する

1 **設定メニュー画面→[データ使用量]**

2 **[⋮]→「バックグラウンド制限」にチェックを入れる→[OK]**

■ 自動同期を制限する

1 **設定メニュー画面→[データ使用量]**

2 **[⋮]→「データを自動同期」のチェックを外す→[OK]**

■ Wi-Fi®使用状況を表示する

Wi-Fi®ネットワーク接続でのデータ使用量を表示できます。

1 **設定メニュー画面→[データ使用量]**

2 **[⋮]→「Wi-Fi使用状況」にチェックを入れる**

- 画面上部に「モバイル」/「Wi-Fi」タブが表示され、「Wi-Fi」タブをタップしてデータ使用量を確認できます。

■ 特定のWi-Fi®ネットワークの使用を制限する

1 **設定メニュー画面→[データ使用量]**

2 **[⋮]→[モバイルホットスポット]→利用を制限するWi-Fi®ネットワークにチェックを入れる**

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

■ データ通信を設定する

1 **設定メニュー画面→[その他ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→「モバイルデータ」にチェックを入れる**

memo

◎「モバイルデータ」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA1XWIN(国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む)/LTE通信でのパケット通信ができなくなります。
◎データローミングについては、「データローミングを設定する」(▶P.241)をご参照ください。
◎ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.240)/「ネットワークモードを設定する」(▶P.241)をご参照ください。

機能設定

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - ・PPTP
  - ・L2TP/IPSec PSK
  - ・L2TP/IPSec RSA
  - ・IPSec Xauth PSK
  - ・IPSec Xauth RSA
  - ・IPSec Hybrid RSA
  - ・IPSec IKEv2 PSK
  - ・IPSec IKEv2 RSA

■VPNを追加する

1 設定メニュー画面→［その他ネットワーク］→［VPN］

- 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面ロックを設定する」（▶P.212）をご参照ください。

2 ［＋］

3 VPN設定の各項目を設定→［保存］

VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

◎追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→［ネットワークを編集］→必要に応じてVPNの設定を変更→［保存］と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→［ネットワークを削除］と操作します。

■VPNに接続する

1 設定メニュー画面→［その他ネットワーク］→［VPN］

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→［接続］

VPNに接続すると、ステータスバーにが表示されます。

■VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ→［切断］

「接続と共有」の設定をする

Screen Mirroring対応機器など、他の機器との接続に関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面で「接続と共有」のカテゴリーを表示**

2

近くのデバイス	▶P.191「近くのデバイス」
印刷	対応する印刷サービスを設定します。
Screen Mirroring	対応機器※1と本製品の画面を共有します。 • HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)機能をサポートしない対応機器とは接続できない場合があります。 • ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。 • 特定の周波数帯のWi-Fi®ネットワークを使用する場合、対応機器を検索できない場合があります。

※1 Screen Mirroring機能に対応するのは、Miracast認証を受けた機器になります。

「サウンドと画面表示」の設定をする

サウンドやディスプレイ、ロック画面、マルチウィンドウなど、本製品のサウンドと画面表示に関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面で「サウンドと画面表示」のカテゴリーを表示**

2

サウンド	サウンドモード	マナーモードの設定を「サウンド」/「バイブ」/「サイレント」から切り替えます。
	音量	▶P.211「各種音量を調節する」
	バイブの強度設定	▶P.211「バイブレーションの強度を設定する」
	着信音	電話の着信音を設定します。
	バイブ	バイブレーションのパターンを設定します。 • 「作成」をタップして、[作成]→円の中をタップしてバイブのパターンを作成→[停止]→[保存]と操作し、バイブパターン名を入力→[OK]で新しいパターンの登録もできます。
	通知音	メール着信などの通知音を設定します。
	着信時にバイブ	電話の着信、SMSやEメール(@ezweb.ne.jp)の受信時に、着信音/通知音に加えてバイブレーション動作もするかどうかを設定します。 • マナーモード(バイブまたはサイレント)に設定している場合は、本機能は設定できません。

サウンド	ダイヤルキーパッド操作音		ダイヤルキーパッドを操作したときの音を鳴らすかどうかを設定します。
	タッチ操作音		や、メニュー項目をタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	画面ロック音		画面ロック／解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	タッチ操作バイブ		特定の操作をしたときの振動を有効にするかどうかを設定します。
	緊急時の通知音		「OFF」／「通知」／「バイブ」から選択します。
	通話		各アプリのサウンド関連機能の設定をします。
	Eメール		
	Sプランナー		
	音楽効果		「SoundAlive」／「MusicFX」から設定します。
ディスプレイ	明るさ		画面の明るさを設定します。「明るさの自動調整」にチェックを入れると、照度センサーで周囲の明るさを検知して画面の明るさを自動調整します。
	フォント	フォントスタイル	画面に表示される文字フォントを設定します。 • 起動中のアプリケーションが終了する場合があります。
		文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	画面回転		画面の縦横自動回転を設定します。 • 「スマートローテーション」を有効にすると、顔の向きに合わせて画面が回転します。

ディスプレイ	スマートステイ		内側カメラで本製品の画面を見ていることを検出すると、画面のタイムアウトが無効になるように設定します。
	画面のタイムアウト		画面のバックライトが自動消灯するまでの時間を設定します。
	画面モード		画面のコントラストを設定します。
	画面トーンの自動調整		表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、バッテリーの消耗を抑えます。
	スクリーンセーバー		▶P.211「スクリーンセーバーを設定する」
	LEDインジケーター	充電中	本製品を充電しているときに通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
		バッテリー残量不足	電池残量が少なくなったときに通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
		通知	不在着信や未確認のメッセージ、アプリケーションイベントがあるとき、通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
		録音	録音中に通知LEDを点灯させるかどうかを設定します。
	タッチキーライト消灯時間		タッチキーのライトが消えるまでの時間を設定します。

ディスプレイ	高感度タッチ操作	手袋をはめた状態でタッチ操作ができるように、タッチ操作の感度を高めるかどうかを設定します。 • 革の手袋を利用すると、感度を高めることができます。他の素材の手袋では、タッチ操作が正しく動作しない場合があります。 • 本機能を有効にして初めてタッチ操作をする場合は、最初の操作でディスプレイを長めにタップすると、以降の操作の認識率を高めることができます。 • 本機能を有効にし、手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチ操作が正しく動作しない場合があります。
壁紙		▶P.212「壁紙の設定をする」
ロック画面※1	画面ロック	▶P.212「画面ロックを設定する」
	デュアル時計	ローミング時にデュアル時計を表示するかどうかを設定します。
	時計のサイズ	時計のサイズを設定します。
	パターンの種類	「パターン」表示の種類を選択できます。
	日付を表示	日付を表示するかどうかを設定します。
	カメラのショートカット	ロック画面にカメラアプリのショートカットを表示します。
	オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を編集できます。

ロック画面	ロック解除エフェクト	ロック解除時のエフェクトを設定します。
	追加情報	天気予報と歩数を表示します。歩数はS Healthの歩数計を有効にしているときに表示されます。
	パターンを表示	画面ロック解除時にパターンの軌跡を表示させるかどうかを設定します。
	バイブフィードバック	正しくないロック解除パターンが入力されると端末が振動します。
	自動的にロック	画面のバックライトが消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
	電源キーですぐにロック	▯を押して画面ロックするかどうかを設定します。
	ヘルプ	ロック画面にヘルプテキストを表示するように設定します。
マルチウィンドウ		画面を2つに分けて別々のアプリケーションを表示できるようにするかどうかを設定します。「マルチウィンドウ表示で開く」にチェックを入れると、特定のアプリでファイルを開いたときに、自動的にマルチウィンドウ表示でコンテンツを表示します。
通知パネル	明るさ調整	通知パネルで画面の明るさを調整できるようにするかどうかを設定します。
	おすすめアプリ	イヤホンを接続するような特定の操作を行うと、関連するおすすめアプリを通知パネルに表示します。

通知パネル	クイック設定ボタンを設定	通知パネルに表示されるクイック設定ボタンを並べ替えます。
ツールボックス		▶P.57「ツールボックスを利用する」
片手操作		▶P.213「片手操作を設定する」

※1 設定により表示される項目は異なります。

マナーモードを設定する

マナーモード（バイブまたはサイレント）を設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 **（1秒以上長押し）**

2 **[サイレント]／[バイブ]**

memo

◎ 音量キーの下側を押すと、着信音量が1段階下がります。着信音量を下げることで、バイブにすることもできます。
◎ マナーモード（サイレント／バイブ）に設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽の再生などは消音されません。

各種音量を調節する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→[音量]**

次の項目の音量を調節します。
- 着信音
- 音楽、動画、ゲーム、およびその他のメディア
- 通知
- システム

2 **スライダを左右にドラッグして音量を調節**

音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 **[OK]**

memo

◎ マナーモード設定中に着信音の音量を調節すると、マナーモードは解除されます。

バイブレーションの強度を設定する

1 **設定メニュー画面→[サウンド]→[バイブの強度設定]**

次の項目のバイブレーションの強度を調節します。
- 音声着信
- 通知
- タッチ操作バイブ

2 **スライダを左右にドラッグして強度を調節**

- バイブレーションを弱くするにはスライダを左にドラッグ、強くするにはスライダを右にドラッグします。

3 **[OK]**

スクリーンセーバーを設定する

充電中に表示するスクリーンセーバーのON／OFF、種類、有効にするタイミングを設定します。

1 **設定メニュー画面→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]**

2 **をタップして にする**

「起動のタイミング」についての確認画面が表示されたら「OK」をタップします。

3 **[Flipboard]／[Googleフォト]／[フォトテーブル]／[フォトフレーム]／[色]**

- 「Flipboard」を選択した場合は、[⚙]→[新しいアイテムを自動でダウンロード]→[WiFi接続時のみ]／[常にダウンロード]／[ダウンロードしない]→[↩]と操作します。
- [Googleフォト]、「フォトテーブル」または「フォトフレーム」を選択した場合は、[⚙]→表示する画像が含まれるフォルダにチェックを入れる→[↩]と操作します。
- 「プレビュー」をタップすると、スクリーンセーバーをプレビュー表示できます。

memo

◎スクリーンセーバーとデスクホーム画面の両方を有効にすることはできません。スクリーンセーバーを有効にするとデスクホーム画面が無効になります。

壁紙の設定をする

1 設定メニュー画面→[壁紙]

2

ホーム画面	ホーム画面の壁紙を設定します。
ロック画面	ロック画面の壁紙を設定します。
ホーム画面とロック画面	ホーム画面とロック画面の壁紙を設定します。

画面ロックを設定する

1 設定メニュー画面→[ロック画面]→[画面ロック]

2

スワイプ	画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除します。
パターン	ロック解除パターンを入力します。
指紋	▶P.64「指紋認証機能を利用する」
PIN	PINを入力します。
パスワード	アルファベットを含む4文字以上の文字を入力します。
なし	ロック画面を表示しないように設定します。

3 必要に応じてその他の項目を設定

- その他の項目については、「「サウンドと画面表示」の設定をする」(▶P.208)の「ロック画面」をご参照ください。

■画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を「なし」以外に設定している場合、▯を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、画面ロックがかかります。

■画面ロックを解除する

1 ▯／⬭を押して、バックライトを点灯

2 ロック画面で現在のロック解除方法を実行する

ロック解除を5回続けて失敗した場合は、画面に従って再試行してください。

memo

◎「画面ロック」で「スワイプ」、「なし」以外の解除方法を設定している場合は、ロック画面に「緊急通報」が表示され、緊急通報ができます。

◎解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗※1すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。

※1 解除パターンを3箇所以下、PIN／パスワードを3桁以下で入力した失敗はカウントされません。

解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。なお、Googleアカウントを設定している場合は「パターンを忘れた場合」が表示され、タップしてGoogleアカウントにサインインすると画面ロックを解除できます。PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobile(端末リモート追跡)のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobile(端末リモート追跡)のホームページをご参照ください(▶P.42)。

片手操作を設定する

本製品を片手で操作しやすくするため、画面表示を左側／右側に寄せるように設定できます。

1 **設定メニュー画面→[片手操作]→ をタップして にする**

2 **本製品を片手で持ち、親指で画面の端と中央をスライド**

- 指をすばやく中央にスライドさせたり、戻したりすると片手操作用画面になります。

memo

◎画面のバックライトが消灯した場合、5秒以上経過すると全画面表示に戻ります。

「個人設定」の設定をする

ユーザー補助や指紋認証など、本製品の個人設定に関する各種設定を行います。

1 **設定メニュー画面で「個人設定」のカテゴリーを表示**

2

項目			説明
かんたんモード			ホーム画面を「かんたんモード」に切り替えるかどうかを設定します。
ユーザー補助※1			
	視覚		
		TalkBack	▶P.215「ユーザー補助を利用する」
		画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。
		高速キー入力	ダブルタップする代わりに指を離すと選択した文字を入力します。
		パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
		文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
		拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。
		通知リマインダー	確認していない通知があるとき、設定した間隔で通知音を鳴らして知らせるかどうかを設定します。
		ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
		色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
		ユーザー補助ショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるように設定できます。 • を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けると、ユーザー補助機能を利用できるようになります。

ユーザー補助[※1]		
視覚		
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
聴覚		
	フラッシュ通知	通知情報があるときにライトを点滅してお知らせするかどうかを設定します。
	全ての音をOFF	受話音声を含む、すべての音をオフに設定します。
	Samsung字幕(CC)	字幕の表示方法を設定･確認します。
	Google字幕(CC)	
	サウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレイヤーで音楽を聴くときの左右の音量バランスを設定します。
	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
	赤ちゃんの泣き声検出	赤ちゃんの泣き声を検出すると、振動で通知するように設定します。
	自動反応バイブ	音楽やビデオなどの音に合わせて振動するように設定します。
操作と制御		
	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示させるかどうかを設定します。また、アシスタントメニューの表示位置の設定や、アシスタントメニューに表示される操作の編集ができます。
	エアウェイクアップ	上向きに置いた本製品の上に手をかざすだけで画面をONにできるように設定します。

ユーザー補助[※1]		
操作と制御		
	スマートスクロール	顔を検出して、首または本製品を傾けることで画面を自動的にスクロールさせるかどうかを設定します。 • 「スマートスクロール」を有効にすると、スクロール手段やスクロール速度、ビジュアルフィードバック表示(目の検出中／検出完了時に画面中央に目のアイコンを表示)を設定できます。 • 暗い場所やライトの直下になる場所で使用する場合、または本製品を動かしたり揺らしたりしている場合は、本機能が正しく動作しない場合があります。
	長押しの調整	ロングタッチの時間を設定します。
	入力操作制御	モーションや画面タイムアウトを有効／無効にしたり、タッチ操作ができる範囲を設定します。 • 本機能を有効にするには、音量キーの下側と を同時に1秒以上押し、画面の指示に従ってください。 • 「マルチウィンドウ」が有効の場合は、本機能を有効にできません。 • 本機能を有効にすると、「画面回転」が自動的に無効になります。
ダイレクトアクセス		を続けて3回押してユーザー補助機能を設定できるようにします。
通話応答／終了		を押して電話に出たり、を押して通話を終了したりする操作を設定します。
シングルタップモード		1回のタップでアラームの停止／スヌーズ、カレンダーイベントやタイマー通知の停止、着信の応答／拒否などをするかどうかを設定します。

ユーザー補助※1		
	ユーザー補助を管理	インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth®機能やメールなどで送信します。
ブロックモード		▶P.215「ブロックモードを設定する」
プライベートモード		パーソナルコンテンツを非表示にしてセキュリティ保護することができます。
指紋スキャナー		▶P.64「指紋認証機能を利用する」

※1 設定により表示される項目は異なります。

ユーザー補助を利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助を有効にします。ユーザー補助プラグインは、Google Playからインストールして追加することもできます。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2 [視覚]→[TalkBack]→ をタップして にする→[OK]

レッスン画面が表示されます。画面の指示に従って操作方法を確認するか、をタップしてレッスンを終了してください。

- TalkBackと同時に有効にできない機能の説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

3 [設定]→各項目を設定

TalkBackのタッチガイド機能について

◎ 初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能などを有効にすることの確認メッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりすることができる機能です。

◎ タッチガイド機能をオンにした場合、本製品の操作の一部が通常の操作と異なります。
- 項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップします。
- スライドする場合は、2本の指で操作します。

◎ タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、「タッチガイド」のチェックを外します。

ブロックモードを設定する

電話の着信、通知、アラーム／タイマーの動作、LEDインジケーターの点灯／点滅を無効に設定できます。

1 設定メニュー画面→[ブロックモード]

2 「ブロックモード」の ◯ をタップして | にする

3

着信をブロック	電話の着信がブロックされ、着信した場合は不在着信となります。 • 「着信許可連絡先」で設定した相手からは着信します。
通知を無効化	SMSやGmail、PCメールの受信時などに通知音やバイブレーションで通知されなくなります。
アラームとタイマーを無効化	アラーム／タイマーの設定時刻にアラーム音やバイブレーションで通知されなくなります。
常にON	チェックを入れた場合は、設定解除までブロックモードが有効になります。
開始※1	ブロックモードを設定する開始時刻を設定します。
終了※1	ブロックモードの終了時刻を設定します。
着信許可連絡先	ブロックモード有効時に着信、通知を許可する対象を連絡先から選択します。「カスタム」を選択すると、連絡先を「着信許可連絡先リスト」に登録できます。
着信許可連絡先リスト※2	登録されている連絡先の一覧が表示され、「追加」をタップすると連絡先を追加できます。 • リストから連絡先を削除する場合は、[⋮]→「削除」→削除する連絡先を選択→🗑と操作します。

※1「常にON」が無効の場合に設定できます。
※2「着信許可連絡先」を「カスタム」に設定した場合に選択できます。

「モーション」の設定をする

ダイレクトコールやスマートアラート、Sプレビューや画面キャプチャなど、モーションコントロールに関する各種設定を行います。

1 設定メニュー画面で「モーション」のカテゴリーを表示

2

モーションとジェスチャー	ブラウズ	▶P.47「モーション／ジェスチャーの使いかた」
	ダイレクトコール	
	スマートアラート	
	消音／一時停止	
	手のひらでキャプチャ	
Sプレビュー		▶P.49「Sプレビューの使いかた」

機能設定

「ユーザーとバックアップ」の設定をする

オンラインサービスやクラウドなどのアカウント追加／削除や、バックアップとリセットの各種設定を行います。

1 設定メニュー画面で「ユーザーとバックアップ」のカテゴリーを表示

2

アカウント		▶P.217「アカウントを登録する」 ▶P.217「アカウントを削除する」
クラウド		クラウドサービスのアカウント設定や同期設定などができます。
バックアップとリセット	データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fi® パスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリケーションを再インストールすると、バックアップした設定およびデータを復元します。
	工場出荷状態に初期化	▶P.218「本製品を初期化する」

アカウントを登録する

1 設定メニュー画面→[アカウント]→[アカウント追加]

2 追加したいアカウントの種類をタップ→画面の指示に従って操作

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウント]→削除するアカウントをタップ

2 「アカウント」の下に表示される登録アカウント名をタップ

3 [⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

- パスワードの確認画面が表示されたら画面の指示に従って入力します。

memo

◎アカウントがオンラインサービスなどとの同期を設定できる場合は、設定メニュー画面→[アカウント]→アカウントをタップして、「アカウント」の下に表示される登録アカウント名をタップ→同期する項目にチェックを入れ、同期させない項目からチェックを外して設定します。
◎アカウントの種類によって、設定項目は異なります。
◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは、削除できない場合があります。削除するには初期化（▶P.218）が必要になります。

本製品を初期化する

本製品をお買い上げ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。必ず本製品の重要なデータをバックアップしてから、リセットしてください。

1 設定メニュー画面→[バックアップとリセット]→[工場出荷状態に初期化]→[端末リセット]

- 画面ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。

2 [全て削除]

本製品は自動的に再起動します。
本製品の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、本製品が故障するおそれがあります。

- 「再有効化ロック」(▶P.220)を有効にしている場合は、Samsungアカウントのパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してから「全て削除」をタップしてください。

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎本製品を初期化しても、プリセットされているアプリケーションは削除されません。

「システム」の設定をする

言語と文字入力の設定、電池残量や使用量の確認、microSDメモリカードや本体内のメモリ容量の確認などを行います。

1 設定メニュー画面で「システム」のカテゴリーを表示

2

言語と文字入力	言語	言語の表示を切り替えます。
	標準	デフォルトのキーボードを設定します。
	Samsung日本語キーパッド	▶P.70「Samsung日本語キーパッドの設定を行う」
	Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。 • チェックを外すと、入力方法の選択画面で「Google音声入力」が表示されなくなります。
	音声検索	音声検索時に使用する言語や音声検索に必要な項目を設定します。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	通知の読み上げ	着信、メッセージ、Eメールの新着通知や、発信者または送信者の情報を読み上げます。
	ポインター速度	マウス/トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付･時刻情報を使って、自動的に補正します。
	日付設定	▶P.221「日付／時刻を手動で設定する」
	時刻設定	
	自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に設定します。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを選択します。
	24時間形式を使用	チェックを入れると24時間表示、チェックを外すと12時間表示となります。
	日付の表示形式を選択	日付の表示形式を選択します。
安全サポート		▶P.221「安全サポートを設定する」
アクセサリ	デスクホーム画面	卓上ホルダ(SCL23PUA)に設置したときにデスクホーム画面を表示するかを設定します。
	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
バッテリー		電池残量や使用量を表示します。
省電力		▶P.222「省電力の設定をする」
ストレージ	合計容量	システムメモリ(本体)のデータ容量を表示します。
	システムメモリ	システムを実行するのに必要な最小ストレージ容量を表示します。
	使用中の容量	アプリケーションや画像、動画などの使用中のデータ容量を表示します。
	キャッシュデータ	キャッシュデータのデータ容量を表示します。 • タップして「OK」をタップすると、キャッシュデータを消去できます。
	その他	その他のファイルのデータ容量、内容を表示します。
	空き容量	システムメモリ(本体)の空き容量を表示します。
	合計容量	microSDメモリカードのデータ容量を表示します。
	空き容量	microSDメモリカードの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除／外部SDカードのマウント※1	microSDメモリカードの認識を解除して安全な取り外しを行う／microSDメモリカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化	▶P.187「microSDメモリカードをフォーマットする」
セキュリティ	端末を暗号化	アカウントや設定、アプリケーションなどのデータやファイルを暗号化します。端末を暗号化すると、電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。 • 暗号化を解除するには、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[セキュリティ]→[端末を復号]と操作し、画面の指示に従って操作してください。

セキュリティ	外部SDカードを暗号化	外部SDカード内のファイルを暗号化します。 • 暗号化を解除するには、ホーム画面で［アプリ］→［設定］→［セキュリティ］→［外部SDカードを暗号化］→［無効］→パスワードを入力→［続行］→［適用］と操作してください。
	リモートコントロール	本製品のデータ削除や追跡ができます。 • リモートコントロールを行うには、Samsungアカウント（▶P.42）の設定が必要です。 • リモートコントロールはFind My Mobile（端末リモート追跡）から操作できます。 詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください（▶P.42）。
	SIM変更アラート	▶P.222「SIM変更アラートを設定する」
	Webサイトに移動	Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを表示します。
	再有効化ロック	「工場出荷状態に初期化」（▶P.218）を実行する際に、Samsungアカウントのパスワードを入力するようにするかどうかを設定します。
	SIMカードロックを設定	▶P.222「SIMカードロックを設定する」
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	デバイス管理機能	デバイス管理機能を表示または無効にします。
	提供元不明のアプリ	▶P.157「提供元不明のアプリケーションのダウンロード」
	アプリを確認	有害と思われるアプリケーションをインストールする前に、インストールを許可しない、または警告を表示するように設定します。
	セキュリティポリシー更新	セキュリティポリシーを更新して端末のセキュリティを向上します。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi®経由でSamsungにセキュリティレポートを送信します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	ストレージからインストール	暗号化された証明書をシステムメモリ（本体）またはmicroSDメモリカードからインストールします。
	証明書を消去	すべての証明書データとパスワードを消去します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。
端末情報	ソフトウェア更新	▶P.251「ソフトウェアをダウンロードして更新する」
	ステータス	自分の電話番号や電池残量などを確認できます。
	法定情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約、Samsung規約を確認できます。
	診断情報を報告	お客様のデバイスから診断および使用状況データをSamsungに送信することを許可するか選択します。
	デバイス名称	本製品の名称を確認／変更します。
	認証情報	技術基準適合証明に関する情報や無線LAN（Wi-Fi®）機能の認証情報を確認できます。
	モデル番号	型番を表示します。

端末情報	Androidバージョン	バージョンや各番号を確認できます。
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	
	SE Androidのステータス	SE(Security Enhanced)Androidのステータスを確認できます。
	セキュリティソフトウェアバージョン	セキュリティソフトウェアのバージョンを確認できます。

※1 microSDメモリカードの認識状態によって表示が変わります。

◎「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックが入っていると、ネットワークから日付や時刻、タイムゾーンが自動で設定されます(お買い上げ時)。

◎「日付と時刻」の「自動日時設定」は、海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー画面→[日付と時刻]→「自動タイムゾーン」のチェックを外す→[タイムゾーンを選択]→設定する項目をタップして、タイムゾーンを設定することができます。

日付／時刻を手動で設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2 「自動日時設定」のチェックを外す

3 [日付設定]／[時刻設定]→日付／時刻を設定→[設定]

安全サポートを設定する

緊急の事態が発生したときに、を続けて3回押すことで緊急ブザーを鳴らしたり、登録した相手に緊急メッセージ(SMS)を送信したりします。

1 設定メニュー画面→[安全サポート]

確認画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って主要連絡先を登録してください。

2

緊急時長持ちモード	電池の消費を抑えるため、ホーム画面が白黒階調に変更され、メッセージ、連絡先、緊急通報以外のアプリや機能は制限されます。
防災生活インフォ	異常気象などの通知を受信します。
緊急メッセージを送信	緊急メッセージを送信できるようにするかどうかを設定をします。
緊急ブザー	緊急ブザーを鳴らすかどうかを設定します。また、緊急ブザーの音を設定します。
主要連絡先を管理	緊急メッセージを送信する相手を設定します。 • 最大で4件の主要連絡先を登録できます。

◎緊急事態を知らせると、ステータスバーにが表示されます。緊急事態を解除するには、通知パネルで「緊急事態を通知」→「閉じる」をタップします。

省電力の設定をする

1 設定メニュー画面→[省電力]

2

省電力モード	バックグラウンドデータをブロック	操作中の機能以外によるバックグラウンドのデータ通信を停止して、電池の消費を抑えます。
	パフォーマンスの制限	電池の消費を抑えるために、バイブをOFFにしたり、受信通知の画面点灯時間を短くしたりするほか、CPUや機能の動作などを設定できます。
	グレーススケールモード	画面表示をグレースケール(白黒階調)に変更して、電池の消費を抑えます。
ウルトラ省電力モード		画面表示をグレースケール(白黒階調)に変更し、使用可能なアプリの数の制限やWi-Fi®、Bluetooth®などの接続の停止により電池の消費を抑えます。

SIM変更アラートを設定する

本製品のau Micro IC Card (LTE)が差し替えられたとき、本製品固有の情報を指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIM変更アラート]

2 Samsungアカウントを設定

- 画面の指示に従って設定してください。既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- Samsungアカウントを設定済みでパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し、「確認」をタップしてください。

3 をタップして にする

4 [アラートメッセージ]→SMSのメッセージを入力→[OK]

5 [作成]→送信先(電話番号)を入力→[OK]

- 先頭に「+」を入力→送信先の国番号(日本は「81」)を入力→先頭の「0」を除いた電話番号を入力と操作します。
- 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先から送信先を選択できます。

6 [保存]

SIMカードロックを設定する

au Micro IC Card (LTE)にPIN(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.23)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロックを設定]→[SIMカードをロック]

2 au Micro IC Card (LTE)のPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

au Micro IC Card (LTE)のPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロックを設定]→[SIM PINを変更]

2 PINコードを入力→[OK]

3 **新しいPINコードを入力→[OK]**

4 **もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

「アプリケーション」の設定をする

本製品にインストールしたアプリケーションの確認や設定などを行います。

1 **設定メニュー画面→[アプリケーション]のカテゴリーを表示**

2

アプリケーション管理	▶P.157「アプリケーションを管理する」
標準アプリケーション	通常使うホームアプリとメッセージアプリを設定します。
通話	▶P.77「通話関連機能の設定をする」
連絡先	▶P.137「連絡先のメニューを利用する」
Eメール	▶P.104「Eメールを設定する」
ギャラリー	▶P.145「ギャラリーのメニューを利用する」
ブラウザ	▶P.132「ブラウザを設定する」
Sプランナー	▶P.163「Sプランナーのメニューを利用する」
Sボイス	▶P.165「Sボイス」

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.114
	着信お知らせサービス	P.226
	着信転送サービス	P.226
	割込通話サービス	P.229
	発信番号表示サービス	P.230
	番号通知リクエストサービス	P.230
有料オプションサービス※1	お留守番サービスEX	P.231
	三者通話サービス	P.236
	迷惑電話撃退サービス	P.237
	通話明細分計サービス	P.238

※1 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要です。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.205)を有効にしているときなどに、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.232)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の3つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.231)を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.230)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②無応答転送
◎無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。
◎転送先を設定する場合は、音声ガイダンスに従って入力した転送先電話番号を確認してください。転送先電話番号が正しく設定されていないと、着信転送サービスが利用できない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[圏外･電源OFF時に転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って操作しても転送できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][2]→[ ]と操作して設定できます。
◎着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎GSM/UMTS国際ローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[通話中の着信を転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って操作しても転送できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][3]→[ ]と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.229）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→[ ]

ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[常に転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面で[電話]→[1][4][2][1][4]→[ ]と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様の端末は呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

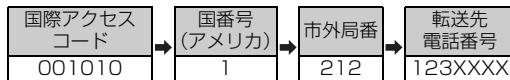
1 ホーム画面で[電話]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[📞]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

[1][4][2][2]:無応答転送　[1][4][2][4]:フル転送

[1][4][2][3]:話中転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

memo

◎au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][2][0]→[📞]

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[着信転送サービス]→[サービス停止]→[はい]と操作しても停止できます。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の端末以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用になれます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][1]→[ ]

ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[割込通話サービス]→[サービス開始]→[はい]と操作しても開始できます。

memo

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.230）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.237）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][0]→[ ]

ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[割込通話サービス]→[サービス停止]→[はい]と操作しても停止できます。

memo

◎ 4G（LTE）パケット通信中や、3Gパケット通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

ディスプレイには、着信画面が表示されます。

2 「 」を表示される円の外までドラッグ／スライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「交換」をタップするたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。
◎ 割込通話を着信してから約20秒経過すると、着信画面から通話中画面に戻り、着信中の電話は不在着信となります（電話を受けることができません）。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][5][2]+相手先電話番号を入力→[ ]

memo

◎発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(本製品の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知」 (ID Unsent※1/ Not Support)	相手の方が次の電話からかけてきた場合に表示されます。 • 発信者番号を通知しない設定の電話 • 公衆電話 • 国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話

※1 相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけてきた場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.231)、着信転送サービス(▶P.226)、割込通話サービス(▶P.229)、三者通話サービス(▶P.236)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.237)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎サービスの開始･停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面で[電話]→[1][4][8][1]→[ ]→[通話を終了]**

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。

◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面で[電話]→[1][4][8][0]→[ ]→[通話を終了]**

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード（▶P.205）を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.226）は同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.230）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスEXでお預かりする伝言･ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言･ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言･ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.233）の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言･ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言･ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言･ボイスメールがないときなど、伝言･ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。

伝言·ボイスメールの録音	伝言·ボイスメールを残す場合、伝言·ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言·ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音/確認/変更)、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1]→[ ]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][1]→[ ]

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービス開始1]→[はい]と操作しても開始できます。

■通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][3]→[ ]

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービス開始2]→[はい]と操作しても開始できます。

■お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、本製品の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「サービス開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎日本で「サービス開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
◎お留守番サービスの応答時間は変更できません。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][0]→[ ]

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[サービス停止]→[はい]と操作しても停止できます。

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言·ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言·ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します（▶P.234「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する
[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする
[9]：録音した伝言を消去して、取り消す
[＊]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[📞]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMSに保存されます。

memo

◎同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎伝言･ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面で[電話]→「1」をロングタッチ

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[伝言再生]→[はい]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

[1]：同じ伝言をもう一度聞く
[4]：5秒間巻き戻して聞き直す
[5]：伝言を一時停止(20秒間)※1
[6]：5秒間早送りして聞く
[9]：伝言を消去
[0]：伝言再生中の操作方法を聞く
[#]：次の伝言を聞く
[＊]：前の伝言を聞く

※1「通話を終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

memo

◎ホーム画面で[電話]→[1][4][1][7]→[📞]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
◎海外でご利用中の場合は 📞 をタップしても発信できません。
◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.233)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][4]→[📞]

ホーム画面で[電話]→[⋮]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[応答メッセージの編集]→[はい]と操作しても変更できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話を終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■設定されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[通話を終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

■ 蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話を終了]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップします。

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると録音したメッセージを取り消すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます(▶P.234「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][0]→[ ]

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][6][1][1]→[ ]

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

memo

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の端末以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411/1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][1]→[ ]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[英語を設定]→[はい]と操作し、音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][1][9][0]→[ ]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面で[電話]→[ ]→[設定]→[通話]→[au通話オプション]→[お留守番サービス]→[日本語を設定]→[はい]と操作し、音声ガイダンスに従って操作しても設定できます。

2 ガイダンスを確認→[通話を終了]

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [ ]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 [グループ通話]

3人で通話できます。
「通話を終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス（▶P.231）、着信転送サービス（▶P.226）、割込通話サービス（▶P.229）、三者通話サービス（▶P.236）、番号通知リクエストサービス（▶P.230）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面で［電話］→［1］［4］［4］［2］→［ ］

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除はできません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][4][8]→[ ]

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面で[電話]→[1][4][4][9]→[ ]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面で[電話]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[ ]

◎分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について

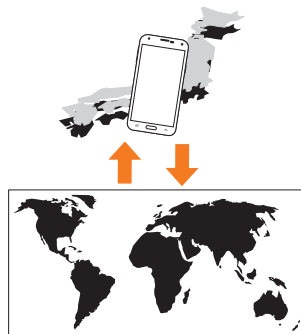
グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてご利用いただけるサービスです。

■ ご利用イメージ

1. **日本国内では、auのネットワークでご利用になれます**
2. **あらかじめ「システム設定」（▶P.241）を「海外(LTE)」または「海外(3G)」に設定し、海外で電源をオンにすると、海外事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます**
3. **パケット通信を行う場合は「データローミング」（▶P.241）を有効にします**
4. **帰国後は「システム設定」を「日本」に戻します**

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.240）、「ネットワークモードを設定する」（▶P.241）に従い、各種設定を行ってください。

新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.243)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします(▶P.222)。

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

- PRLのバージョンは、ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[端末情報]→[ステータス]と操作して、「PRLバージョン」の項目で確認してください。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[その他ネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]→[PRLバージョンの更新]

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

◎PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎エリアによっては更新できない場合があります。
◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

現在地時刻を設定する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[日付と時刻]→「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックを入れる

「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻･時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。

memo

◎初期値では「自動日時設定」と「自動タイムゾーン」にチェックが入っています。
◎海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎日付と時刻の設定については、「日付／時刻を手動で設定する」(▶P.221)をご参照ください。

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するネットワークモードを設定します。

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[その他ネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[システム設定]

3

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
海外(LTE)	海外でLTE／UMTS／GSMネットワークをご利用になる場合に設定します。
海外(3G)	海外でUMTS／GSMネットワークをご利用になる場合に設定します。

データローミングを設定する

1 ホーム画面で[アプリ]→[設定]→[その他ネットワーク]

2 [モバイルネットワーク]→「データローミング」にチェックを入れる→[OK]

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

渡航先で電話をかける

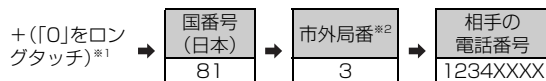
渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面で[電話]

2 ＋(「0」をロングタッチ)･国番号･地域番号(市外局番)･相手先電話番号の順に入力

3 [ ]

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

※1 発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

◎電話をかける相手が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
◎「+」のダイヤルでつながらない場合は、「+」の替わりに渡航先の国際アクセス番号を入力ください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］

2 電話番号を入力

市外局番から入力してください。

※アメリカ（ハワイ含む）の場合は、「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号を入力してください。

3 ［ ］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
◎日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

+(「0」をロングタッチ) + 81 + 3 + 6670 + 6944

受付時間:24時間

■一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

北米・中南米	アメリカ/カナダ	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
アジア	インド	000800-810-1134
	インドネシア	001-803-81-0235
	韓国	002-800-00777113
	シンガポール/タイ/香港	001-800-00777113
	台湾/中国/フィリピン/マカオ/マレーシア	00-800-00777113
	ベトナム	120-81-003
ヨーロッパ	イギリス/イタリア/オランダ/スイス/スペイン/ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
	ロシア	810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア	0011-800-00777113
	グアム	1-888-891-3297
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦	800-081-0-0102

受付時間:24時間(通話料無料)

memo

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
◎記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

受付時間:24時間(国際通話料がかかります)

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から フリーコール **0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 9:00~20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円/分。

地域	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

◎国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」（265円／分）となります。
◎国・地域によっては、をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2014年4月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額（免税）

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。

◎渡航先でのパケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00～23:59)の通信に対する金額です。月額の定額制ではありません。

国際アクセス番号&国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ／ハワイ／カナダ／グアム／サイパン	011
ニュージーランド／中国／ベトナム／メキシコ／インド／フィリピン／マレーシア／イギリス／ドイツ／フランス／イタリア／スペイン／スイス	00
韓国	001、002、00700
香港／タイ／インドネシア	001
台湾	002
ブラジル	0014、0015、0021、0023
オーストラリア	0011

■国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アメリカ合衆国(USA)	1	台湾(TWN)	886
アラブ首長国連邦(ARE)	971	中国(CHN)	86
イギリス(GBR)	44	ドイツ(DEU)	49
イタリア(ITA)	39	日本(JPN)	81
インド(IND)	91	ニュージーランド(NZL)	64
インドネシア(IDN)	62	フィリピン(PHL)	63
オーストラリア(AUS)	61	ブラジル(BRA)	55
オランダ(NLD)	31	フランス(FRA)	33
カナダ(CAN)	1	ベトナム(VIE)	84
韓国(KOR)	82	香港(HKG)	852
シンガポール(SGP)	65	マカオ(MAC)	853
スイス(CHE)	41	マレーシア(MYS)	60
スペイン(ESP)	34	メキシコ(MEX)	52
タイ(THA)	66	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、[通話アイコン]をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS送受信）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

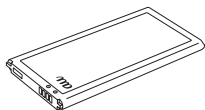
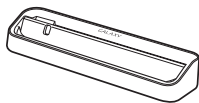
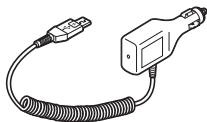
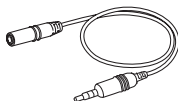
- 渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録

付録

周辺機器やソフトウェア更新、主な仕様、アフターサービスについてなど、お役に立つ情報をご案内しています。

周辺機器のご紹介

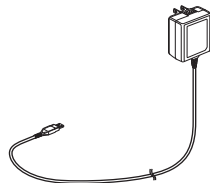
■ 電池パック（SCL23UAA）

■ 卓上ホルダ（SCL23PUA）

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ サムスンワンセグアンテナ01（01SCHSA）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

■ AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）

■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）

■ auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。

＜共通ACアダプタ05＞

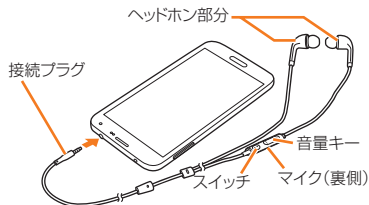
memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を使用する

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続して使用します。

1 **マイク付きステレオヘッドセット（試供品）の接続プラグを本製品のヘッドセット接続端子に接続**

接続方向をよくご確認のうえ、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

memo

◎ マイク付きステレオヘッドセット（試供品）のスイッチで以下の操作ができます。

- スイッチを押す：「ミュージック」アプリケーションで音楽の再生／一時停止を切り替えます。電話の着信時は、電話を受ける／終了することができます。
- スイッチを1秒以上長押し：Sボイスが起動し、電話の発信やSMSの送信、メモの作成など、音声入力で本製品の各機能を操作できます。
- テレビ（ワンセグ）の音声をマイク付きステレオヘッドセット（試供品）から出力する場合は、付属のサムスンワンセグアンテナ01とマイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続してからご利用ください。

電話をかける

1 **マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続した状態で電話をかける**

電話をかける操作は、「電話をかける」（▶P.74）をご参照ください。

2 **通話を終了するには、スイッチを押す**

電話を受ける

1 **着信時にマイク付きステレオヘッドセット（試供品）のスイッチを押す**

電話がつながり、通話できます。
着信時にスイッチを1秒以上長押しして離すと、着信を拒否することができます。

2 **通話を終了するには、再度スイッチを押す**

memo

◎ マイク付きステレオヘッドセット（試供品）を接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.37
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	▯を1秒以上押していますか？	P.40

こんなときは	ご確認ください	参照
充電ができない	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	指定のACアダプタ（別売）の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	P.38
電池パックを利用できる時間が短い	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.58
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.15
タッチパネルで意図した通りに操作できない	爪の先で操作したり、異物を載せたままで操作したりしていませんか？	P.46
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	P.41
	電源は入っていますか？ • 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.40
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	ー
「SIMカードを挿入してください。」と表示される	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.35
電話がかけられない	au Micro IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.35
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.74
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.205
	ネットワークモードの設定が間違っていませんか？	P.241
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.58
	サービスエリア外にいませんか？	
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.205
	ネットワークモードの設定が間違っていませんか？	P.241
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.226
	「自動着信拒否モード」が設定されていませんか？	P.79
画面照明が暗い	「省電力モード」／「ウルトラ省電力モード」が設定されていませんか？	P.222
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.74
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.33
テレビが映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.148
	放送エリアが間違っていませんか？	P.154
	付属のサムスンワンセグアンテナ01を正しく接続していますか？	P.149
おサイフケータイ®が使えない	電池パックは充電されていますか？	P.37
	「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定中ではありませんか？	P.169
	本製品のマークがある位置をリーダー／ライターにかざしていますか？	P.167
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.186
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.187
メディア転送モード（MTP）で接続しても動作しない	• Samsung KiesまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。	ー

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。

http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1. **ホーム画面で[アプリ]→[設定]**
2. **[端末情報]→[ソフトウェア更新]**
3. **[今すぐ更新]**

   以降は、画面の指示に従って操作してください。
   - ダウンロードの確認画面が表示された場合は、「OK」をタップしてください。「Wi-Fi設定」をタップした場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能の接続設定を行います(▶P.197)。

memo

◎ 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

「Samsung Kies」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。

- 詳しくは、「Samsung Kiesを利用する」(▶P.190)をご参照ください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理したうえで交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのGALAXY S5本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口までお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは　**0077-7-113**(通話料無料)
au電話からは　局番なしの**113**(通話料無料)
受付時間　24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話／au電話からは
0120-925-919(通話料無料)
受付時間 9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障（破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど）の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラスLTE	
	会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス		
自然故障（1年目）	無料	補償なし
自然故障（2年目以降）	お客様負担額 1回目：5,000円 2回目：8,000円	
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失		
預かり修理		
自然故障（1年目）	無料	無料
自然故障（2年目以降）	無料（3年保証）	実費負担
部分破損	お客様負担額 上限5,000円	
水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失	補償なし	補償なし （機種変更対応）

※金額は全て税抜

交換用携帯電話機お届けサービス

◎au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品で利用できるデータの種類とファイル形式は以下の通りです。

データの種類	ファイル形式
音	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
静止画	JPEG, PNG, GIF, AGIF, BMP, WBMP
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM、TS

種類	バージョン	拡張子
Microsoft Word	MS Word 97～2013	.doc, .docx, .dot, .dotx, .rtf
Microsoft Excel	MS Excel 97～2013	.xls, .xlsx, .xlt, .xltx, .csv
Microsoft PowerPoint	MS PowerPoint 97～2013	.ppt, .pptx, .pps, .ppsx, .pot, .potx

種類	バージョン	拡張子
Adobe PDF	1.2～1.7	.pdf
テキストファイル	Text	.txt, .asc
韓国語ファイル	Hansoft Hangul 97～3.0, 2002～2010	.hwp

◎著作権保護が設定されているデータなど、データによっては再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ		約5.1インチ 約1600万色(有機EL)
		1920×1080ドット
質量		約147g(電池パック含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約73mm×142mm×8.3mm(最厚部9.8mm)
CPU		MSM8974AC
システムメモリ		約32GB
連続待受時間※1	国内	約480時間:3G使用時 約450時間:4G(LTE)使用時
	海外(GSM／UMTS)	約500時間
連続通話時間※1	国内	約1170分
	海外(GSM／UMTS)	約870分
連続テザリング時間		WAN側3G:約660分 WAN側4G(LTE):約570分
テザリング最大接続数		最大11台(Wi-Fi®テザリング10台、USBテザリング1台)
充電時間		共通ACアダプタ05(別売)使用時:約100分 卓上ホルダ(SCL23PUA)使用時:約130分※2 共通DCアダプタ03(別売)使用時:約430分
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	外側:約1600万画素 内側:約210万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※3

Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0＋LE
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離※4	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル※5	OPP(Object Push Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) DUN(Dial-up Networking Profile)※6
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.402GHz～2.480GHz)
ワンセグ(連続視聴可能時間)		約8時間40分

※1 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。
※2 卓上ホルダ(SCL23PUA)と共通ACアダプタ05(別売)を接続した場合の時間の目安です。
※3 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
※4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※5 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

携帯電話機の比吸収率などについて

■携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種GALAXY S5の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.047W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.068W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html

○ SAMSUNGのホームページ:
http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do

○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

付録

名前から引く索引

記号・アルファベット

付録

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

付録

目的から引く索引

Wi-Fi®機能を利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.82 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.43 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of
http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSCL23.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.319 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.260 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following
Product : GSM WCDMA LTE BT/WiFi Mobile Phone
Model(s) : SCL23

CE0168ⓘ

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011
SAR	EN 50360 : 2001 / A1:2012 EN 50566 : 2013 EN 62209-1 : 2006 EN 62209-2 : 2010 EN 62479 : 2010
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010) EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013) EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005)
RADIO	EN 300 328 V1.8.1 (06-2012) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 301 893 V1.7.1 (06-2012) EN 301 908-1 V5.2.1 (05-2011) EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013) EN 301 908-13 V5.2.1 (05-2011) EN 301 908-2 V5.4.1 (12-2012) EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013) EN 302 291-1 V1.1.1 (07-2005) EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way, Fareham, Hampshire, PO15 5RL, UK ※
Identification mark: 0168

■ Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK

2014.03.24

(Place and date of issue)

Stephen Colclough / EU Representative

(Name and signature of authorized person)

※This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth® smart readyとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」 ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google カレンダー」、「Google Chrome」、「Googleマップ」、「ハングアウト」、「Google+」、「Google音声検索」および「YouTube」 は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010 - Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 8は、Mirosoft® Windows® 8(Windows 8、Pro、Enterprise)の略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳·翻案、リバース·エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種（以下、au ICカードといいます）を利用したサービスです。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信（P2P）機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます）及びau ICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます）の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。

2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。
   なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能をご利用いただけません。
4. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
5. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

「au Wi-Fi SPOT」のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI･沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の3.項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、「au Wi-Fi SPOT」(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

1. 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
   また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
2. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
3. 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
4. 本サービスの提供は3.項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
   お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。
6. 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
   (1) お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
   (2) お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
   (3) 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
   (4) お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
   (5) お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
7. 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
   (1) 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
   (2) 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
8. 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。

9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
10. お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
11. 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名･契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
12. 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。

- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
- お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- サービスの終了後の管理のため
- その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

13. 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

文字入力の詳細情報

■記号一覧

入力できる記号（半角）一覧

□	!	"	#	$	€	%	&
'	(	)	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	@
[	\	]	^	_	`	{	|
}	~						

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

入力できる記号（全角）一覧

□	、	。	，	．	・	：	；
？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾
￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝
々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼
～	∥	｜	…	‥	‘	’	“
”	（	）	〔	〕	［	］	｛
｝	〈	〉	《	》	「	」	『
』	【	】	＋	－	±	×	÷
＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴
♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
￠	￡	￦	％	＃	＆	＊	＠
§	☆	★	♡	○	●	◎	◇
◆	□	■	△	▲	▽	▼	※
〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨

¬	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽
∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭
♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β
Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ
Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ
Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β
γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ
λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б
В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И
Й	К	Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш
Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а

б	в	г	д	е	ё	ж	з
и	й	к	л	м	н	о	п
р	с	т	у	ф	х	ц	ч
ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
─	│	┌	┐	┘	└	├	┬
┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛
┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔
㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗
㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟
№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨
㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∑
∟	⊿	¤					

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

怒る					
(-.-)	(-_-)	:-(	:-<	(￣^￣)	ヾ(`')、
(#゜Д゜)	(・ε・)	(-""-;)	(#｀皿´)		
(#￣3￣)	(((￣へ￣井)	(－。－#)			
(*｀Д´)ノ！！！	(-_-#)	(｀_´メ)			
(｀´)	(｀ロ´)	(｀Δ´)	(｀へ´)		
(`へ´*)ノ	(｀ロ´;)	(￣へ￣メ)			
(=｀ェ´=)	(・ε・｀)	('ε'*)	(ノ-_-)ノ~┻━┻		
(ノ｀△´)ノ	<(｀^´)>	o(｀^´*)	ι(｀ロ´)ノ		
Σ(￣皿￣;;	ヾ(｀´)				

あいさつ			
(^^)/	(^-^)/	(^_^)/	(^o^)/
m(__)m	(-.-)Zzz・・・・	(/_;)/~~	
(;_;)/~~~	(^^ゞ	(^-^ゞ	(^_^)/~~
(^_^ゞ	(^∧^)	(^3^)/	(^o^)／~~
(^o^ゞ	(^人^)	(-_-)/~~~	
(⌒0⌒)／~~	＼(__)	(*・∀・*)ノ	
(^-^)ゝ゛	m(。≧Д≦。)m	(o´∀`o)ノ	
('—')/~~	(￣—￣)ノ	(*・ω・)ノ	
(´∀`)/~~	(v^-゜)♪	(--)//~	
(*^—゜)ノ	(*゜—゜)ゞ⌒☆		
(*^^*ゞ	(*^—^)ノ♪	(*^▽^)/★*☆♪	
(*￣∇￣)ノ	(*￣▽￣)ノ~~♪		
(*´∀`)ノ	(*゜▽゜)_□		
(*・x・)ノ~~~♪	(。・。・)ノ		
(。・_・。)ノ	(。・x・)ゞ♪		

あいさつ			
(。・ω・。)ゞ	(／。＼)	(／0￣)	
(/o＼)	(；_；)/~~		
(@^^)／~~~	(@^^)/~~~		
(@^^@)／	(@^▽゜@)ゞ		
(^.^)/~~~	(^.^)ノ	(^^)/~~~	(^—゜)ノ
(^—^)ノ	(^o^)／	(^O^)／	(-_-).。oO
(-_-)zzz	(｀—´ゞ-☆	(｀◇´)ゞ	
(￣—￣ゞ—☆	(￣▽￣)ゞ	(￣0￣)/	
(￣q￣)ｚｚｚ	(´—｀)ノ	(´・ω・`)/~~	
('—')/~~	('-'*)♪	(+.+)(-.-)(__)..zzZZ	
(>_<)/~~	(＞＜*)ノ~~~~~		
(⌒∇⌒)ノ"	(⌒∇⌒)ノ""	(゜◇゜)ゞ	
(・∀・)ノ	(・ω・)ノ	(・ω・｀=)ゞ	
(・д・)ノ	(-o-)/	(o゜◇゜)ゝ	
(o・・o)/~	＼(´O`)／		
＼(・o・)／	_(..)_	_(._.)_	|^▽^)ノ
<(_ _*)>	☆⌒(*^∇゜)v		
♪(o・ω・)ノ))	♪v(*'-^*)^☆		
♪Ю—(^▽^o)♪	m(._.)m		
m(。_。)m	人(￣ω￣;)	ヾ(*T▽T*)	
ヾ(´—｀)ノ	ヾ(・◇・)ノ		

アクション						
＼(^^)／	＼(^-^)／	＼(^_^)／	＼(^o^)／			
m(__)m	(..)	(^^)d	(^q^)	(__)	:-p	;-)
f(^_^)	(((^^;)	(((^_^;)	(((・・;)			
(-.-)y-~	(-.-)Zzz・・・・					
(-.-)ノ⌒-~	(-。-)y-~	(/_;)/~~				
(゜゜;)＼(--;)	(;_;)/~~~	(^。^)y-~				
(^^;)))	(^^ゞ	(^-^ゞ	(^_^)/~~			
(^_^;)))	(^_^ゞ	(^∧^)	(^3^)/			
(^o^)／~~	(^o^ゞ	(^з^)-☆	(^人^)			
(-_-)/~~~	(⌒0⌒)／~~	(・・;)))				
(゜o゜)＼(-_-)	┐('～`;)┌	p(^^)q				
p(^-^)q	q(^-^q)	σ(^_^;)?				
φ(゜゜)ノ゜	φ(..)	φ(. .)	(/--)/			
(>.<)y-~	へ(^_^)	ゞ(`')、	(^-^)ゝ゛			
。。(〃_ _)σ‖	(^-^)ノ∠※。.:*:・'°☆					
!(￣-￣)ゞ	!Σ(×_×;)!	!щ(゜▽゜щ)				
('—')/~~	(-。-) =3	(^ ^)r゛゛				
(´∀`)σ)∀`)	(゜д゜)、;'.・	(´∀`)/~~				
(→_→)	(°∇^)]	(・_・)ノΞ●~*				
(゜ρ゜)	(ロ_ロ)ゞ	(((((((・・;)				
((((ヽ(;^^)/	(((((゜゜;)	(ヾ(´・ω・｀)				
(゜—゜)(。_。)	((￣_|	((φ(￣—￣)				
(ゝω・´★)	(゜゜)(。。)(゜゜)(。。)					
(゜-゜)(。_。)						
(゜-゜)(。_。)(゜-゜)(。_。)	(--)//~					
(--)／凸==3	(*゜—゜)ゞ⌒☆					
(*ゝ｀ω・)	(*/□＼*)	(*^)(*^_^*)ゞ				
(*^)/☆(+。+*)	(*^-^)へ__/	(*^^*ゞ				
(*^▽^)/★*☆♪	(*^3(*^o^*)					
(*^3^)/～☆	(*^o^)／＼(^-^*)					

アクション			
(*￣▽￣)ノ~~♪	(*￣◇)=3	(*´-`)	
(*゜▽゜)_□	(*・・)σ		
(*・x・)ノ~~~♪	(*ov.v)o	(*T—T)b	
(*μ_μ)♪	(--、)ヾ(^^)	(-.-)y-゜゜゜	
(..)(__)	(._.)	(-。-)y-゜゜゜	
(。-_-。)♪	(。_。)φ	(。・x・)ゞ♪	
(。・ω・。)ゞ	(／＼)＼(^o^)／	(/-＼*)	
(／^^)／	(/^^)/⌒●~*	(／_-)	
(／_;)/	(／0￣)	(；_；)/~~	
(゜゜;)(。。;)	(;-_-)vo(^-^)		
(；¬_¬)	(@^^)／~~~		
(@^^)/~~~	(@^▽゜@)ゞ		
(^.^)/~~~	(^。^)y-゜゜゜	(^^)／＼(^^)	
(^^)/~~~	(^^)b	(^^)v	(^^)人(^^)
(^^;)(;^^)	(^__—)≡★		
(^_^)／□☆□＼(^_^)	(^_^)∠※		
(^_^)-c<^_^;)	(^_^)y-゜゜゜゜゜		
(^_^;)＼('_')	(^|0|^)	(^3^)/～☆	
(-_-)゛	(゜_゜)(。_。)(゜_゜)(。_。)		
(-_-).。oO	(-_-)zzz	(-_＼)	(__,)/~~
(｀—´ゞ-☆	(｀◇´)ゞ	(｀Д´≡｀Д´)??	
(￣*￣)	(￣。￣)	(￣—￣ゞ—☆	
(￣▽￣)ゞ	(￣▽￣)=3	(￣▽￣)b	
(￣▽￣=￣▽￣)	(￣¬￣)	(￣b￣)	
(￣0￣)	(￣q￣)ｚｚｚ	(´3`)	
(´—`)σ	(´・ω・`)/~~	(´ρ`)	(´д⊂)..
('*')	('—')/~~	(〃´o`)=3	
(+.+)(-.-)(__)..zzZZ	(=_=)	(>_<)/~~	
(＞＜*)ノ~~~~~	(＞ω<)/。・゜゜・		
(゜∇^d)!!	(∋_∈)	(∩_∩;)P	

<table>
<tr><td rowspan="30">アクション</td><td>(⌒∇⌒)ノ"</td><td>(⌒∇⌒)ノ""</td><td>(゜◇゜)ゞ</td></tr>
<tr><td>(→.←)</td><td>(¬_¬)</td><td>(°o°C=(_ _;</td></tr>
<tr><td>(・_*)＼</td><td>(・_ゞ)</td><td>(・┳・)</td><td>(・・;φ</td></tr>
<tr><td>(・д・＝・д・)</td><td>(..、)ヾ(^^)</td></tr>
<tr><td>(i_i)＼(^_^)</td><td>(n‘∀‘)η</td><td>(o^ O^)シ彡☆</td></tr>
<tr><td>(o^-')b !</td><td>(o゜◇゜)ゝ</td><td>(o・・o)/~</td></tr>
<tr><td>(p^-^)p</td><td>(v^—°)</td><td>('ε'*)</td><td>(゜ρ゜)</td></tr>
<tr><td>(σ*´∀`)</td><td>(σ≧▽≦)σ</td><td>(゜Д゜≡゜Д゜)?</td></tr>
<tr><td>(ノ-_-)ノ~┻━┻</td><td>(ノ`△´)ノ</td><td>(ノ-o-)ノ┫</td></tr>
<tr><td>(ノ゜o゜)ノ</td><td>…_〆(゜▽゜*)</td></tr>
<tr><td>。。。。゛(ノ..)ノ</td><td>＼(*⌒0⌒)b♪</td></tr>
<tr><td>＼(^.^)／</td><td>＼(^^＼)</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
<tr><td>＼('_＼)(／_,)／</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>＼(~□＼)(／□~)／</td><td>＼(￣0￣)／</td></tr>
<tr><td>＼(´O`)／</td><td>＼(-o-)／</td></tr>
<tr><td colspan="3">＼(゜□＼)(／□゜)／</td></tr>
<tr><td>(^_^)／▼☆▼＼(^_^)</td><td>_(..)_</td><td>_(._.)_</td><td>_-)))</td></tr>
<tr><td>|(-_-)|</td><td>|^▽^)ノ</td><td>|_-))))</td><td>“〆(^∇゜*)♪</td></tr>
<tr><td><(_ _*)></td><td><(`^´)></td><td>≡3≡3≡3</td></tr>
<tr><td>┐(-。ー;)┌</td><td>┐(-。-;)┌</td><td>┐(￣ヘ￣)┌</td></tr>
<tr><td>┐(´д`)┌</td><td>┗(-__-;)┛</td><td>・⌒ヾ(*´―`)</td></tr>
<tr><td>☆(゜o(○=(゜o゜)o</td><td>☆￣(>。☆)</td></tr>
<tr><td>☆≡(>。<)</td><td>☆⌒(*^∇゜)v</td></tr>
<tr><td>☆⌒(>。≪)</td><td>☆○(゜o゜)o</td><td>♀_(`O`)♪</td></tr>
<tr><td>♪(#^—°)v</td><td>♪(〃∇〃)ノ由☆</td></tr>
<tr><td>♪(o・ω・)ノ))</td><td>♪〜(・ε・)</td></tr>
<tr><td>♪ヽ(´▽`)/</td><td>♪v(*'-^*)^☆</td></tr>
<tr><td>♪Ю—(^▽^o)♪</td><td>c(>_<。)シ*</td></tr>
<tr><td>C=C=＼(;・_・)／</td><td>d(^-^)</td><td>d(⌒ー⌒)!</td></tr>
<tr><td>L(‘▽‘)／</td><td>m(._.)m</td><td>m(。_。)m</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="23">アクション</td><td>o(*￣○￣)ゝ</td><td>o(*⌒―⌒*)o</td></tr>
<tr><td>o(*⌒0⌒)b</td><td>o(^-^o)(o^-^)o</td></tr>
<tr><td>o(____*)Zzz</td><td>o(`^´*)</td></tr>
<tr><td>o(￣ー￣)○☆</td><td>o(><;)(;><)o</td></tr>
<tr><td>o(T△T=T△T)o</td><td>v(^o^)</td><td>v(￣Д￣)v</td></tr>
<tr><td>v(=∩_∩=)</td><td>v(・∀・*)</td></tr>
<tr><td>゜゜゜゜゜-y(^。^)。o0○</td><td>ε-(´―`*)</td></tr>
<tr><td>ε=(￣。￣)</td><td>ε=ε=(ノ≧∇≦)ノ</td></tr>
<tr><td>ε=ε=┏(・_・)┛</td><td>ρ(^o^)b_♪♪</td></tr>
<tr><td>ρ(—o—)♪</td><td>σ(*´∀`*)</td><td>σ(^_^)</td></tr>
<tr><td>σ(￣∇￣;)</td><td>σ(´・д・`)</td><td>σ(≧ω≦*)</td></tr>
<tr><td>σ(・_・)</td><td>σ(o・ω・o)</td><td>φ(・・;</td></tr>
<tr><td>Ψ(￣∇￣)Ψ</td><td>щ(゜▽゜щ)</td><td>ヘ(^^ヘ)</td></tr>
<tr><td>ヘ(__ヘ)☆＼(^^;)</td><td>ヘ(×_×;)ヘ</td></tr>
<tr><td>ヘ(・。・。)</td><td>ヘ(・・ヘ)。。</td></tr>
<tr><td>ヘ(・o・三・o・)ヘ</td><td>三(lll´Д`)</td></tr>
<tr><td>三(゜∀゜)</td><td>ヽ(´―‘)ノ⌒○</td></tr>
<tr><td>ヽ(*´▽)ノ♪</td><td>ヾ(--;)</td><td>ヾ(^^ヘ)</td></tr>
<tr><td>ヽ(^○^)ノ</td><td>ヽ(^o^;)ノ</td><td>ゞ(^o^ゝ)≡(/^_^)/"</td></tr>
<tr><td>ゞ(`´)</td><td>ヽ(￣▽￣)ノ</td><td>ヽ(´ー`)ノ</td></tr>
<tr><td>ヾ(´▽`*)ゝ</td><td>ヽ(´・`)ノ</td><td>ヽ(´o`;</td></tr>
<tr><td>ヾ(¬。¬)</td><td>ヾ(・・;)</td><td>ヾ(・o・*)シ</td></tr>
<tr><td>ヾ(゜0゜*)ノ?</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7">ラブ・友情</td><td>(^3^)/</td><td>(^з^)-☆</td><td>(*^)(*^-^*)ゞ</td></tr>
<tr><td>(*^-^)／＼(*^-^*)／＼(^-^*)</td><td>(*^3(*^o^*)</td></tr>
<tr><td>(*^3^)/〜☆</td><td>(*^o^)／＼(^-^*)</td></tr>
<tr><td>(*⌒3⌒*)</td><td>(--、)ヾ(^^)</td></tr>
<tr><td>(／＼)＼(^o^)／</td><td>(^^)／＼(^^)</td></tr>
<tr><td>(^^)人(^^)</td><td>(^3^)/〜☆</td></tr>
<tr><td>(´3`)</td><td>(・∀・)人(・∀・)</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8">動物・キャラクタ</td><td>(ΦωΦ)</td><td>(゜)#))<<</td><td>(゜)))<<</td><td>(゜))<<</td></tr>
<tr><td>(-)_(-)</td><td>(=^ェ^=)</td><td>(≡・x・≡)</td></tr>
<tr><td>.。o○</td><td>〜〜〜〜〜(m--)m</td></tr>
<tr><td>~>゜)———</td><td>￣(=∵=)￣</td><td><゜)#)))彡</td></tr>
<tr><td><゜)))彡</td><td><*))>=<</td><td><+))))><<</td><td><+)))><<</td></tr>
<tr><td><+))><<</td><td>>゜))))彡</td><td>>゜)))彡</td><td>>゜))彡</td></tr>
<tr><td>⊂(^(工)^)⊃</td><td>⌒(ё)⌒</td><td>○o。.</td><td>☆ミ</td></tr>
<tr><td>U^ェ^U</td></tr>
</table>

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

付録

■絵文字一覧

顔・表情

気持ち・からだ

! ‼ !? ?

生き物

食べ物・飲み物

自然・季節

ファッション・遊び

乗物・建物・地図

道具

記号・文字

●実際の表示と多少異なります。
●絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。
●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。
パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html
※ サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

新しいケータイを買った!!

使い終わったケータイと取扱説明書は大切な資源。リサイクル回収に出そう！

古いケータイと取説どーしよう？

1

回収しています

auショップへ持って行こう！

リサイクルお願いしま〜す！

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

2

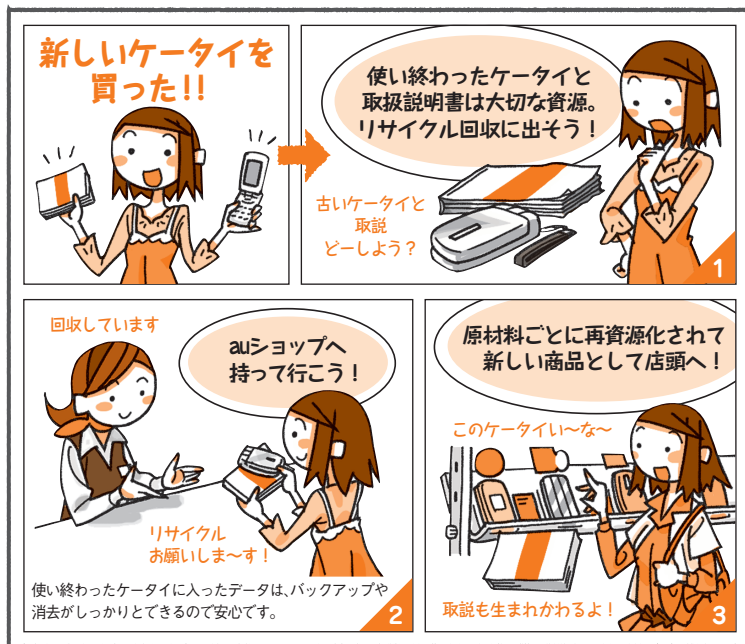
原材料ごとに再資源化されて新しい商品として店頭へ！

このケータイい〜な〜

取説も生まれかわるよ！

3

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle/

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間 9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

受付時間 9:00～21:00（年中無休）

一般電話／au電話から

0120-925-919

取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2014年4月第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN Co., Ltd.

製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.